

事務事業評価報告書

平成27年3月

山武市

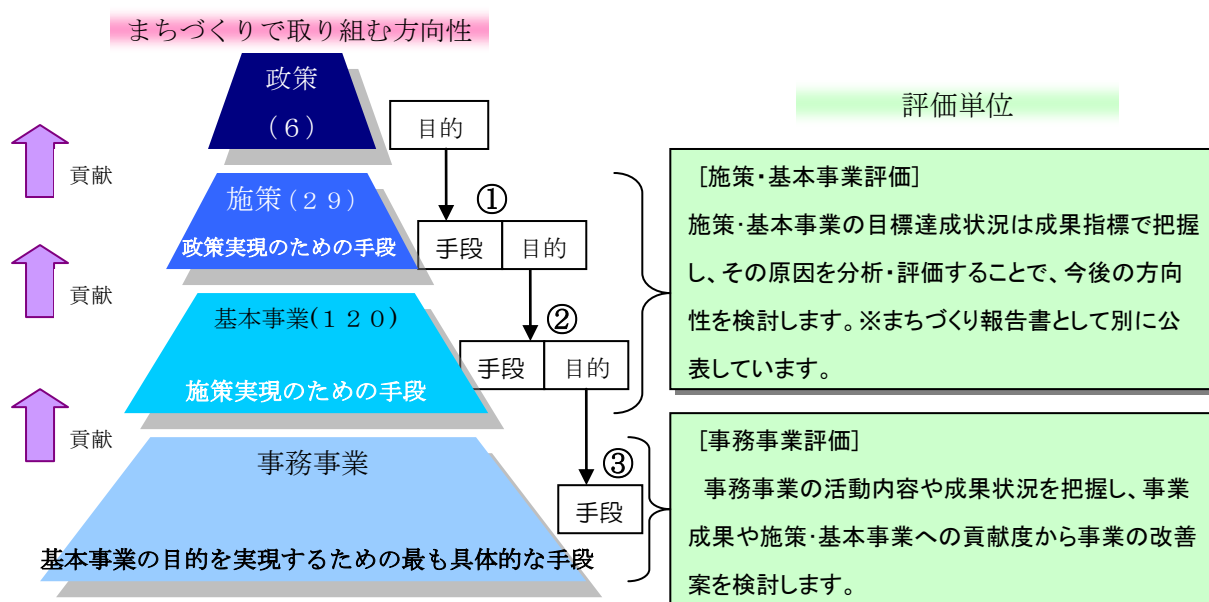
1 事務事業評価報告の基本的な考え方

(1) 施策体系の中での事務事業の役割

山武市総合計画の施策体系の設定にあたっては、まちづくりで取り組む方向性を6つの「政策」にまとめ、この実現のための手段として29の「施策」を設定し、さらに施策を120の「基本事業」に分類し、この目的達成のための事業実施の最小単位として「事務事業」を位置づけています。

総合計画は、この政策—施策—基本事業—事務事業という施策体系のもとで推進するものとしており、この施策体系はそれぞれの階層の間で、目的と手段の関係にあることを前提としています。

● 総合計画の施策体系と評価単位



- ① 施策は、上位の政策を実現するための具体的手法(手段)であり、下位の基本事業の目的となっています。
- ② 基本事業は、上位の施策を実現する具体的手法(手段)であり、下位の事務事業の目的となっています。
- ③ 事務事業は、上位の基本事業の目的を達成するための最も具体的な手段となっています。

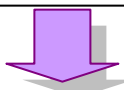
このことは、施策体系のそれぞれの階層は、そのすぐ上位の階層に貢献しなければならないと言い換えることもできます。

個々の事務事業は、それぞれの属する基本事業に必ず貢献していなければならない、貢献の度合いが低い、あるいは貢献度のない場合は事務事業を継続する理由が希薄になるということを意味します。

(2) 事務事業評価の組織決定について

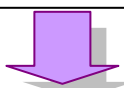
① 事業課の評価(1次評価)

事務事業を実施する担当課自らが評価者の視点に立って行う評価。



② 全庁視点での評価(2次評価)

1次評価結果をもとに、行政評価推進事務局(総務課・財政課・企画政策課の合同組織)と担当課で点検会を実施し、行政評価推進事務局が全庁的視点を持って行う評価。



③ 評価結果の決定・反映

1次評価、2次評価の結果に基づき、市長を含めた部長以上で市としての方向性を決定。

(3) 事務事業評価の報告

今回報告する事務事業評価は、平成25年度に実施した事務事業のうち、上位施策・基本事業への貢献度が高い主要な事業である計134事業について公開します。

具体的には、「実施計画25」、「平成25年度決算における主な事業」及び「山武市復旧・復興計画」等に位置付けられている事業の中で、成果指標が設定されているものを中心に選定しています。

■平成25年度の事務事業評価結果

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
1 暮らしを支える快適なまちづくり					
1 道路網の整備・充実					
1 幹線道路の整備と維持管理					
			作田川関連市道整備事業	土木課	9
			埴谷・板川線道路改良事業	土木課	10
			富口・井之内線道路改良事業	土木課	11
			成東304号線道路改良事業	土木課	12
2 生活道路の整備と維持管理					
			成東43号線道路改良事業	土木課	13
			南郷160号線道路改良事業	土木課	14
99 施策の総合推進					
			道路維持補修事業	土木課	15
2 公共交通網の整備・充実					
2 市内における交通手段の確保					
			身近な公共交通確保事業	企画政策課	16
3 バスでの主要都市へのアクセス向上					
			空港シャトルバス利用促進事業	企画政策課	17
3 防災・消防対策の充実					
1 地域防災力の向上					
			防災用備蓄物資整備事業	消防防災課	18
			防災行政無線子局整備事業	消防防災課	19
2 災害支援体制の確立					
			災害時応援協定の見直し及び締結の促進事業	消防防災課	20
3 津波対策の推進					
			津波避難施設整備事業	消防防災課	21
4 防災意識の向上					
			木造住宅耐震化促進事業	都市整備課	22
			自主防災組織育成事業	消防防災課	23
6 消防力の充実					
			コミュニティ消防センター設置事業	消防防災課	24
7 治山・治水対策の促進					
			排水路整備事業	土木課	25
99 施策の総合推進					
			地域防災計画改定事業	消防防災課	26
4 都市の整備					
1 市街地の整備					
			公園施設長寿命化計画策定事業	都市整備課	27
2 駅周辺の利便性の向上					
			成東駅南側駅前広場整備事業	都市整備課	28
			成東駅南口線整備促進事業	都市整備課	29
3 街並景観形成の推進					
			景観計画策定事業	都市整備課	30

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
2 住みやすい環境と安全なまちづくり					
1 生活環境の充実					
1 生活公害の対策					
			空き地等の管理事業	環境保全課	31
3 美化運動の推進と不法投棄防止対策					
			不法投棄防止対策事業	環境保全課	32
			不法投棄パトロール事業	環境保全課	33
4 航空機騒音等の対策					
			共同利用施設ソーラー発電化システム事業	企画政策課	34
2 廃棄物の減量・処理の適正化					
1 ごみの減量化の推進					
			家庭用生ごみ堆肥化装置設置支援事業	環境保全課	35
2 再資源化の推進					
			資源回収運動奨励事業	環境保全課	36
3 廃棄物に関する意識の向上と啓発					
			廃棄物に関する意識啓発事業	環境保全課	37
4 ごみ処理の効率化					
			ごみ集積場施設整備支援事業	環境保全課	38
3 自然環境の保全					
1 自然環境保全活動の推進					
			自動車用充電器設置事業	環境保全課	39
3 バイオマスタウン構想の推進					
			木質バイオマス燃料利活用補助事業	わがまち活性課	40
			バイオマス施策提案事業	わがまち活性課	41
4 再生可能エネルギーの活用と二酸化炭素排出量の削減					
			省エネルギー等対策事業	環境保全課	42
5 汚水処理の推進					
1 合併処理浄化槽による水質改善					
			浄化槽設置支援事業	環境保全課	43
99 施策の総合推進					
			汚水適正処理構想調査事業	都市整備課	44
6 防犯対策の充実					
1 地域ぐるみの防犯体制の充実					
			防犯パトロール事業	市民課	45
2 児童・生徒の安全確保					
			学校防犯支援事業	学校教育課	46
3 犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の整備					
			LED防犯灯整備事業	市民課	47
4 防犯意識の向上					
			メール配信サービス事業	市民課	48
5 消費者トラブルの防止					
			消費生活相談事業	農商工・観光課	49
7 交通安全対策の推進					
1 交通安全意識の向上					
			交通安全推進事業	市民課	50
2 交通安全施設の整備					
			交通安全施設整備管理事業	市民課	51

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり					
1 農林水産業の振興					
1 担い手の育成・支援					
			認定農業者育成事業	農商工・観光課	52
2 農地の利用集積の推進					
			農地利用集積助成事業	農商工・観光課	53
3 農産物の付加価値向上と販路の拡大					
			地域資源活用事業	わがまち活性課	54
4 畜産業の生産規模拡大の推進					
			畜舎周辺対策支援事業	農商工・観光課	55
5 森林再生の推進					
			市内産木材利用促進事業	わがまち活性課	56
			木材流通システム助成事業	わがまち活性課	57
6 農業基盤整備の推進					
			経営体育成基盤整備事業	農商工・観光課	58
			農地・水保全管理事業	農商工・観光課	59
99 施策の総合推進					
			農業者個別所得補償制度推進事業	農商工・観光課	60
2 商工業の振興					
1 商工会活動の充実					
			商店街復興支援事業	農商工・観光課	61
3 経営の体質強化・育成					
			中小企業運営資金利子補給事業	農商工・観光課	62
3 観光の振興					
1 観光事業推進体制の整備					
			観光PR事業	農商工・観光課	63
2 観光関連団体との連携によるイベントの開催					
			にぎわい応援事業	わがまち活性課	64
3 海岸の整備					
			海岸環境美化事業	農商工・観光課	65
4 観光資源の開発・充実					
			観光景観保全管理事業	農商工・観光課	66
4 シティセールスの充実					
1 情報発信力の強化					
			マスコットキャラクター活用事業	わがまち活性課	67
99 施策の総合推進					
			シティセールス推進事業	企画政策課	68

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
4 だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり					
1 高齢者福祉の充実					
1 生きがいづくりと社会参加の促進					
			シルバー人材センター支援事業	高齢者福祉課	69
2 介護サービス・日常生活の支援					
			災害時要援護者支援システム管理事業	社会福祉課	70
3 介護予防の推進					
			介護予防サービス計画作成委託事業	高齢者福祉課	71
4 安心・安全な生活への仕組みづくり					
			緊急通報ネットワーク事業	高齢者福祉課	72
2 障がい者(児)福祉の充実					
1 自立支援サービスの促進					
			障害者自立支援事業	社会福祉課	73
2 地域生活支援の基盤づくり					
			地域生活支援事業	社会福祉課	74
3 社会活動参加の促進					
			福祉タクシー利用助成事業(地域生活)	社会福祉課	75
3 健康づくりの推進					
1 健康づくり活動の推進					
			さんぶの森元気館指定管理事業	健康支援課	76
2 健診の受診率向上と生活習慣の改善					
			大腸がん検診事業	健康支援課	77
3 母子保健の充実					
			妊婦一般健康診査委託事業	健康支援課	78
4 医療体制の充実					
			医学生奨学金等貸付事業	健康支援課	79
			看護学生奨学金貸付事業	健康支援課	80
4 子育ての支援					
1 幼保機能の充実					
			保育所施設等解体整備事業	子育て支援課	81
2 安心して子育てできる環境づくり					
			子育て支援センター運営事業	子育て支援課	82
3 子育て家庭への援助					
			母子家庭自立支援給付金事業	子育て支援課	83
4 子どもの人権の尊重					
			家庭児童相談事業	子育て支援課	84
5 学童保育の充実					
			学童保育運営事業	子育て支援課	85
5 地域福祉の充実					
1 地域福祉の担い手育成					
			地域福祉活動推進助成事業	社会福祉課	86
2 社会福祉機関・団体の充実					
			社会福祉協議会補助事業	社会福祉課	87
3 公営住宅の維持管理					
			市営桔梗台住宅ガス給湯器改修事業(元気臨時交付金)	都市整備課	88
4 生活保護制度の適正な実施					
			生活保護者扶助事業	社会福祉課	89

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
5 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり					
1 学校教育の充実					
1 教職員の研修の充実					
			教職員等対象研修事業	学校教育課	90
2 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進					
			少人数指導授業推進事業	学校教育課	91
3 「健やかでたくましい体」の育成					
			体力向上推進校指定事業	学校教育課	92
4 「豊かな心」を育む					
			不登校対策推進事業	学校教育課	93
5 安全な教育環境の整備					
			小学校トイレ環境整備事業	教育総務課	94
			小学校避難用外階段設置事業	教育総務課	95
			中学校避難用外階段設置事業	教育総務課	96
			小学校体育館改修事業	教育総務課	97
			小学校体育施設非構造部材耐震事業（緊急経済対策）	教育総務課	98
			中学校体育施設非構造部材耐震事業（緊急経済対策）	教育総務課	99
6 教育施設の適正配置の推進					
			学校のあり方検討事業	教育総務課	100
2 生涯学習の推進					
1 学習ニーズに対応した学習機会の提供					
			各種講座事業	公民館	101
2 生涯学習施設の充実					
			成東文化会館改修事業	文化会館	102
3 文化財の保護・活用					
			伊藤左千夫記念事業	生涯学習課	103
4 芸術文化活動の充実					
			成東文化会館自主事業	文化会館	104
3 スポーツの振興					
1 スポーツ活動の充実					
			山武市支部（学校区）体育振興事業	スポーツ振興課	105
2 体育関係団体・指導者の育成					
			少年スポーツクラブ連合会補助事業	スポーツ振興課	106
3 体育施設の充実					
			公共施設予約システム管理事業	スポーツ振興課	107
			社会体育施設等非構造部材耐震事業	スポーツ振興課	108
4 世代別のスポーツ実施率のばらつき解消					
			体力づくり事業	スポーツ振興課	109
4 学校家庭地域の連携					
1 開かれた学校づくり					
			学校支援地域本部事業	生涯学習課	110
2 教育情報の発信					
			教育情報の発信事業	教育総務課	111
3 家庭教育力の向上					
			家庭教育事業	生涯学習課	112
4 地域教育力の向上					
			放課後子ども教室開催事業	生涯学習課	113
			少年海外派遣支援事業	生涯学習課	114
5 人権尊重のまちづくり					
1 人権教育・人権啓発の推進					
			子ども人権（CAP）事業	生涯学習課	115
2 人権相談の充実					
			人権相談事業	市民課	116
4 男女共同参画の推進					
			男女共同参画推進事業	企画政策課	117

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
6 市民と行政が協働してつくるまちづくり					
1 協働と交流によるまちづくり					
1 市民活動の活性化					
			市民提案型交流のまちづくり推進事業	市民自治支援課	118
			地域まちづくり協議会事業	市民自治支援課	119
2 協働意識の向上					
			コミュニティビジネス講座事業	市民自治支援課	120
3 市民活動施設の整備と利用促進					
			さんぶの森交流センターあららぎ館管理運営事業	市民自治支援課	121
4 異文化交流の推進					
			国際交流支援事業	企画政策課	122
2 開かれた市政					
1 広報の充実					
			広報さんむ作成・発行事業	市民自治支援課	123
2 広聴の充実					
			市長への手紙対応事業	秘書課	124
3 情報公開及び個人情報保護の推進					
			情報公開・個人情報保護事業	総務課	125
4 議会情報の公開の推進					
			議会だより作成事業	議会事務局	126
3 計画的・効率的な行財政運営					
1 行政評価の推進					
			行政評価制度推進事業	企画政策課	127
2 人材育成と効率的な組織運営					
			人事評価事業	総務課	128
			定員適正化推進事業	総務課	129
3 健全な財政運営					
			行政改革推進事業	企画政策課	130
			指定管理者指定事業	企画政策課	131
4 財源の確保					
			市税等徴収事務事業	収税課	132
5 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進					
			松尾地域賑わい空間創出事業	企画政策課	133
			本庁舎整備事業	財政課	134
			公共施設マネジメント事業	財政課	135
			旧成東児童保健院解体整備事業	企画政策課	136
6 窓口サービスの向上					
			戸籍事務費	市民課	137
7 情報化の推進					
			証明書等コンビニ交付構築事業	企画政策課	138
99 施策の総合推進					
			復旧・復興計画推進事業	企画政策課	139
4 公正確実な事務の執行					
1 適正な会計処理					
			出納係事務費	会計課	140
2 積極的な選挙啓発					
			選挙啓発推進事業	選挙管理委員会事務局	141
3 監査の充実					
			監査委員活動費	監査委員事務局	142

事務事業名 作田川関連市道整備事業

都市建設部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	道路網の整備・充実
基本事業番号	01	基本事業名	幹線道路の整備と維持管理
計画年度	平成 15 年度 ~ 平成 30 年度		事務事業整理番号 619

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

道路用地
道路用地地権者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

県営河川改修事業に併せて、用地を取得し、市道の整備を行います。

事務事業の内容、やり方、手順

県河川改修事業で設置する管理用道路（幅員3m）の設置にあたり、市が隣接地（2m～4m）の用地確保を行うことにより県が管理用道路を兼ね市道整備を行います。
現在河川に架設されている橋梁の架替えに伴う工事及び市道整備に関する負担金を県に納入します。
事業費 620,000千円（県への負担金）80,000千円（用地買収費）合計700,000千円
架替え対象橋梁数 8箇所、市道整備延長 5,280m
市道整備箇所 山武市成東地先（加持橋）～山武市森地先（日向橋） 山武市成東地先（市役所脇）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
用地交渉回数	回	0	0	20
成果状況				
用地取得済面積	m ²	6,702.23	0	8,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	7,155					7,155	
25年度 実績	2	0	0	0	0	2	
26年度 当初	28,070	0	0	0	0	28,070	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

県主体の事業が、用地交渉で難航しているため、市による用地交渉も進んでいない状況です。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
幹線道路の整備状況に対する満足度	%	66.2	64.4	71
幹線道路の改良延長割合	%	95.9	94.7	96

事務事業名 埴谷・板川線道路改良事業

都市建設部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	道路網の整備・充実
基本事業番号	01	基本事業名	幹線道路の整備と維持管理
計画年度	平成 04 年度 ~ 平成 30 年度		事務事業整理番号 1070

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
市道埴谷富里線
H25.4より【埴谷・板川線】

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

道路利用者の安全性を確保し、利便性の向上を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

道路の拡幅と側溝、歩道の整備により道路機能を充実することで、道路利用者の安全と利便性の向上を図ります。
道路の概要（現状）
山武市埴谷地先（諸木内十字路）～山武市板川地先（木戸川）
L=1,650m 幅員W=5.0m
整備内容
歩道設置及び道路拡幅 幅員10.0m

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
年度当たりの市道埴谷・板川線道路改良延長	m	110	130	160
成果状況				
市道埴谷・板川線道路改良済延長	m	450	990	1,150

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	15,972				11,978	3,994	
25年度 実績	13,777	0	0	0	0	13,777	
26年度 当初	17,000	0	0	0	0	17,000	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

阻害要因なく、計画通りに事業が行われているため、成果としては順調に上がっているものと考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
幹線道路の整備状況に対する満足度	%	66.2	64.4	71
幹線道路の改良延長割合	%	95.9	94.7	96

事務事業名 富口・井之内線道路改良事業

都市建設部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	道路網の整備・充実
基本事業番号	01	基本事業名	幹線道路の整備と維持管理
計画年度	平成 24 年度 ~ 平成 26 年度		事務事業整理番号 1545

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
市道富口井之内岡線
H25.4より【富口・井之内線】

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

道路利用者の安全を確保し、利便性の向上を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

道路の拡幅と歩道や側溝の設置により道路機能を充実することで、道路利用者の安全と利便性の向上を図ります。

測量調査 設計積算（直営） 工事発注

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
年度当たりの市道富口・井之内線道路改良延長	m	0	530	530
成果状況				
市道富口・井之内線道路改良済延長	m	0	530	530

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	5,500					5,500	
25年度 実績	34,502	23,120	0	0	0	11,382	
26年度 当初	50,000	0	0	0	0	50,000	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

阻害要因なく、当初計画通りに事業が行われているため、成果としては順調に上がっているものと考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
幹線道路の整備状況に対する満足度	%	66.2	64.4	71
幹線道路の改良延長割合	%	95.9	94.7	96

事務事業名 成東304号線道路改良事業

都市建設部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	道路網の整備・充実
基本事業番号	01	基本事業名	幹線道路の整備と維持管理
計画年度	平成24年度～平成27年度		事務事業整理番号 1664

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民、市道新町・殿台線
H25.4より【成東304号線】

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

道路利用者の安全性を確保し、利便性を向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

道路の拡幅と歩道や側溝の設置により道路機能を充実することで、利用者の安全と利便性の向上を図ります。
道路の概要（現状）
本路線は、国道126号線に並行する殿台下町線と、現在市道でやがて県道格上げとなる新町1号線を接続することで、交差点付近の慢性的な交通渋滞の解消を図ります。
整備内容 L=360m W=10m
平成25年度 用地買収1250㎡道路改良工事 L=140m

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
年度当たりの成東304号線道路改良延長	m	0	0	360
年度当たりの道路用地買収面積	m ²	0	2,587	1,514
成果状況				
成東304号線道路改良済延長	m	0	0	360

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	1,292	400		800		92	
25年度 実績	31,103	3,400	0	26,300	0	1,403	12,282
26年度 当初	65,300	26,100	0	37,200	0	2,000	(73,856)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

進捗状況としては翌年度へ事業繰越となってしまった。
原因として、交差点協議等、県警規制課との調整に時間が掛かり、線形や用地幅の確定が遅れ、当初計画通りに事業を進められず、成果状況としては横ばいと考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
幹線道路の整備状況に対する満足度	%	66.2	64.4	71
幹線道路の改良延長割合	%	95.9	94.7	96

事務事業名 成東43号線道路改良事業

都市建設部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	道路網の整備・充実
基本事業番号	02	基本事業名	生活道路の整備と維持管理
計画年度	平成19年度～平成27年度		事務事業整理番号 611

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
市道和田東町線
H25.4より【成東43号線】

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

道路利用者の安全性を確保し、利便性の向上を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

道路の拡幅と歩道や側溝の設置により道路機能を充実することで、道路利用者の安全と利便性の向上を図ります。
道路の概要（現状）
山武市和田地先（主要地方道成東酒々井線）～山武市津辺地先（成東駅）
総延長 757m 幅員 3.0m
整備内容 L=480m W=8.0m(車道W=6.0m歩道W=2.0m)
平成25年度 用地買収・物件補償

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
用地交渉回数	回	0	0	7
関係機関（JR・警察）との協議回数	回	3	6	0
成果状況				
成東43号線道路改良済延長	m	0	0	350
用地買収面積	m ²	0	0	2,212

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	462	100				362	
25年度 実績	430	0	0	0	0	430	7,759
26年度 当初	91,500	36,500	0	52,200	0	2,800	(56,810)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

進捗状況としては翌年度へ事業繰越となってしまった。
原因として、交差点協議等、県警規制課との調整に時間が掛かり、線形や用地幅の確定が遅れ、当初計画通りに事業を進められず、成果状況としては横ばいと考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
生活道路の整備状況に対する満足度	%	60.6	59.5	61

事務事業名 南郷160号線外道路改良事業

都市建設部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	道路網の整備・充実
基本事業番号	02	基本事業名	生活道路の整備と維持管理
計画年度	平成25年度～平成27年度		事務事業整理番号 1665

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
市道小泉1号線外
H25.4より【南郷160号線】

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

道路利用者の安全性を確保し、利便性を向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

道路の拡幅と歩道や側溝の設置により道路機能を充実することで、利用者の安全と利便性の向上を図ります。
道路の概要（現状） W=3.0m
山武市白幡地先（県道成東鳴浜線）～山武市白幡地先（富口井之内岡線）

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
南郷160号線道路改良延長	m		0	250
年度当たりの道路用地買収面積	m ²		0	360
成果状況				
南郷160号線道路改良済延長	m		0	250

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績							
25年度 実績	6,720	0	0	5,500	0	1,220	
26年度 当初	48,600	0	0	46,100	0	2,500	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

阻害要因なく、計画通りに事業が行われているため、成果としては順調に上がっているものと考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
生活道路の整備状況に対する満足度	%	60.6	59.5	61

事務事業名 道路維持補修事業

都市建設部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	道路網の整備・充実
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 628

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市の管理する道路
市道利用者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

適正な道路の維持補修を行い道路の機能を保全することで、
通行者の安全が確保されます。

事務事業の内容、やり方、手順

日常の道路パトロール、自治会要望、市民通報等により補修箇所を把握して、舗装、道路側溝、道路施設等の適正な維持補修を実施する。
簡易な補修については職員が対応し、以外については業者施工とする。
区等要望・市民通報から実施までの流れ
現地調査 補修方法の検討 補修内容により設計 実施
自治会等で実施する側溝清掃、道路補修については、重機等の貸出しや原材料の支給を行う。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
年間道路維持・修繕件数	件	290	304	280
年間舗装修繕・合材舗装件数	件	30	42	50
成果状況				
道路の管理瑕疵に起因する損害賠償件数	件	0	2	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	241,753				66,510	175,243	
25年度 実績	194,518	0	0	0	41,838	152,680	
26年度 当初	195,000	0	0	0	0	195,000	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

年間修繕工事・維持工事ともに発注件数は増加しています。
抜本的な改修工事が必要ですが、部分的な修繕工事に対応しているのが現状です。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値

事務事業名 身近な公共交通確保事業

総務部 企画政策課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	02	施策名	公共交通網の整備・充実
基本事業番号	02	基本事業名	市内における交通手段の確保
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 102

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・交通過疎地域における交通弱者の日常の交通手段を確保する。
- ・市民の日常生活の移動手段が確保される。

事務事業の内容、やり方、手順

いつまでも誰もが便利に利用できる公共交通体系の確立を目指し、運行を実施します。

- ・基幹バス（運沼海浜公園 さんぶの森元気館）
運行日：全日（年末年始を除く）
運行台数：2台
料金：1回200円（中学生未満半額、小学生未満無料）
- ・乗合タクシー（運沼・松尾地域、山武地域、成東地域）
運行日：全日（年末年始を除く）
運行台数：平日9台、土日祝日6台
料金：1回300円（中学生未満半額、小学生未満無料）
実証実験運行結果を検証し、運行計画の改善を実施します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
基幹バス・乗合タクシー年間運行延回数	回	49,724	51,978	50,000
成果状況				
基幹バス・乗合タクシー1日当たりの利用者数	人	252	262	250

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	61,415					61,415	
25年度 実績	42,848	0	0	0	0	42,848	
26年度 当初	85,036	0	0	0	0	85,036	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

平成22年10月から平成25年3月31日までの期間で実施した基幹バス、乗合タクシーの実証実験運行について、利用者の利便性の向上や利用促進策を実施しました。利便性向上のため基幹バスの停留所の増設や、乗合タクシーの台数の調整等を実施し、利用促進策としては基幹バスのお試し乗車キャンペーンを実施しました。その結果、順調に利用者数が増加し、平成25年4月1日からは本格運行に移行しております。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
市内移動の交通手段に困っている市民の割合	%	28.9	30.5	24
基幹バスの年間利用者数	人	40,421	41,626	48,000
乗合タクシーの年間利用者数	人	50,388	52,735	48,000
バス運行状況の満足度	%	39.7	40.7	45

事務事業名 空港シャトルバス利用促進事業

総務部 企画政策課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	02	施策名	公共交通網の整備・充実
基本事業番号	03	基本事業名	バスでの主要都市へのアクセス向上
計画年度	平成 13 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 105

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
芝山鉄道延伸連絡協議会

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市内と成田国際空港間の交通利便性が確保される。

事務事業の内容、やり方、手順

空港シャトルバスは、芝山鉄道延伸連絡協議会（山武市、芝山町及び横芝光町で構成）が実施する事業で、成田国際空港と九十九里地域を結ぶバス路線を確保・充実することにより、地域住民の交通の利便性向上を図る目的に運行しています。
<バスの運行ルート等>
空港第2旅客ターミナル～横芝屋形海岸 停留所17箇所（うち山武市内9箇所）
大型バス2台（45人乗）で1日往復12便
平成26年3月25日から新車両（76人乗）で運行開始
乗車料金：1回250円（ただし、横芝屋形海岸～蓮沼中下間から空港までは300円）
小学6年生まで及び身障者100円、保護者同伴の乳幼児無料

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
年間運行のべ回数	本	8,760	8,724	8,760
協議会（総会・幹事会）の開催回数	回	3	3	4
成果状況				
年間利用者数（山武市内9停留所）	人	35,694	35,590	41,500

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	16,886				847	16,039	
25年度 実績	40,256	0	0	0	24,642	15,614	
26年度 当初	14,548	0	0	0	0	14,548	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

ほぼ横ばいと考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
1日当たりの主要都市へのバス利用者数	人	1,289	1,252	1,400

事務事業名 防災用備蓄物資整備事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	03	施策名	防災・消防対策の充実
基本事業番号	01	基本事業名	地域防災力の向上
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1101

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

事務事業の内容、やり方、手順

避難所となる市内11か所の小中学校と市役所本庁舎の備蓄倉庫へ食料及び飲料水を備蓄した。

小学校（大富、南郷、鳴浜、緑海、蓮沼、豊岡、大平、松尾）
中学校（成東東、蓮沼、松尾）
市役所（本庁舎）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

災害時に迅速かつ円滑な食糧、飲料水、生活必需品等の供給体制が確保されます。

- ・アルファ米（300食/1か所）
- ・缶詰パン（96缶/1か所）
- ・飲料水500ml（480本/1か所）
- ・粉ミルク（40パック/本庁舎）
- ・アレルギー対応粉ミルク（24缶/本庁舎）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
保存食備蓄量（当該年度アルファ米購入分）	食	900	3,300	1,000
飲料水備蓄量（当該年度ペットボトル購入分）	ℓ	1,824	2,640	2,000
成果状況				
年度末保存食備蓄量（アルファ米）	食	8,450	11,750	12,750
年度末飲料水備蓄量（飲料水兼用貯水槽+ペットボトル）	ℓ	216,048	218,688	220,668

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	1,000					1,000	
25年度 実績	4,117	0	0	0	0	4,117	
26年度 当初	2,533	0	0	0	2,533	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

年度ごとに備蓄品を購入していることにより、アルファ米の備蓄量は、平成24年度末の実績値に対して3300食増えており、また、飲料水も2640ℓ増え、着実に備蓄量が増えています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
自主防災組織数	組織	43	47	48
各地区防災訓練実施率	%	7.7	15.4	46

事務事業名 防災行政無線子局整備事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	03	施策名	防災・消防対策の充実
基本事業番号	01	基本事業名	地域防災力の向上
計画年度	平成 24 年度 ~ 平成 27 年度		事務事業整理番号 1570

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

災害時における情報を、迅速かつ正確に市民に伝達し、人命や財産の被害を最小限に食い止めます。

事務事業の内容、やり方、手順

東日本大震災に伴い、正確な情報伝達・収集が必須となります。そこで、情報伝達が困難な地域に関しては整備充実を図っていきます。ただし、地域住民の合意形成が条件となります。
【現行子局設置箇所数】
 成東地区：71局 山武地区：24局
 蓮沼地区：16局 松尾地区：13局
 うち平成25年度新設子局設置箇所
 松尾地域2箇所（五反田、折戸）
 成東地域1箇所（本須賀納屋）
 松尾出張所の子局は庁舎解体工事に伴い一時撤去しました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
新設子局箇所数	箇所	3	3	1
成果状況				
総箇所数	箇所	122	124	125

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	12,600			11,900		700	
25年度 実績	13,545	0	0	13,500	0	45	
26年度 当初	5,292	0	0	5,000	0	292	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

特に子局設置基数の少ない松尾地域に昨年度2箇所(五反田、折戸)に設置し、改善が図られました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
自主防災組織数	組織	43	47	48
各地区防災訓練実施率	%	7.7	15.4	46

事務事業名 災害時応援協定の見直し及び締結の促進事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	03	施策名	防災・消防対策の充実
基本事業番号	02	基本事業名	災害支援体制の確立
計画年度	平成 23 年度 ~ 平成 29 年度		事務事業整理番号 1587

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

災害時における避難者への援護体制が確立します。

事務事業の内容、やり方、手順

大規模災害時に迅速な応急活動等が行えるよう、JA山武郡市と山武郡市6市町との間で災害時応援協定の締結に向けた協議を行いました。（平成26年度継続）福祉避難所の設置運営に関する協定を4件、他自治体との応援協定を1件（大船渡市）と締結しました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
新規災害時応援協定締結数	件	9	5	2
成果状況				
災害時応援協定締結総数	件	27	32	34

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績							
25年度 実績							
26年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

災害時応援協定締結数は、平成24年度末現在と比較すると5件増えています。これは、福祉部門において福祉避難所の設置運営に関する協定を4件締結したこと、また、秘書課において震災復興応援の交流がある岩手県大船渡市との協定が締結できたことによるものです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
災害協定件数（累計）	件	27	32	30
保存食の備蓄量	食	8,328	9,384	9,000
災害時給水体制の整備数	か所	22	22	22
防災・災害情報の伝達手段数	件	4	8	9

事務事業名 津波避難施設整備事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	03	施策名	防災・消防対策の充実
基本事業番号	03	基本事業名	津波対策の推進
計画年度	平成 24 年度 ~ 平成 26 年度		事務事業整理番号 1609

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民、観光客

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

津波から市民等の生命と身体の安全が守られます。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・修景池等取り壊し工事費及び門扉設置工事費の補正（H25年6月）
- ・避難タワー設計業務委託契約（3,433,500円）H25年9月
- ・平成26年4月からの消費税率引上げによる事業費の補正（H25年12月）
- ・入札の実施（H26年2月）
- ・入札不調のため設計見直しによる事業費の補正（H26年3月）
- ・津波避難施設整備事業の平成26年度への繰越明許（H26年3月）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
避難タワー設置数	基	0	0	2
成果状況				
避難収容可能人数	人	0	0	200

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	1,249				1,249		
25年度 実績	7	0	0	0	0	7	3,434
26年度 当初							(143,306)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

社会経済情勢の変化により工事入札が不調に終わったため、年度内に津波避難タワーが設置できませんでした。入札の不調は、東日本大震災の復興事業の影響で、設計時点と比較して人件費や建設資材の価格上昇があったためで、工事の年度内完成を見込めなかったのは、設計の見直しや事務手続きに時間を要したことによるものです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
市の津波対策が推進されていると考える市民の割合	%	57	60.6	55

事務事業名 木造住宅耐震化促進事業

都市建設部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	03	施策名	防災・消防対策の充実
基本事業番号	04	基本事業名	防災意識の向上
計画年度	平成 20 年度 ~ 平成 27 年度		事務事業整理番号 641

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

新耐震基準（昭和56年）以前に建てられた木造住宅所有者（市民）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）
新耐震基準（昭和56年）以前に建てられた木造住宅の耐震化が促進されます。

事務事業の内容、やり方、手順

- 木造住宅耐震診断補助事業
- 1 新耐震基準以前に建築された木造住宅を対象
 - 2 補助率は診断費の2/3以内、上限6万円
 - 3 周知はHP及び広報等による
- 木造住宅耐震改修工事補助事業（平成24年度開始）
- 1 新耐震基準以前に建築された木造住宅で耐震診断の結果が、「やや危険」又は「危険」判定されたもの
 - 2 補助率は耐震工事設計費、耐震改修工事費及び耐震工事監理費の1/3以内、上限50万円
 - 3 周知はHP及び広報等による

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
耐震診断補助金申請件数	件	2	1	5
耐震改修工事補助金申請件数 23年度までは個別相談会の開催数（回）	件	2	0	5
成果状況				
耐震診断実施棟数	棟	2	1	5
耐震改修工事完了棟数 23年度までは個別相談者数（人）	人	2	0	5

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	1,120	560	210			350	
25年度 実績	43	21	10	0	0	12	
26年度 当初	2,800	1,400	575	0	0	825	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 耐震診断申請者数は1件で、耐震改修工事申請は0件で、前年度に比較して減少しています。
< 原因 > 築33年以上の建築物が対象となるため、改修工事を検討する市民が少ないことが考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
災害に対する備えの平均実施項目数	項目	4.42	4.46	7

事務事業名 自主防災組織育成事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	03	施策名	防災・消防対策の充実
基本事業番号	04	基本事業名	防災意識の向上
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1072

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

区、自治会
自主防災組織

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

災害発生時に自分たちの地域の災害復旧活動ができる。

事務事業の内容、やり方、手順

・いざ災害が起こったときに「自分たちのまちは自分たちで守る」という地域住民の自衛意識と連帯感に基づいて、区会、自治会単位で自主的に活動する組織の結成を促進する。
 ・自主防災組織結成促進説明会実施数 6回
 ・山武市自主防災組織設置促進事業補助金利用組織数 6組織
 ・新規結成組織 6組織
 ・山武市自主防災組織活動促進事業利用組織数 18組織
 ・防災士取得者数 7名

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
関係機関（区長連合会、区、自治会）説明回数	回	5	6	3
交付対象組織数	セット	4	6	7
成果状況				
新規結成自主防災組織数（当該年度）	組織	3	6	5
資機材整備組織数（合計）	組織	38	44	51

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	3,596		664		1,275	1,657	
25年度 実績	4,033	0	991	0	3,012	30	
26年度 当初	13,460	0	1,162	0	12,298	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

防災に対する関心度が地域で向上していると考えられます。区から自主防災組織の設定等の説明会の要請があった場合は、できるだけ出向き説明会を実施していることも増加の要因であると考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
災害に対する備えの平均実施項目数	項目	4.42	4.46	7

事務事業名 コミュニティ消防センター設置事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	03	施策名	防災・消防対策の充実
基本事業番号	06	基本事業名	消防力の充実
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1073

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
コミュニティ消防センター

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

災害時における活動の拠点及びコミュニケーション育成の場が整備される。

事務事業の内容、やり方、手順

地域住民の防災意識の高揚、災害時における活動の拠点及びコミュニケーション育成の場等に活用するため、地域の防災・災害活動拠点施設として整備を図る。
 平成24年度 設置場所の検討
 平成25年度 上大蔵、下大蔵、小川地区（第12分団第3部）
 平成25年6月 設計業務見積依頼
 設計業務契約
 測量業務（境界確定）
 平成26年3月 次年度繰越
 5月 建築工事請負契約
 9月 完了検査
 平成26年度 蓮沼南浜地区（第10分団第3部）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
コミュニティ消防センター整備箇所数（当該年度）	箇所	1	0	2
成果状況				
コミュニティ消防センター整備箇所数（累計）	箇所	30	30	32
コミュニティ消防センター整備割合	%	63.8	63.8	68

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	9,020	9,019				1	
25年度 実績	676	0	0	0	0	676	
26年度 当初	19,754	0	0	19,700	0	54	(12,780)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

平成25年度コミュニティ消防センター整備については、第12分団第3部(上大蔵、下大蔵、小川)に設置予定でしたが、設置場所の境界確定並びに地元消防団と構造等の協議に時間を要したため、平成26年度に設置となりました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
消防団員の火災出動率	%	21.7	24	30
消防団員の平均年齢	歳	35.1	35.2	35.5
常備消防職員の充足率	%	96	95.3	100

事務事業名 排水路整備事業

都市建設部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	03	施策名	防災・消防対策の充実
基本事業番号	07	基本事業名	治山・治水対策の促進
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 634

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
市が管理する水路

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

水路を整備し排水機能の向上を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

排水機能の低下している水路をコンクリート構造物等による水路整備を行うことで、治水対策と環境衛生の向上を図ります。
 工事箇所 市内全域
 工事実施までの流れ
 地元区からの要望受付 現地調査 工事箇所の選定
 測量・調査 工事実施

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
水路整備実施箇所数	箇所	7	7	5
成果状況				
水路整備を実施した整備延長	m	557	643	500

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	42,236				36,461	5,775	
25年度 実績	46,495	0	0	0	34,767	11,728	8,425
26年度 当初	40,500	0	0	0	3,000	37,500	(21,296)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

阻害要因なく、当初計画通りに事業が行われているため、成果としては順調に上がっているものと考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
日降水量100mmクラスの風水害における床上・床下浸水家屋数	棟	0	81	0
治山治水対策年間整備箇所数	か所/	6	7	7

事務事業名 地域防災計画改定事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	03	施策名	防災・消防対策の充実
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進
計画年度	平成 24 年度 ~ 平成 26 年度		事務事業整理番号 1608

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民、防災関係機関、市職員等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

災害発生時において迅速かつ的確な対応が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

<地域防災計画>
 ・災害対策基本法の一部改正に基づく、地域防災計画本編の見直し作業及び事務局レベルの計画原案作成
 <災害時職員初動マニュアル>
 ・マニュアル見直しに係る職員説明会の開催
 ・マニュアルの原案作成

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
コンサル打合せ日数	日	4	10	20
防災会議開催数	回	1	0	2
成果状況				
年度別スケジュールの進捗率	%	50	75	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	8,326				8,326		
25年度 実績	2,747	0	0	0	2,747	0	1,507
26年度 当初	7,130	0	0	0	7,130	0	(1)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

当初2か年間で地域防災計画の見直しを予定していましたが、2年目は事務局レベルの計画原案の作成で終わってしまい、2か年で計画の改定作業を終了することができませんでした。
 災害対策基本法が平成24年6月に引き続き平成25年6月にも改正があり、これにより、国や県の計画の見直しが行われ、その修正内容と整合を図る必要が生じました。また、平成25年10月に発生した台風26号及び27号による災害対応等で市側の事務作業が一時中断せざるを得ない状況になり、スケジュールに遅延が生じたことによるものです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値

事務事業名 公園施設長寿命化計画策定事業

都市建設部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	04	施策名	都市の整備
基本事業番号	01	基本事業名	市街地の整備
計画年度	平成 24 年度 ~ 平成 25 年度		事務事業整理番号 1347

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

都市公園

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

都市公園の効率的な維持管理と安全性の確保を図る。

事務事業の内容、やり方、手順

都市公園施設の適切な修繕や計画的な改築など予防保全的管理を目的とした計画書の策定をします。

・公園施設長寿命化計画策定事業

成東城跡公園	22,389	m ²
成東総合運動公園	139,336	m ²
伊藤左千夫記念公園	3,400	m ²
こまつ公園	842	m ²
下町きせつの公園	1,350	m ²
さんむの森ふれあい公園	51,164	m ²
さんぶの森公園	124,514	m ²

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
打ち合わせ・協議回数	回	7	7	0
成果状況				
都市公園長寿命化計画策定数	数	0	1	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	3,607	1,400				2,207	
25年度 実績	2,100	1,000	0	0	0	1,100	
26年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

公園施設長寿命化計画については、平成25年度事業を持って完了いたしました。今後は、長寿命化計画に基づく都市公園の施設整備（改築）計画を策定し、計画的な維持管理を進めて参ります。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
都市施設として整備（再整備）している公園数	か所	53	53	65
建築確認申請済割合	%	36.1	29.6	48

事務事業名 成東駅南側駅前広場整備事業

都市建設部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	04	施策名	都市の整備
基本事業番号	02	基本事業名	駅周辺の利便性の向上
計画年度	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度		事務事業整理番号 1547

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民、成東駅南側駅前広場

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

安全性を確保し、快適性を向上させられます。
駅周辺の将来へのまちづくり意識を向上させられます。

事務事業の内容、やり方、手順

成東駅南側駅前広場の整備及び市民参加の協議会

- 成東駅南側駅前広場の整備
面積 約3,600㎡、買収面積 約2,937㎡、筆数 20筆
H25 土地・物件調査、用地・物件補償、実施設計等の実施
- まちづくり協議会の運営
H25 年間6回開催
・景観形成配慮事項の検討
・駅前広場のデザインの検討

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
年度当たりの整備率（事業費ベース）	%	50.9	51	100
まちづくり市民活動の回数	回	6	6	6
成果状況				
満足度	%	38.4	40.1	45
全体整備率（事業費ベース）	%	0.47	46.4	77.2

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	10,192	3,600		2,500		4,092	
25年度 実績	109,214	88,500	0	15,900	0	4,814	10,366
26年度 当初	189,380	3,000	0	173,000	0	13,380	(165,183)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

平成25年度は、用地・補償業務において10件中3件（土地への）の地権者と契約を行いました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
駅周辺の利便性に対する満足度	%	38.4	40.1	50

事務事業名 成東駅南口線整備促進事業

都市建設部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり	
施策番号	04	施策名	都市の整備	
基本事業番号	02	基本事業名	駅周辺の利便性の向上	
計画年度	平成 24 年度 ~ 平成 30 年度			事務事業整理番号 1548

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民、成東駅南口線

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

駅へのアクセスを向上させられます。

事務事業の内容、やり方、手順

市の駅前広場の整備と併せて県が都市計画道路を整備する事業費の一部を負担します。

整備延長 約300m 幅員18m
 整備事業費 約10億円
 事業期間 H24年度～H30年度

H25 土地・物件調査、用地・補償及び電施共同溝予備設計の実施

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
年度当たりの整備率（事業費ベース）	%	44.3	60.5	100
成果状況				
満足度	%	38.4	40.1	45
全体整備率（事業費ベース）	%	0.92	7.33	44.88

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	2,015			1,900		115	
25年度 実績	11,507	0	0	10,900	0	607	2,468
26年度 当初	76,905	0	0	73,000	0	3,905	(7,498)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

平成25年度は、用地・補償業務において41件中5件（土地へ入）の地権者と契約を行いました。（千葉県）平成26年度も引き続き千葉県と連携を図りながら、事業を促進してまいります。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
駅周辺の利便性に対する満足度	%	38.4	40.1	50

事務事業名 景観計画策定事業

都市建設部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	04	施策名	都市の整備
基本事業番号	03	基本事業名	まち並景観形成の推進
計画年度	平成 23 年度 ~ 平成 26 年度		事務事業整理番号 1349

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市域全体

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

地域の個性及び特色を活かした景観を保全・創出する取組を行うことにより「住みよいまち」「住み続けたいまち」づくりを進めます。

事務事業の内容、やり方、手順

25年度：景観計画素案の作成
 ・ 市民と有識者等との協働による作成
 ・ 都市計画審議会を開催し、素案を提示して意見を求めた。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
市民参加による景観資源調査（懇談会・イベント等）回数	回	4	4	4
景観計画策定委員会開催回数	回	0	4	4
成果状況				
景観計画策定進捗率（事業費ベース）	%	22	57	100
景観条例の制定	件	0	0	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	4,189	2,000				2,189	
25年度 実績	6,351	3,000	0	0	0	3,351	
26年度 当初	8,058	3,000	0	0	0	5,058	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 景観計画の素案が完成し、都市計画審議会に諮り、継続して事業を進めることが了承されました。
 < 原因 > 景観計画の策定事業は順調に進んでおり、平成26年度中に完成予定です。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
景観に対する満足度	%	68.5	68.5	70

事務事業名 空き地等の管理事業

経済環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	01	施策名	生活環境の充実
基本事業番号	01	基本事業名	生活公害の対策
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 562

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

空き地・空き家の所有者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

未管理地隣接者の苦情を解消し、生活環境の美化の推進に貢献することができます。

事務事業の内容、やり方、手順

宅地化された土地が空き地又は空き家で、雑草が繁茂又は枯死し生活環境上他に迷惑を及ぼす状態になっている場合、その所有者へ指導書等の通知を出し、適正管理を促しました。また土地所有者が確認できない場合や環境衛生上緊急な場合と判断された土地に限り、市において業者委託により草刈から処分までの対応をしました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
草刈実施箇所数	件	134	104	200
成果状況				
実施割合	%	65.7	59.1	100
草刈委託件数	件	21	10	50

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	279					279	
25年度 実績	211	0	0	0	0	211	
26年度 当初	1,281	0	0	0	0	1,281	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

実施割合が平成24年度より10.0% 低下してます。遅延です。
 所有者が指導に従わない場合や高齢化が進み土地の管理が出来ない事が原因です。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
騒音・悪臭・水質汚濁苦情件数	件	14	8	40
犬・猫管理苦情件数	件	36	17	50
野焼き苦情件数	件	64	43	60
空き地の管理（雑草等）苦情件数	件	179	176	170

事務事業名 不法投棄防止対策事業

経済環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	01	施策名	生活環境の充実
基本事業番号	03	基本事業名	美化運動の推進と不法投棄防止対策
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 585

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

地域に密着した活動により不法投棄が抑制されます。

事務事業の内容、やり方、手順

不法投棄監視員（25名）を委嘱し、不法投棄監視パトロール等の実施により不法投棄の未然防止に努めました。（定数25名、月5,000円任期2年）

監視カメラを設置し不法投棄行為者の特定や抑制を図りました。

不法投棄監視員会議を開催しました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
不法投棄監視員会議	回	2	2	2
パトロール回数	回	906	906	1,200
成果状況				
不法投棄監視員活動報告書による異常あり件数	件	40	40	70

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	2,461		979			1,482	
25年度 実績	2,195	0	937	0	0	1,258	
26年度 当初	2,649	0	973	0	0	1,676	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

不法投棄パトロール実施回数が前年と同程度であったため、異常報告数も同程度あったと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
産業廃棄物不法投棄件数	件	7	3	10
一般廃棄物等不法投棄件数	件	224	192	250
ごみゼロ運動参加者数	人	20,909	21,739	23,000

事務事業名 不法投棄パトロール事業

経済環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	01	施策名	生活環境の充実
基本事業番号	03	基本事業名	美化運動の推進と不法投棄防止対策
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 586

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

事務事業の内容、やり方、手順

不法投棄パトロールを山武市シルバー人材センターへ委託し、平成25年度は、4月から7月までは1日2名×3組で実施し、8月から3月までは1日2名×2組体制で実施しました。特に集落がない道路のポイ捨てが多い場所での環境美化パトロール及びゴミ拾いを実施しました。（1日2名×3組、244日）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

公有地（道路等）の不法投棄を早期に回収することで、市内の環境美化を保ちます。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
連絡調整会議	回	2	2	2
不法投棄パトロール日数	日	245	244	244
成果状況				
収集したごみ量（袋数）	袋	7,150	7,200	6,950

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	5,892					5,892	
25年度 実績	6,783	0	0	0	0	6,783	
26年度 当初	8,646	0	0	0	0	8,646	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

前年度と同程度のパトロール実施日数だったため不法投棄物回収量も同程度になったと思われます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
産業廃棄物不法投棄件数	件	7	3	10
一般廃棄物等不法投棄件数	件	224	192	250
ごみゼロ運動参加者数	人	20,909	21,739	23,000

事務事業名 共同利用施設ソーラー発電化システム事業

総務部 企画政策課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	01	施策名	生活環境の充実
基本事業番号	04	基本事業名	航空機騒音等の対策
計画年度	平成 25 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1723

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

騒防法第一種区域内共同利用施設
施設利用対象市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

共同施設の電気代削減につながり、CO₂削減にも寄与する
事が見込めます。

事務事業の内容、やり方、手順

騒防法第一種区域内の施設について、現地調査後区長及び施設
管理者等に説明を行い設置工事を実施します。
余剰電力を売電し、売電により得られる収入を基金管理として
、維持管理費や今後設置するソーラーシステム化費用の一部と
します。

手順
4月～5月 工事請負会社選定（入札）
5月～3月 工事着工・竣工

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
区長等との協議回数	回		4	5
成果状況				
騒防法第一種区域内共同利用施設ソーラー発電化件数	施設		0	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績							
25年度 実績	829	0	0	0	0	829	
26年度 当初							(17,169)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

繰越事業となりました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
航空機騒音対策に対する満足度	%	72.9	77.7	75

事務事業名 家庭用生ごみ堆肥化装置設置支援事業

経済環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	02	施策名	廃棄物の減量・処理の適正化
基本事業番号	01	基本事業名	ごみの減量化の推進
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 592

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

事務事業の内容、やり方、手順

一般家庭から排出される生ごみを堆肥化する装置を設置した市民に対し、その購入に要した経費の一部を補助する。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

生ごみの堆肥化を促進することで、一般廃棄物の減量化を図ることができる。

補助率

・1基につき2万円を限度に購入した経費の2分の1
電気機械は、1世帯当たり1基まで
コンポスト容器は、1世帯当たり2基まで
バケツ型容器は、1世帯当たり2基まで
3年を経過した場合は再度申請可能

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
補助金交付予定件数	件	69	57	69
成果状況				
補助金交付件数	件	53	57	69

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	306					306	
25年度 実績	270	0	0	0	0	270	
26年度 当初	550	0	0	0	0	550	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

補助金交付件数は平成24年度より7.5% 向上しており順調です。
一部の事業者（JA）による補助金を推進する啓発活動により申請者が見込めました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
家庭ごみ排出量	t	12,061	11,924	11,251
事業系ごみ排出量	t	3,097	3,136	2,813

事務事業名 資源回収運動奨励事業

経済環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	02	施策名	廃棄物の減量・処理の適正化
基本事業番号	02	基本事業名	再資源化の推進
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 593

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民、資源回収運動登録団体

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市民が廃棄物の減量に対する意識の高揚を図り、再資源化を推進する。

事務事業の内容、やり方、手順

・廃棄物の減量運動を促進するため、資源回収を区、自治会、PTA、子供会等が実施した場合、団体に対して1kg当たり3円の資源ごみ回収活動団体奨励金を交付し、廃棄物の資源化に対する意識の高揚を図りました。
 ・成東地区及び山武地区に設置してあるリサイクル倉庫の利用により、ダンボール、雑誌類等のごみの減量化と再資源化を図りました。
 ・より一層の資源化を推進するために、広報やホームページさらにごみゼロ運動時に回覧文により各地区に周知を図りました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
周知活動回数	回	3	3	4
奨励金額	千円	2,091	2,096	2,918
成果状況				
回収資源化量	t	697	698	972.3
資源回収運動登録団体数のうち奨励金の交付を受けた団体数の割合	%	88	84	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	2,152					2,152	
25年度 実績	2,149	0	0	0	0	2,149	
26年度 当初	2,502	0	0	0	360	2,142	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

回収資源化量は平成24年度より0.1%減少しています。
 資源回収運動登録団体数のうち奨励金の交付を受けた団体数の割合は低下しています。
 毎年定期的に資源回収を行っている登録団体により回収資源化量の推移は横ばいです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
回収資源化量	t	2,696	2,609	2,700

事務事業名 廃棄物に関する意識啓発事業

経済環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	02	施策名	廃棄物の減量・処理の適正化
基本事業番号	03	基本事業名	廃棄物に関する意識の向上と啓発
計画年度	平成 21 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1120

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

事務事業の内容、やり方、手順

市民の廃棄物に関する意識の向上を図るため、下記のことを行いました。
 ・ごみカレンダー作成及び配布
 ・不適正なごみの排出に対する残置シールの貼付

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

適正なごみの分別及び排出についての理解を深め、3R意識の向上を図る。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
ごみカレンダー作成枚数	枚	23,200	23,200	21,500
成果状況				
残置シール貼付件数	件	857	628	428

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	412					412	
25年度 実績	418	0	0	0	0	418	
26年度 当初	569	0	0	0	0	569	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

残置シール貼付件数は平成24年度より26.7%下がっており、順調です。
 職員による電話対応やごみカレンダーの配布により分別方法の周知が徹底されました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
ごみ排出指導件数	件	20	15	10
残置シール貼付件数	件	857	628	767

事務事業名 ごみ集積場施設整備支援事業

経済環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	02	施策名	廃棄物の減量・処理の適正化
基本事業番号	04	基本事業名	ごみ処理の効率化
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 594

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

住民団体、市民

事務事業の内容、やり方、手順

ごみ集積場ではカラスや野良猫などに可燃ごみがあらされることが多く不衛生になってしまう危険があるため、ごみ集積施設（集積箱等）を住民団体等が設置する場合、その経費の2分の1（ごみ集積場施設整備事業 上限 新設80,000円 修繕 25,000円）を補助しました。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市民の生活環境の保全と公衆衛生の向上が図られる。
ごみ集積所が綺麗に清潔になる。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
補助金交付予定件数（整備する予定集積所箇所数）	件	21	32	21
成果状況				
補助金交付件数（整備した集積所箇所数）	件	46	36	21

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	1,016					1,016	
25年度 実績	1,671	0	0	0	0	1,671	
26年度 当初	1,670	0	0	0	0	1,670	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

補助金交付件数は平成24年度より21.7%減少しています。
個々の交付件数のうち補助の金額が大きい申請がありました。
予算的には昨年度より大きく上回っており補正対応しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
1人当たりの負担金額 (収集料金・ごみ袋代金を含む)	円	8,983	8,557	12,331

事務事業名 自動車用充電器設置事業

経済環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	03	施策名	自然環境の保全
基本事業番号	01	基本事業名	自然環境保全活動の推進
計画年度	平成 25 年度 ~ 平成 26 年度		事務事業整理番号 1776

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民、山武市への訪問者

事務事業の内容、やり方、手順

電気自動車用充電器設置工事の設計をしました。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市民や市への訪問者が、電気自動車を利用しやすい状況を整備し、電気自動車が普及することにより、地球温暖化を抑制します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
千葉県次世代自動車充電インフラ整備ビジョンによる設置箇所数（山武市）	箇所		15	15
成果状況				
電気自動車用充電器設置箇所数	箇所		2	6

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績							
25年度 実績	689	0	0	0	0	689	
26年度 当初	34,992	0	21,600	0	0	13,392	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

ランニングコスト削減のため機種選定で時間を要しましたが、補助対象期間内施工が可能である期限までに設計が終了しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
自然環境保全活動に参加している団体数	団体	31	31	34

事務事業名 木質バイオマス燃料利活用補助事業

経済環境部 わがまち活性課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	03	施策名	自然環境の保全
基本事業番号	03	基本事業名	バイオマスタウン構想の推進
計画年度	平成 22 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1269

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

世帯

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

未利用木質バイオマスの燃料利用が増加します。

事務事業の内容、やり方、手順

木質バイオマス資源のエネルギー利用推進のため、木質ペレットや薪使用のストーブ、ペレットボイラーの購入者に対し、購入設置費用の1/2の額について補助金を交付しました。
 バイオマスボイラー 1件
 ペレットストーブ 5件
 薪ストーブ 5件

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
啓発実施回数	回	2	1	3
成果状況				
補助件数	件	7	11	14

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	773					773	
25年度 実績	1,305	0	0	0	0	1,305	
26年度 当初	1,900	0	0	0	0	1,900	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

啓発実施回数が1回（広報掲載）となっているが、冬季時は、本庁舎、蓮沼出張所、バイオマス体験棟において、ペレットストーブを稼働させ、来庁者に対し啓発活動を行っています。さらに、松尾出張所の取壊しに伴いオライはすぬまにペレットストーブを移設し、稼働を行いました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
バイオマスに関する取組みの事業数（累計）	件	6	6	10

事務事業名 バイオマス施策提案事業

経済環境部 わがまち活性課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	03	施策名	自然環境の保全
基本事業番号	03	基本事業名	バイオマスタウン構想の推進
計画年度	平成 24 年度 ~ 平成 26 年度		事務事業整理番号 1538

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
バイオマス資源

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

広く市民への啓発活動を実施し、市民との協働によりバイオマスの利活用を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

山武市バイオマスタウン構想に規定する次に掲げるバイオマスの利活用方法に適合する施策事業を提案し実践する者に対し、事業費の一部を助成します。

募集方法として、広報やeメール、電話等により森林整備等を行う団体に連絡を行いました。（5件）うち、1団体から申請の相談があり、事前に事業説明及び申請内容の確認を行った結果、申請を取下げることとなったため申請団体は、0件でした。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
補助金額	千円	92	0	1,500
成果状況				
バイオマス利活用実践事業数	事業数	1	0	3

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	98					98	
25年度 実績	0	0	0	0	0	0	
26年度 当初	1,522	0	0	0	0	1,522	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

森林整備活動団体等に聞き取りをしたところ補助率が3/10では、団体の活動費の確保が出来ないことから事業展開が出来ないため、申請を見送ったとのことでした。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
バイオマスに関する取組みの事業数（累計）	件	6	6	10

事務事業名 省エネルギー等対策事業

経済環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	03	施策名	自然環境の保全
基本事業番号	04	基本事業名	再生可能エネルギー対策の推進
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1544

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民（世帯）

事務事業の内容、やり方、手順

東京電力の電力不足及び停電時の電力確保のため、市民が住宅用太陽光発電設備を設置する場合に、設置費用の一部を補助し、併せて省エネルギー対策を推進しました。一戸当たり3万円 / Kw × 3.5Kw = 105,000円を上限として補助しました。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市内の各世帯が住宅用太陽光発電設備を設置することにより、東京電力の電力不足の解消及び停電時の電力確保ができ、省エネルギー対策を推進し、住みやすい環境づくりを進めます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
補助金を交付した世帯数	世帯	40	51	50
成果状況 この事業により住宅用太陽光発電設備を設置した世帯の総発電量	kw	189.77	235.33	140

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	4,012		2,674			1,338	
25年度 実績	5,161	0	3,436	0	0	1,725	
26年度 当初	5,263	0	3,500	0	0	1,763	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

補助件数は40件から51件と27.5%増加しました。余剰電力の買い取り価格は下落したものの、設備価格も下落したことから太陽光発電システム設置の誘因が働いたためと思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
再生可能エネルギーの発電装置の普及件数	件	770	1,003	1,022
再生可能エネルギーの発電装置による契約発電量	kw	3,822	8,157	4,599
市の事務事業により発生する二酸化炭素の量	t-CO2	5,663	5,775	7,683

事務事業名 浄化槽設置支援事業

経済環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	05	施策名	汚水処理の推進
基本事業番号	01	基本事業名	合併処理浄化槽による水質改善
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 598

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

新たに合併浄化槽を設置しようとする者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

生活排水を未処理で放流している世帯及び単独浄化槽設置世帯を対象に合併浄化槽への転換を図ることにより、公共水域の水質浄化を図る。

事務事業の内容、やり方、手順

農業集落排水対象地区以外で、くみ取り便槽・単独浄化槽から合併浄化槽に転換する個人に対し、補助金を交付します。補助額は単独槽からの転換（5人槽512,000円・7人槽594,000円・10人槽728,000円）汲み取り便槽からの転換（5人槽432,000円・7人槽514,000円・10人槽648,000円）を補助しました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
1年間の浄化槽補助金申請件数	件	38	59	59
成果状況				
単独浄化槽設置基数	基	6,338	8,134	7,718
し尿処理世帯戸数	戸	3,512	2,696	2,696

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	20,748	2,034	7,762			10,952	
25年度 実績	31,528	4,581	11,746	0	0	15,201	
26年度 当初	31,644	7,274	11,984	0	0	12,386	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

単独浄化槽設置基数は平成24年度より28.3% 低下し、し尿処理世帯戸数は23.2% 向上しました。単独浄化槽設置基数の把握漏れが約2,000件ありました。

汲み取り便槽が昨年度より816基減少しています。補助金を利用せず合併浄化槽を設置している市民が増加しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
くみ取り及び単独処理浄化槽からの切替件数	件/年	38	59	50

事務事業名 汚水適正処理構想調査事業

都市建設部 都市整備課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	05	施策名	汚水処理の推進
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進
計画年度	平成 25 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1794

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

公共用水域の水質の保全及び市民の生活環境の保全を図ることができます。

事務事業の内容、やり方、手順

市の汚水処理施設整備に関する基礎調査を行います。

- ・現況整理
- ・課題の抽出
- ・課題解決の方策案（県下水道課との協議）
- ・望ましい事業手法（まとめ）

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
検討会の回数			3	4
成果状況				
汚水適正処理構想調査事業に関する基礎調査数			1	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績							
25年度 実績	483	0	0	0	0	483	
26年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

市全域の汚水処理施設の整備における現況調査及び課題の抽出を行い、一般的な事例等に基づく課題解決の方策案をまとめました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値

事務事業名 防犯パトロール事業

市民部 市民課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり		
施策番号	06	施策名	防犯対策の充実		
基本事業番号	01	基本事業名	地域ぐるみの防犯体制の充実		
計画年度	年度 ~ 年度			事務事業整理番号	185

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市防犯パトロール隊
山武市防犯協会

事務事業の内容、やり方、手順

パトロールを実施する防犯団体に、市が所有する青色防犯パトロールカーを貸与しました。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

団体が行う防犯パトロール活動を、より効率的かつ効果的なものとしします。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
防犯パトロール回数	回	436	408	403
成果状況				
防犯パトロール実施率	%	87.2	66.9	80

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績							
25年度 実績	19	0	0	0	0	19	
26年度 当初	29	0	0	0	0	29	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

【状況】
パトロールの実施率が、昨年度比 20.3%減少し、66.9%となりました。
【原因】
防犯指導員及びパトロール隊員の高齢化、体調不良や諸事情によりパトロールが困難な日もあり、低下したものと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
防犯活動を行っている区・自治会や団体の数	団体	25	27	27
防犯活動を行っている協力者数	人	591	597	600

事務事業名 学校防犯支援事業

教育部 学校教育課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	06	施策名	防犯対策の充実
基本事業番号	02	基本事業名	児童・生徒の安全確保
計画年度	平成 21 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1267

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

児童生徒、教職員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

児童生徒、教職員が事件事故に巻き込まれることなく、安心して学校生活を送ることができます。

事務事業の内容、やり方、手順

市でスクールサポーターを雇用して各学校に派遣し、学校の安全管理体制の充実を図ります。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
学校防犯指導員の活動日数	日	222	222	190
成果状況				
市内小中学校の学校防犯指導員の活用例数	件	76	37	30

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	3,069					3,069	
25年度 実績	3,115	0	0	0	0	3,115	
26年度 当初	3,240	0	0	0	0	3,240	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

学校における不審者を想定した避難訓練や不祥事根絶研修会の講師として派遣し、また、市内での不審者情報を受け、現場近くのパトロールを実施しました。安心安全な学校作りに貢献しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
登下校時における児童生徒の事件・事故件数	件	9	6	5

事務事業名 LED防犯灯整備事業

市民部 市民課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	06	施策名	防犯対策の充実
基本事業番号	03	基本事業名	犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の整備
計画年度	平成 24 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1644

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市民
- ・新設防犯灯
- ・既設防犯灯

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・夜間における危険個所が解消され、市民の安全が確保されます。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・市内における夜間の犯罪の発生を抑制し、市民の安全を確保するために各道路及びその周辺に防犯灯を設置します。
- ・LED灯の新規設置及び修繕を要する防犯灯のLED灯への交換に、積極的に取組めます。
- 《新設》毎年10月末までに行政区又は自治会の代表者から新規設置要望書と設置場所及び電柱番号を明記した地図を添付し提出していただきます。要望書受領後 現地調査・検討 年間計画作成 翌年度当初に設置可否決定通知書送付 LED灯設置工事発注
- 《交換》市民から球切等の連絡 状況により現地調査 LED灯設置工事発注

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
LED防犯灯年間設置数	基	1,090	704	850
LED防犯灯数（累計）	基	3,851	4,555	5,446
成果状況				
LED防犯灯設置率（新設、灯具交換）	%	50.6	59.76	68.9

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	43,403					43,403	
25年度 実績	21,717	0	0	0	0	21,717	
26年度 当初	21,693	0	0	0	0	21,693	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>年々、LED防犯灯の設置数は増加し、LED防犯灯設置率は60%近くにまでなっております。
 <原因>毎年度計画的に設置し、LED防犯灯設置率が向上しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
防犯灯設置要望対応率	%	90	100	90
LED防犯灯設置率	%	50.6	59.8	100
防犯カメラの設置台数(累積)	台	15	17	20

事務事業名 メール配信サービス事業

市民部 市民課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	06	施策名	防犯対策の充実
基本事業番号	04	基本事業名	防犯意識の向上
計画年度	平成 21 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1074

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

多くの市民に、不審者情報等の情報が迅速に提供され、子ども等にかかる犯罪等を防止します。

事務事業の内容、やり方、手順

・警察署や教育委員会から提供される山武市内の防犯情報を登録者に対し、電子メールにて迅速に配信します。
 ・本サービスにおいて、小中学校、子ども園等においては、個別に情報配信しています。（配信内容は、不審者情報、学校・学年等行事等）
 ・警察署や教育委員会から不審者等の情報を受領し、配信内容を作成し、課長決裁後、登録者へ情報配信します。
 ・配信内容は、子どもたちを狙った犯罪情報、女性を狙った犯罪情報、通り魔、凶悪犯人等を随時配信します。
 ・自転車盗難、車上ねらい及び空き巣等については、月集計等により必要に応じて配信します。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
情報メール配信回数	回	18	59	50
パンフレット配付数	枚	300	5,537	5,409
成果状況				
情報メール登録者数	人	1,447	3,931	4,700

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	283					283	
25年度 実績	2,081	0	0	0	0	2,081	
26年度 当初	2,078	0	0	0	0	2,078	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>前年比2,484件の増となり、順調に登録者数が増えています。

<原因>パンフレット配布及び広報等による周知により伸びていると考えられます。また、サービスが浸透してきたことにより、口コミでの新規登録者も増えていると考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
犯罪に対する備えの平均実践項目数	項目	2.29	2.34	2.5
家・自動車・バイク・自転車の施錠を行っている割合	%	99	96	100

事務事業名 消費生活相談事業

経済環境部 農商工・観光課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	06	施策名	防犯対策の充実
基本事業番号	05	基本事業名	消費者トラブルの防止
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 533

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

消費者と事業者との間の情報や交渉力の格差を軽減し、商品及び役務についての必要な知識や判断力が養われ、消費者自らが利益を保護し自主的に行動することができるようにします。

事務事業の内容、やり方、手順

商品又はサービスの購入（悪質商法・訪問販売等）に伴って発生したトラブルについての相談に対し、有資格者の消費生活相談員及び担当職員が相談業務を実施いたします。
（相談実施日：月曜日～金曜日の充実）
また、相談の充実を図るために相談員のレベルアップ研修を実施します。
市民の意識向上に対して啓発を推進します。
（啓発用物資を作成しイベント開催時に配布。）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
消費生活相談の回数	回	126	204	244
啓発物の配布枚数	枚	19,407	25,938	26,000
成果状況				
消費者相談件数（山武市受付分）	件	125	286	360
消費者相談件数	件	369	497	540

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	2,243		2,069			174	
25年度 実績	4,481	0	3,285	0	0	1,196	
26年度 当初	8,442	0	3,230	0	0	5,212	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

消費者行政活性化基金事業を活用して、4月から山武市消費生活センターを設置しました。消費生活相談員を雇用し週4日（月・火・木・金）市民の消費生活問題について、電話や窓口での相談に対応しました。また、センターの設置や相談体制について周知するとともに、トラブルの減少を目的とした啓発活動を行いました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
消費者相談件数	件	369	497	450
消費者トラブルにあった市民の割合	%	3.1	2	3

事務事業名 交通安全推進事業

市民部 市民課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	07	施策名	交通安全対策の推進
基本事業番号	01	基本事業名	交通安全意識の向上
計画年度	年度 ~ 年度	事務事業整理番号	192

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

交通安全啓発看板設置申請者、交通事故相談者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

交通事故が減ります。相談者を救済します。

事務事業の内容、やり方、手順

交通事故防止のため各区から申請のあった場所に看板を設置しました。

<設置方法>

- ・看板設置要望地区より申請書の提出 現地確認し設置
- ・平成25年度設置数：21枚

事故にあわれた方々の救済を図るため、専任相談員と顧問弁護士及び臨床心理士からなる交通事故相談所を設置しました。

<開設方法>

- ・2ヶ月に1度市役所会議室で行いました。（奇数月）
- ・10：00～15：00

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
看板設置数	枚	31	21	30
相談所設置回数	件	6	6	6
成果状況				
事故件数	件	248	192	179
相談受付件数	件	8	7	12

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	221					221	
25年度 実績	181	0	0	0	0	181	
26年度 当初	205	0	0	0	0	205	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

状況 事故件数が減少し、成果が向上しています。

原因 その理由としては、看板を設置することで、運転者へ事前の注意を促すことができます。また、行政処分が厳罰化され、危険性の高い状態での運転が減っていることが考えられるほか、飲酒運転根絶などの運転マナー、モラルが年々向上していると思われま。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
交通ルールを遵守している市民割合	%	79.3	80.2	90
シートベルト着用率	%	97	97.7	96

事務事業名 交通安全施設整備管理事業

市民部 市民課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	07	施策名	交通安全対策の推進
基本事業番号	02	基本事業名	交通安全施設の整備
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 196

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

見通しの悪い交差点等が解消されます。

事務事業の内容、やり方、手順

市内の交通の安全の確保に必要な環境整備を図るため、交通安全施設（カーブミラー）を設置します。
 <設置方法>
 ・カーブミラー設置要望地区より申請書の提出 現地調査
 設置等の決定 工事
 ・平成20年度設置基数：41基 修理等の基数：79基
 ・平成21年度設置基数：50基 修理等の基数：45基
 ・平成22年度設置基数：24基 修理等の基数：60基
 ・平成23年度設置基数：30基 修理等の基数：70基
 ・平成24年度設置基数：21基 修理等の基数：65基
 ・平成25年度設置基数：41基 修理等の基数：58基

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
カーブミラー新規設置基数	基	21	41	20
カーブミラー修理基数	基	65	58	65
成果状況				
カーブミラーの設置要望対応率	%	91	95	94
カーブミラー設置総数	基	3,115	3,156	3,176

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	2,059					2,059	
25年度 実績	2,447	0	0	0	0	2,447	
26年度 当初	2,285	0	0	0	0	2,285	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

状況 区・自治会からの設置要望に対して、前年度に比べて20基増加し、41基を設置しました。対応率は4.4%向上しました。
 原因 交通安全に役立ててほしいということで、寄付をいただき、カーブミラー設置に充てることが出来たため、設置率が上昇しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
交通安全施設の改善・設置に対する要望対応率	%	92.1	92.3	97

事務事業名 認定農業者育成事業

経済環境部 農商工・観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興	
基本事業番号	01	基本事業名	担い手の育成・支援	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	447

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内認定農業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

認定農業者の機械・施設の導入・更新が促進され、作業の省力化・効率化が進みます。
認定農業者が増加します。

事務事業の内容、やり方、手順

市内認定農業者が農業経営改善に必要とする農業用機械(貨物自動車を除く。)及び農業用施設に要する経費の10%以内を限度額250,000円として、同一年度内に一度限り助成します。
申請受付を4月～5月末まで行います。
なお交付を受けた翌年度については事業申請できません。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
事業要望件数	件	44	67	50
補助金交付件数	件	44	67	50
成果状況				
交付額	円	7,999,000	7,899,000	9,000,000
認定農業者増加件数	人	6	8	5

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	7,999					7,999	
25年度 実績	7,899	0	0	0	0	7,899	
26年度 当初	9,000	0	0	0	0	9,000	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

認定農業者数は前年度と変わらない状況です。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
認定農業者数	人	361	365	387
新規就農者数	人	31	33	50

事務事業名 農地利用集積助成事業

経済環境部 農商工・観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興	
基本事業番号	02	基本事業名	農地の利用集積の推進	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	448

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

農業経営基盤強化促進法による農用地利用集積計画者の貸主及び認定農業者である借主

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

耕作出来ない農地所有者と規模拡大を目指す認定農業者の利用権設定を増加させ、耕作放棄地発生防止と、耕作者の規模拡大が促進できる。

事務事業の内容、やり方、手順

6年以上の利用権設定を行った貸主及び認定農業者である借主に、設定年数と新規・再設定別に補助金を交付する。

1月から12月で区切り、対象者に申請の手続きについて、通知する。申請者の納税状況を確認し交付決定 補助金交付

6年以上10年未満・新規 10a当たり5,000円
 10年以上・新規 10a当たり7,000円
 6年以上10年未満・再設定 10a当たり3,000円
 10年以上・再設定 10a当たり5,000円

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
補助金額	千円	8,325	6,567	8,500
成果状況				
前年比利用権設定面積増減率	%	8	9	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	8,325					8,325	
25年度 実績	6,568	0	0	0	0	6,568	
26年度 当初	8,648	0	0	0	0	8,648	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

農地利用集積の増加により、耕作者の規模拡大・耕作放棄地の発生防止を図った。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
農地利用集積面積	ha	835	914	923

事務事業名 地域資源活用事業

経済環境部 わがまち活性課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり		
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興		
基本事業番号	03	基本事業名	農産物の付加価値向上と販路の拡大		
計画年度	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度			事務事業整理番号	1621

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

農林水産業者(個人、グループ、農業生産法人)
商工業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

地域農産物の加工化により、付加価値を高め地域経済の活性化を図る。

事務事業の内容、やり方、手順

市内の農林水産物等を活かした6次産業化(生産・加工・販売)に取り組む事業者に対して補助を行った。
(補助内容 補助対象経費の2分の1以内で100万円を限度)

<採択案件>

H25実績 3件, 3,000千円

案件1) まこもだけの出荷、加工品の製造・販売。自動真空機、蒸し器、煮炊釜、冷蔵庫等の機械設備を補助対象。

案件2) 苺、梅、栗及び野菜の加工品の製造・販売。作業場、ビニールハウス等の生産加工施設を補助対象。

案件3) 初級加工品(粉末化による代替床土、固形化による代替燃料)を製造するための機械設備を補助対象。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
相談件数	件数	8	9	10
成果状況				
開発数	数	3	3	3
取組人数	人数	3	3	3

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	1,680					1,680	
25年度 実績	3,000	0	0	0	0	3,000	
26年度 当初	3,000	0	0	0	0	3,000	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>開発数、取組人数とも、平成24年度より変化はありません。
<原因>当初計画のとおり3件の取組案件を採択し、補助を行っており、順調です。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
特産品を活用した一次加工品等の開発数（累計）	件	3	7	10
新たに6次産業化に取り組む経営体数（累計）	件	3	6	15

事務事業名 畜舎周辺対策支援事業

経済環境部 農商工・観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり		
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興		
基本事業番号	04	基本事業名	畜産業の生産規模拡大の推進		
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	463	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内畜産農家

事務事業の内容、やり方、手順

市内畜産農家の実施する、畜舎及びその周辺における消臭剤及び殺虫剤等の購入に対する助成を行います。
補助率：事業費の1/2以内（限度額50,000円）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

畜舎周辺の悪臭及び不快害虫の発生を抑制し、畜舎をとりまく環境に与える悪影響を軽減することで、畜産経営に対する周辺住民の理解を得られ、経営体の規模拡大が図りやすくなります。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
助成額	円	1,377	1,243	1,400
成果状況				
助成件数	件	32	31	30

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	1,377					1,377	
25年度 実績	1,243	0	0	0	0	1,243	
26年度 当初	1,400	0	0	0	0	1,400	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

近隣住民からの苦情等は減少している。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
一経営体当たり酪農飼養頭数	頭	45	41	50
一経営体当たり養豚飼養頭数	頭	1,420	1,685	1,004
一経営体当たり養鶏飼養頭数	羽	47,925	40,100	38,867

事務事業名 市内産木材利用促進事業

経済環境部 わがまち活性課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興
基本事業番号	05	基本事業名	森林再生の推進
計画年度	平成 20 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 469

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内新築木造住宅

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市内産木材を利用した住宅が増えることにより、市内産木材の使用が増えています。

事務事業の内容、やり方、手順

山武市内で伐採・製材（森林組合も可）された木材（市内産木材）を一定量（床面積1㎡当たり0.1立方メートル以上）使用し、新築又は増築した住宅（施工は市内業者に限り）で、延べ床面積が新築では70㎡以上、増築では33㎡以上（増築では増築部分、併用住宅では居住部分）の住宅に対し、補助金を交付しました。
平成25年度に計画承認したものは2件あり、住宅認定したものが5件ありましたので、補助金交付実績は5件で2,500千円になりました。
*市内産木材使用量（製材後の体積）1立米当たり2万円で50万円を上限（千円未満は切り捨て）とします。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
山武市産材利用の啓発回数	回	6	8	4
成果状況				
事業認定年間棟数	棟	3	5	6
認定住宅における山武市産材の年間使用量合計	m3	111.582	153.914	150

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	1,240		500			740	
25年度 実績	2,500	0	1,250	0	0	1,250	
26年度 当初	3,000	0	1,500	0	0	1,500	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

市内製材所及び工務店等に本事業の目的や内容が浸透してきた結果や平成24年度計画した4件の建物の住宅認定が、平成25年度に行われた結果、実績が増えた要因となっています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
森林整備事業年間実施箇所数	か所	54	33	117
市補助制度を活用し、搬出された木材量	t	1,047.9	982.2	1,591

事務事業名 木材流通システム助成事業

経済環境部 わがまち活性課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興
基本事業番号	05	基本事業名	森林再生の推進
計画年度	平成 24 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1539

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内山林

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

林内の整備を促進させることにより、森林機能の回復及び流通システムの入口と出口の円滑化を図り、森林再生の循環化が推進されます。

事務事業の内容、やり方、手順

市内山林から森林整備によって発生した間伐材、林地残材等を資源循環に利用するため林内から搬出する者に対し、流通システム等を実施するNPO等を介し助成を行いました。

事業期間 平成25年4月1日～平成26年3月18日
 年間助成金額 1,955,200円（982.2t）
 補助対象 山武市内の山林から搬出された木材に対し補助金を交付しました。
 補助団体名 特定非営利活動法人 元気森隊（理事長 菅谷祥行）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
補助金額	千円	2,083	1,955	3,000
成果状況				
間伐材、被害材等の搬出量	t	1,000	982.2	1,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	2,083					2,083	
25年度 実績	1,955	0	0	0	0	1,955	
26年度 当初	3,000	0	0	0	0	3,000	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

平成25年度は、1,000tを欠けたものの概ね達成しています。また、平成25年7月から3,000円の内1,000円分を市内商品券として、渡す仕組みを実施しました。しかし、集材された材の活用先が無く、土場に材が集積さらたままの状態となっています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
森林整備事業年間実施箇所数	か所	54	33	117
市補助制度を活用し、搬出された木材量	t	1,047.9	982.2	1,591

事務事業名 経営体育成基盤整備事業

経済環境部 農商工・観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興
基本事業番号	06	基本事業名	農業基盤整備の推進
計画年度	平成 13 年度 ~ 平成 26 年度		事務事業整理番号 503

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

受益対象農地
受益対象農地の所有者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

大区画高生産性ほ場の農業基盤が整備されます。

事務事業の内容、やり方、手順

基幹産業である農業基盤の整備事業で、事業主体は県、負担割合については、国50%・県35%・市15%。
30～50a区画を基本とした大区画高生産性ほ場に整備し、用排水路・道路建設など総合的な農業基盤整備に対し、事業費負担金の支払を行なう。また、県と改良区間に立ち、情報の提供や意見調整などを行なう。
【当初計画】
受益面積132ha 整地工132ha 用水路工21.8km 排水路工15.5km 道路工13.6km 総事業費2,527,000千円
【H21計画変更予定】
受益面積125ha 整地工125ha 用水路工21.8km 排水路工19.3km 道路工17.7km 総事業費2,527,000千円より減額の予定

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
年度あたりの事業費	千円	3,227	1,606	1,615
成果状況				
整備された農地面積	ha	125	125	125
事業進捗率	%	98	98	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	3,227			1,900		1,327	
25年度 実績	1,605	0	0	700	0	905	
26年度 当初	1,615	0	0	1,400	0	215	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

事業は順調に進捗しています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
国、県等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の受益面積新規事業数	か所	5	4	3

事務事業名 農地・水保全管理事業

経済環境部 農商工・観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興
基本事業番号	06	基本事業名	農業基盤整備の推進
計画年度	平成 26 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1542

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

活動実施組織
活動実施組織の地区に存在する保全対象施設（農用地、開水路、パイプライン、ため池、農道）
交付支給先：千葉県農地・水環境保全向上対策協議会

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

混住化や農業者の高齢化が進み、農業者だけでは管理できなくなるであろう社会情勢により、これからは非農業者を含めた地域住民で農業施設を管理していくことにより、農村環境の向上、農業や生活環境の活性を目指したい。

事務事業の内容、やり方、手順

活動組織が実施する活動に対し、国負担分は直接交付。市負担分は千葉県農地・水環境保全向上対策協議会に交付金として交付し、県協議会から県負担分と合わせ交付する。
・共同活動支援単価：農振農用地面積に対し、田 = 4,400円/10 a、畑 = 2,800円/10 a
・向上活動支援単価：農振農用地面積に対し、田 = 4,400円/10 a、畑 = 2,000円/10 a

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
共同活動支援交付金額	千円	4,147	4,175	4,175
向上活動支援交付金額	千円		0	0
成果状況				
活動組織における活動実施回数	回	12	12	12

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績							
25年度 実績	4,156	0	0	0	0	4,156	
26年度 当初	4,175	0	0	0	0	4,175	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

順調に団体による活動が行われている。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
国、県等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の受益面積新規事業数	か所	5	4	3

事務事業名 農業者戸別所得補償制度推進事業

経済環境部 農商工・観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり		
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興		
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進		
計画年度	平成 24 年度 ~ 年度			事務事業整理番号	1602

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市農業再生協議会
平成26年度から事業名称変更「経営所得安定対策推進事業」

事務事業の内容、やり方、手順

山武市農業再生協議会へ補助金を交付する。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

山武市農業再生協議会が行う農業者戸別所得補償制度等の推進活動や要件確認等に必要となる経費を助成する。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
生産調整面積	h a	931	972	1,000
成果状況				
生産調整実績	h a	176	210	200
事業加入者数	人	184	177	190

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	3,725		3,724			1	
25年度 実績	36,959	0	2,987	0	0	33,972	
26年度 当初	39,930	0	4,505	0	0	35,425	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

事業加入者数は減少したが、生産調整実績は増加している。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値

事務事業名 商店街復興支援事業

経済環境部 農商工・観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり		
施策番号	02	施策名	商工業の振興		
基本事業番号	01	基本事業名	商工会活動の充実		
計画年度	平成 24 年度 ~ 平成 25 年度			事務事業整理番号	1633

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

中小企業者（商店）・市民

事務事業の内容、やり方、手順

山武市商工会の実施する福引等のイベントへの助成を実施します。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市民等の個人消費の喚起を即し、商工会へ加盟する商店等の活性化を促すことにより、震災復興の一助とします。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
補助金の額	万円	500	200	0
成果状況				
イベントによる売上額	万円	1,100	100	0
補助金の額	万円	500	200	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	5,000					5,000	
25年度 実績	2,000	0	0	0	0	2,000	
26年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

市商工会が実施する復興支援イベント（山武復興支援大売出し）を助成することで、市民の購買意欲の向上と参加商工業者の販売促進が図られ、活性化に寄与できました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
経営指導支援件数	件	1,947	2,191	2,500
商工会加入率	%	51.8	51.1	56

事務事業名 中小企業運営資金利子補給事業

経済環境部 農商工・観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	02	施策名	商工業の振興	
基本事業番号	03	基本事業名	経営の体質強化・育成	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	540

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

中小企業者（対象資金の融資を受けた者）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

中小企業者の負担軽減により、経営の安定と商工業の振興を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

対象資金に対し、支払った利子の一部を補給します。

- 対象資金
- ・千葉県中小企業振興資金
 - ・国民生活事業の事業資金融資（株式会社日本政策金融公庫）
 - ・中小企業事業融資（株式会社日本政策金融公庫）
 - ・その他市長が必要と認める融資制度
- 利子補給限度額
- ・年利子支払額の20%以内（延滞利子除く）
 - ・1事業所に対し50万円以内

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
市内事業所数	件	1,820	1,567	1,567
成果状況				
受給率	%	11.7	11.87	11.9

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	15,835					15,835	
25年度 実績	14,648	0	0	0	0	14,648	
26年度 当初	17,000	0	0	0	0	17,000	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

アベノミクスの影響等により経済が景気回復傾向にあるためか、震災直後と比べると新規の融資利用の増加は落ち着き、概ね例年通りとなりました。制度改正等に随時対応するべく、対象融資制度の見直し・確認を要します。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
市内事業所数	事業所	1,820	-	2,100

事務事業名 観光PR事業

経済環境部 農商工・観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	03	施策名	観光の振興
基本事業番号	01	基本事業名	観光事業推進体制の整備
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 544

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・観光客

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

観光客の来遊を誘引。

事務事業の内容、やり方、手順

観光客の誘致促進のため観光パンフレット、観光宣伝用ポスターの印刷及び都営地下鉄中吊り広告等（夏・冬）の広告宣伝を行います。また、市外における観光客誘致イベントを実施します。

- ・ポスター作成
- ・掲出先 都営地下鉄・世界貿易センタービル・各公共施設等
- ・パンフレット刷新
- ・広報宣伝活動・・・マスメディア・各旅行会社等（風評被害の払拭・イマジアップ等を含む）
- ・プロモーション活動・・・各種イベント活動事業
- ・情報配信媒体・・・PRポスター・販促用グッズ等

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
チラシの配布数	枚	15,000	15,000	15,000
成果状況				
ポスター掲示数	箇所	50	100	50

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	4,302					4,302	
25年度 実績	3,454	0	0	0	0	3,454	
26年度 当初	2,456	0	0	0	0	2,456	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

掲示数、チラシ配布数等の増加により、入込数は増加しており順調です。入込数の増加は、新たな場所でのPR活動をした影響と思われます。新天地でのPR場所を発掘し、掲示箇所の増加を図り入込数の増加を目指します。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
観光関連団体による事業企画実施件数	件	5	5	6

事務事業名 にぎわい応援事業

経済環境部 わがまち活性課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	03	施策名	観光の振興	
基本事業番号	02	基本事業名	観光関連団体との連携によるイベントの開催	
計画年度	平成 23 年度 ~ 平成 28 年度			事務事業整理番号 1533

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

観光協会
観光客

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

東日本大震災の影響により減少した市内観光客数が回復している。

事務事業の内容、やり方、手順

風評被害により厳しい状況にある市内観光地に来客者を誘致し、地域経済の活性化を図るため、市観光協会を主体に観光客の宿泊・滞在の促進及び滞在時間の長時間化を目的とした事業に対し補助を行った。

<事業内容>

- ・山武市に泊まると貰える「選べる割引クーポン券」の発行
- ・春のさんむ“パークゴルフ&苺で満喫”PR作戦
- ・山武市復興祈念第6弾事業“選べる割引クーポン券”の発行

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
観光PR活動回数	回数	12	12	12
成果状況				
宿泊者数	人	64,729	79,499	70,330

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	3,000					3,000	
25年度 実績	3,000	0	0	0	0	3,000	
26年度 当初	2,500	0	0	0	0	2,500	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

状況 宿泊者数が、平成24年度より増加しており、順調です。
原因 市内に宿泊するともらえる割引クーポン（1,000円分）が、宿泊施設、観光苺園、レジャー施設、特産品直売所を連携させたことで、山武市の魅力がアップし、宿泊者数が増加したと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
イベントの来場者数	人	27,700	26,500	40,000
各種団体からの協力者数	人	166	166	180

事務事業名 海岸環境美化事業

経済環境部 農商工・観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	03	施策名	観光の振興	
基本事業番号	03	基本事業名	海岸の整備	
計画年度	平成 20 年度 ~ 年度			事務事業整理番号 550

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・観光客
・海岸

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

海岸の環境美化により観光客の来遊が誘引されます。

事務事業の内容、やり方、手順

山武市内 8 km に及ぶ海岸線の環境保護、観光客の快適な環境での来遊を図るために、年間を通じての委託清掃（ビーチクリーナー・手拾い）や市民、ボランティア等による毎月清掃、小中学校の児童生徒による清掃活動を実施します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
清掃日数	日	150	150	150
ボランティア団体による清掃回数	回	36	36	36
成果状況				
ごみ収集量	t	90	90	90

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	6,674					6,674	
25年度 実績	5,753	0	0	0	0	5,753	
26年度 当初	20,919	0	0	0	0	20,919	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

市内 8 km に及ぶ海岸の清掃活動等、海岸を適切に維持・管理した。
ごみの量に変化はなく、例年通りである。
ボランティア等による清掃活動回数の増加を図り、成果向上を図ります。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
観光施設(海水浴場)の利用者数	人	112,167	112,599	160,000
観光施設の維持管理上の不具合件数	件	1	1	2

事務事業名 観光景観保全管理事業

経済環境部 農商工・観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり		
施策番号	03	施策名	観光の振興		
基本事業番号	04	基本事業名	観光資源の開発・充実		
計画年度	年度 ~ 年度			事務事業整理番号	559

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・観光客
- ・景観、観光資源

事務事業の内容、やり方、手順

観光客の来遊を誘引するため、市内の観光に寄与する景観、観光資源の保全・管理を実施します。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

観光資源を適切に管理し景観を保全することで、観光客の来遊を誘引します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
消毒回数	回	2	1	2
成果状況				
委託件数	件	2	2	2

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	974					974	
25年度 実績	974	0	0	0	0	974	
26年度 当初	688	0	0	0	0	688	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

適正な景観保全管理が行われています。
委託件数は例年通りと変わらず横ばいであるが、景観は保たれており、順調である。
例年管理がなされて、景観を保全している影響と思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
観光資源数	か所	26	26	27
観光案内所利用件数	件	10,432	12,035	10,000

事務事業名 マスコットキャラクター活用事業

経済環境部 わがまち活性課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	04	施策名	シティセールスの充実	
基本事業番号	01	基本事業名	情報発信力の強化	
計画年度	平成 25 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1726

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

国民（首都圏在住者）
マスコットキャラクター

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

「SUNムシくん」の認知度向上とそれによる市自体の認知度向上及びイメージアップを図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

「SUNムシくん」を活用して、市の認知度、イメージアップを図りました。

主な内容

- ・キャラクターの周知・啓発活動を実施。
- ・キャラクターグッズの作成、配布、販売を実施。
- ・SUNムシくん誕生祭の実施。
- ・各種イベントへの参加
- ・キャラクター着ぐるみの管理（クリーニング、修繕）

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
PR活動数（イベント実施・参加数）			66	60
成果状況				
ゆるキャラグランプリの投票数			922	1,000
デザイン使用申請書の受理件数			32	30

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績							
25年度 実績	3,334	0	0	0	319	3,015	
26年度 当初	6,132	0	0	0	6,132	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

状況 ゆるキャラグランプリの投票数は、目標値を下回っていますが、デザイン使用申請書の受理件数は、目標値を上回っており、順調です。
原因 イベント等でPR活動を行うことにより、SUNムシくんの認知度向上、イメージアップが図れていると考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
情報提供件数	件	626	570	949
報道件数	件	203	160	296

事務事業名 シティセールス推進事業

総務部 企画政策課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり		
施策番号	04	施策名	シティセールスの充実		
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進		
計画年度	平成 25 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1733	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市の資源（ヒト・モノ・カネ・情報）
- ・職員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・シティセールスの目的が庁内に浸透し、シティセールスに係る事業が積極的に取組まれる環境が構築されます。

事務事業の内容、やり方、手順

全施策に「シティセールス」の考え方を盛り込み、推進していくための指針となる基本計画の策定に着手しました。その他シティセールスを推進するにあたり、下記事業を行いました。

【事業実績】

- ・シティセールスポイント集の作成ための情報収集
- ・シティセールス連絡会議の開催による庁内意見交換
- ・地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット開催

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
調査実施回数	回		1	1
地域資源に係る会議開催回数	回		0	1
成果状況				
シティセールスに係る事務事業数	事業		24	25

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績							
25年度 実績	50	0	0	0	0	50	
26年度 当初	863	0	0	0	0	863	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

- ・基本方針については、25年度中の策定を目指していたところ、庁内調整の遅れ等のため、策定には至りませんでした。26年度に引続き策定作業を行います。
- ・26年1月に全国的な組織である「地域に飛び出す公務員を応援する首長連合」の全国サミットを市内で開催したことで、市の認知度向上と職員の意識向上を図ることができました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値

事務事業名 シルバー人材センター支援事業

保健福祉部 高齢者福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり		
施策番号	01	施策名	高齢者福祉の充実		
基本事業番号	01	基本事業名	生きがいづくりと社会参加の促進		
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	353	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内に居住する60歳以上の者等で組織する社団法人山武市シルバー人材センター

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

高齢者の就業機会を確保されます。

事務事業の内容、やり方、手順

高齢化の進展に伴い、退職後の高齢者等に就労の機会を提供するシルバー人材センターに対して運営費を補助することにより、当該事業の円滑な運営を図り、高齢者が働きやすい環境づくりを支援しました。
事業活動収入として受託事業、会員会費、千葉県シルバー人材センター連合会交付金、山武市シルバー人材センター運営費補助金等にて事業を行いました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
シルバー人材センターへの補助金額	千円	6,400	6,400	6,400
成果状況				
仕事の受託件数	件	2,671	2,754	3,600

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	6,400					6,400	
25年度 実績	6,400	0	0	0	0	6,400	
26年度 当初	6,400	0	0	0	0	6,400	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 受託件数が、平成24年度より83件増加しており順調です。

< 原因 > その理由としては、就業機会開拓を目的とした就業開拓員を設置し、既存事業所及び新規事業所への訪問を積極的に行い、発注者にシルバー事業を理解を得て新たな受注につなげる活動の展開をしたり、各種イベント等でシルバー事業の紹介を目的としたパンフレット配布やアンケート調査を実施し「山武市シルバー人材センター」の周知など、事業活動の成果だと思われれます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
社会参加している高齢者の割合	%	22.5	27.6	30
生きがいを持っている高齢者の割合	%	41.6	44.8	45

事務事業名 災害時要援護者支援システム管理事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり		
施策番号	01	施策名	高齢者福祉の充実		
基本事業番号	02	基本事業名	介護サービス・日常生活の支援		
計画年度	平成 25 年度 ~ 年度			事務事業整理番号	1688

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

災害時要援護者
（高齢者・障がい者・要介護者など災害時に避難するうえで
支援を要する方）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

災害時における要援護者の安否確認、避難誘導等の支援が円滑に行われます。

事務事業の内容、やり方、手順

災害時要援護者支援システムで情報を管理し、災害時要援護者名簿を作成するとともに、区・自主防災組織・福祉関係者等において情報を共有し支援体制の整備を推進します。台帳への登録及び情報の提供は「本人の同意」により対応します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
避難支援台帳登録者数	人	2,915	3,018	5,000
				-
成果状況				
要援護者名簿更新回数	回	1	12	12
				-

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績							
25年度 実績	565	0	0	0	0	565	
26年度 当初	856	0	0	0	0	856	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

名簿更新回数はシステム導入により月1回できるようになった。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
介護給付サービス利用率（居宅）	%	57.4	57	60
介護給付サービス利用率（施設）	%	29.9	29.9	30
介護度4、5の方の施設入所割合	%	50.4	52.6	52

事務事業名 介護予防サービス計画作成委託事業

保健福祉部 高齢者福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	01	施策名	高齢者福祉の充実
基本事業番号	03	基本事業名	介護予防の推進
計画年度	平成 19 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 361

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

指定介護予防支援事業者
要支援認定者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

認定者に速やかに介護予防サービスが提供され、要支援状態の改善や、重度化の予防が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

地域包括支援センター運営協議会にて予防給付に係るケアマネジメントを委託する事業者の承認を得ます。
承認を得た事業者にケアマネジメント業務を委託します。
委託ケアマネジメントに係る居宅サービス計画の承認・サービス提供票、評価表の確認をします。
給付管理。
委託料の支払。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
受託指定居宅介護支援事業者	件	33	46	42
介護予防サービス利用者数	人	214	201	210
成果状況				
受託指定居宅介護支援事業者によるケアマネジメント数	件	107	91	100
ケアマネジメントによるトラブル件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	5,375					5,375	
25年度 実績	5,645	0	0	0	0	5,645	
26年度 当初	6,850	0	0	0	6,676	174	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 受託事業者によるケアマネジメント件数が確保され、トラブルの発生もなく順調です。
< 原因 > その理由としては、サービス利用者数は横ばいであったものの、介護予防サービス計画作成についての受託事業者が増加したことがあげられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
高齢者として健康づくり項目の平均実践項目数	項目	4.64	4.73	6

事務事業名 緊急通報ネットワーク事業

保健福祉部 高齢者福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	01	施策名	高齢者福祉の充実
基本事業番号	04	基本事業名	安全・安心な生活への仕組みづくり
計画年度	平成 02 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 357

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

65歳以上の高齢者のみの世帯
身体障害者1級または2級に該当する65歳未満のみで構成される世帯の方

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

緊急通報装置の設置により、急病等の緊急時に適切な対応ができます。
地域の見守り体系の確立により、日常生活上の不安が解消できます。

事務事業の内容、やり方、手順

設置希望者からの申請により緊急通報装置の必要性がある者について設置しました。
(事務手順)
対象者からの緊急通報装置貸与申請により申請書受理。
市が該当要件を審査し対象者には郵送にて決定通知を郵送し設置日の調整は業者が行います。
委託事業所が装置を設置します。
費用は無料で月々の委託料を市が負担。
月に一度の安否確認（機器のメンテナンス含む）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
緊急通報装置設置申請受理件数	件	52	63	80
お元気コール実施回数	回	5,297	5,240	5,400
成果状況				
緊急通報連絡により対応した件数	件	383	315	450
緊急通報装置の設置数	台	436	451	464

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	9,142					9,142	
25年度 実績	9,257	0	0	0	0	9,257	
26年度 当初	9,729	0	0	0	0	9,729	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 緊急通報装置の設置台数が、平成24年度より15台増加しており順調です。
< 原因 > その理由としては、高齢化や世帯構成の変化などにより対象者が増加しています。併せて、協力員として多く登録されている民生委員の改選が平成25年12月にあり、新規委員が地域で申請を促進してくれたことが増加した要因だと思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
緊急通報装置を設置している1人暮らし高齢者の割合	%	17.1	17.6	18.2
相談先がある高齢者の割合	%	74.3	78.3	78
高齢者の相談件数	件	2,611	2,728	2,600

事務事業名 障害者自立支援事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	02	施策名	障がい者（児）福祉の充実
基本事業番号	01	基本事業名	自立支援サービスの促進
計画年度	平成 20 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1063

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

障害者総合支援法に基づく障害（身体障害・知的障害・精神障害）を持っている山武市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

障害のある人が自立を図るため、福祉サービスが受けられます。

事務事業の内容、やり方、手順

障害者手帳持参者が福祉サービスの必要がある場合の相談や申し込みは、窓口で利用申請をしてください。心身の状況を調査します。障害程度区分の一次判定。医師の意見書を取り寄せ審査会（山武郡市医療福祉センター）へ提出。審査会は障害程度区分の（二次）判定をします。障害程度区分により、サービスの支給量が決定します。決定後、申請者へ障害福祉サービス受給者証を発行します。サービス受給者証を受け取りましたら、事業所とサービス契約をし利用が開始されます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
介護給付費・訓練等給付費・補装具給付費の支給を行った人数	人	442	495	500
成果状況				
障害者（児）のうち介護給付費・訓練等給付費の支給を受けた割合	%	17	17.5	18

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	644,127	329,144	161,568			153,415	651
25年度 実績	672,808	349,635	166,709	0	0	156,464	
26年度 当初	722,377	359,400	180,784	0	0	182,193	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

成果は維持の傾向にありますが、対象者は増加の傾向にあります。新しく対象となった方に対し、障害福祉サービスを提供できているためと思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
自立支援給付サービスの利用者数	人	442	414	500
福祉施設から一般就労への移行者数（累計）	人	1	1	2

事務事業名 地域生活支援事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	02	施策名	障がい者(児)福祉の充実
基本事業番号	02	基本事業名	地域生活支援の基盤づくり
計画年度	平成 20 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1065

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

障害者(児)

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

障害のある人が、その有する能力や適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるようにする。

事務事業の内容、やり方、手順

障害者総合支援法に基づき実施。

コミュニケーション支援事業

日常生活用具給付等事業

移動支援事業

日中一時支援事業

訪問入浴サービス事業

法改正により平成24年4月から成年後見制度利用支援事業を実施する。

事前に利用申請を提出することにより事業利用を決定する。利用した事業から自己負担分を差し引いた利用料を助成する。

事業活動と成果

活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
地域生活支援事業(任意事業)の数	事業	11	10	12
成果状況				
地域生活支援事業(任意事業)を利用することによって、自立した日常生活を営みやすくなった者	人	200	200	200

事業費の推移 単位:千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	33,488	11,259	5,668			16,561	
25年度 実績	31,508	13,902	6,958	0	0	10,648	
26年度 当初	37,811	18,142	9,131	0	0	10,538	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

障害のある方に適するサービスを案内しています。

貢献する基本事業の成果

成果状況(成果指標)

	単位	24年度	25年度	めざそう値
地域生活支援事業の窓口相談等の相談件数	件	2,718	2,026	3,300
医療費助成を受け経済的負担が軽減されている障がい者数	人	1,586	1,612	1,800

事務事業名 福祉タクシー利用助成事業(地域生活)

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	02	施策名	障がい者(児)福祉の充実
基本事業番号	03	基本事業名	社会活動参加の促進
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 279

事業の概要

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

山武市福祉タクシー登録者(在宅の身体障害者手帳1・2級、療育手帳A以上、精神障害者保健福祉手帳1級)

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいか)

障害者の社会参加を支援する。

事務事業の内容、やり方、手順

登録者が利用したタクシー利用料金の一部を助成する。

事前に利用登録申請により登録認定を受ける。
登録認定後、利用したタクシーの領収書を申請書とともに提出することにより、利用料金の一部を助成する。
利用制限等(年間48回、1回助成上限額1,000円)

事業活動と成果 活動状況(活動指標)と成果状況(成果指標)、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
福祉タクシー助成利用者人数	人	656	688	720
成果状況				
福祉タクシー助成対象者に対する福祉タクシー助成利用者人数	%	57.6	51.7	52

事業費の推移 単位:千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	1,720					1,720	
25年度 実績	1,469	0	0	0	0	1,469	
26年度 当初	1,670	0	0	0	0	1,670	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

福祉タクシー利用登録者数も増え、順調です。社会参加を望む障害者が増加しているためだと思います。

貢献する基本事業の成果 成果状況(成果指標)

	単位	24年度	25年度	めざそう値
訓練施設から一般就労した障がい者数(累計)	人	2	3	4
社会参加促進事業サービス利用割合	%	80.8	68.4	82

事務事業名 さんぶの森元気館指定管理事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進
基本事業番号	01	基本事業名	健康づくり活動の推進
計画年度	平成 22 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1197

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
さんぶの森元気館

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

・継続的に利用する市民の増加

事務事業の内容、やり方、手順

さんぶの森元気館の管理運営について指定管理者に委任し、利用者ニーズに対応したサービスの提供を図るとともに、指定管理者による管理運営の円滑化を支援する。

- ・平成22年4月1日～指定管理者による管理運営開始
- ・指定管理者との連携
- ・指定管理料の支払い及び市支出分修繕費等の支払い

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
開館日数	日数	303	304	302
健康づくりプログラムレッスンの開催回数	回数	3,004	3,785	3,360
成果状況				
市民の年間実利用者数	人	8,719	8,146	8,200

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	72,893					72,893	
25年度 実績	95,629	0	0	0	0	95,629	
26年度 当初	76,135	0	0	0	50	76,085	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

健康づくりをしている市民が増え、1人当たりの利用回数は増加しております。
新規に利用する市民や継続的に利用する市民を増やすことにより、介護予防及び医療費の削減を目指します。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
1人当たりの健康づくり取組項目数	項目	3.35	3.54	4

事務事業名 大腸がん検診事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進
基本事業番号	02	基本事業名	健診の受診率向上と生活習慣の改善
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1094

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

40歳以上市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

健康診査を受診し自らの健康に関心を持ち、がんの早期発見・早期治療で、健康の保持増進を図る。

事務事業の内容、やり方、手順

1. 医師会や検診機関と事業計画について協議
2. 周知方法：広報・保健事業案内・ホームページ等
3. 申込み：保健事業案内に同封した申込書又はfax
4. 通知：検診実施2週間前に、受診票と容器を郵送
5. 検診会場：各保健センター
6. 検診料金：300円（75歳以上は無料）
7. 時期：6月上旬に胃がん検診と併設（日曜日開催あり）
8. 検査方法：便潜血反応検査（2日間法）
9. 検診結果通知

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
大腸がん検診実施日数	日	14	14	16
要精密検査者への支援件数	件	179	232	300
成果状況				
大腸がん検診受診者	人	2,981	3,417	3,500
要精検と判定された受診者数	人	179	232	300

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	5,380	360			832	4,188	
25年度 実績	7,092	556	0	0	907	5,629	
26年度 当初	6,198	1,026	0	0	0	5,172	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

状況 受診者が平成24年度より436人増えており、順調に増加しています。
 原因 「大腸がん検診推進事業（特定年齢への無料クーポン配布）」の影響で、今までがん検診を受けたことがない人が、受診の機会を得られたのではないかと思います。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
特定健康診査受診率	%	33.3	33.2	40
がん検診を年1回受けている市民の割合	%	42.8	45.4	45
メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合	%	30		28

事務事業名 妊婦一般健康診査委託事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進	
基本事業番号	03	基本事業名	母子保健の充実	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	387

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市に住所を有する妊婦

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・妊婦がきちんと妊娠早期から健診を受け、妊娠中を安全に過ごし、安心して出産に臨むことができます。
- ・健診を受けずに飛び込み出産をする人が出ません。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・妊娠届出をした妊婦に対し、母子健康手帳別冊1を交付（医療機関委託妊婦一般健康診査票、14回分含む）
- ・県医師会他、妊婦一般健康診査可能な医療機関と委託契約（追加医療機関は随時契約）
- ・ちば県民保健予防財団と支払い事務委託契約
- ・妊娠中に別冊の健康診査票を提示して、委託医療機関受診
- ・健康診査料請求
委託医療機関 ちば県民保健予防財団 山武市（診査月の翌々月請求）
- ・健康診査料支払い
山武市 ちば県民保健予防財団 委託医療機関
契約不可の医療機関を受診した場合は償還払い手続き実施

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
妊婦1人当たりの公費負担回数	回	14	14	14
受診延べ件数	件	3,252	3,676	3,682
成果状況				
健康診査票の利用割合	%	78	86	83

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	23,320		7,916			15,404	
25年度 実績	26,037	0	0	0	0	26,037	
26年度 当初	24,985	0	0	0	0	24,985	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 健康診査票の利用割合は、平成24年度と比較すると8%増加しています。
 < 原因 > 妊婦の健診受診状況により健診助成回数14回全てを使用しない場合があるため、妊娠届出時に、保健師が妊婦一般健診制度の説明や健診受診の重要性について啓発に努めたことが、健康診査票利用割合の増加につながったと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
乳幼児健診の受診率	%	94.6	93.2	90
乳幼児健診の満足度	%	89.3	92.6	90
幼児（3歳）のむし歯保有者率	%	27.2	22.2	24.9

事務事業名 医学生奨学金等貸付事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進
基本事業番号	04	基本事業名	医療体制の充実
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1324

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

医学生（山武市に5年以上住所を有したことの者）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

さんむ医療センターに勤務する医師を確保し、さんむ医療センターの安定した健全経営を図りました。

事務事業の内容、やり方、手順

【趣旨】さんむ医療センターの医師の確保を図るため、将来医師としてさんむ医療センターの業務に従事しようとする医学生等に対し、修学に必要な奨学金・修学一時金を貸し付ける。
 【内容】奨学金 大学1～6年生、臨床研修医又は大学院生、（1年度につき）2名・月額20万円を貸し付ける。修学一時金 大学1～6年生、（1年度につき）1名、上限1千万円を貸し付ける。（返済有り）
 【貸付条件】山武市に5年以上在住したことの者 奨学金を貸し付けた期間をさんむ医療センターで勤務する。
 【免除】奨学金を貸し付けた期間をさんむ医療センターで勤務した時、貸し付けた奨学金の返済を免除する。ただし、修学一時金は10年以内で返済する。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
奨学金の申請を受けた件数	件	1	2	2
修学一時金の申請を受けた件数	件	1	0	1
成果状況				
奨学金を貸し付けした件数	件	1	2	2
修学一時金を貸し付けした件数	件	1	0	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	14,825				14,800	25	
25年度 実績	4,811	0	0	0	4,800	11	
26年度 当初	19,630	0	0	0	19,600	30	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

さんむ医療センターの医師不足を解消することにより、地域の医療体制の確保が図れます。医学部のある学校へ医学生奨学金制度のお知らせをしてさんむ医療センターの業務に従事しようとする医学生への働きかけをして医師不足の解消を目指します。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
地域医療体制の充足度	%	3.7	3.9	10

事務事業名 看護学生奨学金貸付事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進
基本事業番号	04	基本事業名	医療体制の充実
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1468

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

看護学生

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

さんむ医療センターに勤務する看護師を確保し、さんむ医療センターの安定した健全経営を図りました。

事務事業の内容、やり方、手順

【趣旨】さんむ医療センターに勤務する看護師の確保を図るため、将来看護師としてさんむ医療センターの業務に従事しようとする看護学生に対し、修学に必要な奨学金を貸し付ける。
 【内容】奨学金 大学看護学部・看護師養成所学生1～4年生、（1年度につき）20名以内・月額5万円を貸し付ける。
 【貸付条件】奨学金を貸し付けた期間（年数）をさんむ医療センターで勤務する。
 【免除】奨学金を貸し付けた期間（年数）をさんむ医療センターで勤務した時、貸し付けた奨学金の返済を免除する。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
奨学金の申請を受けた件数	件	22	33	45
成果状況				
奨学金を貸し付けた件数	人	20	33	45

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	15,031				15,000	31	
25年度 実績	19,829	0	0	0	19,800	29	
26年度 当初	30,713	0	0	0	30,600	113	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

さんむ医療センターの看護師不足を解消することにより、地域の医療体制の確保が図れます。看護学部等のある学校へ看護学生奨学金制度のお知らせをしてさんむ医療センターの業務に従事しようとする看護学生への働きかけをして看護師不足の解消を目指します。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
地域医療体制の充足度	%	3.7	3.9	10

事務事業名 保育所施設等解体整備事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり		
施策番号	04	施策名	子育ての支援		
基本事業番号	01	基本事業名	幼保機能の充実		
計画年度	平成 25 年度 ~ 平成 25 年度			事務事業整理番号	1687

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成東保育所、鳴浜保育所、緑海保育所
成東幼稚園、鳴浜幼稚園、緑海幼稚園

事務事業の内容、やり方、手順

新築し移転することになる既存の保育所施設について、平成25年に園舎等を解体し借地の返還を行いました。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

保育所施設が統廃合となり、円滑にこども園に移行していきます。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
工事件数	件	6	6	0
成果状況				
事業進捗率	%	7	100	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	11,267					11,267	
25年度 実績	54,168	0	0	0	0	54,168	47,517
26年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

計画通り設計・監理・施工が行われました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
幼稚園・保育所・こども園の定員充足率	%	71.7	78.6	80
就学前保育・教育に関する保護者の満足度	%	90	93.5	94

事務事業名 子育て支援センター運営事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	02	基本事業名	安心して子育てできる環境づくり
計画年度	平成 22 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1392

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

就学前の乳幼児を在宅で保育している保護者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

子育て中の親子が気軽に集い、子育てについて相談できる場所・人等がいて、いつでも相談に応じられ、保護者同士の交流もでき、安心して子育てができるようにします。

事務事業の内容、やり方、手順

地域において子育て中の親子が気軽に集い、交流、リフレッシュできる集いの広場(親子交流の場)を設置し、子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感を緩和し、子供の健やかな育ちを促進しました。

- ・子育て親子の交流の場の提供と促進
- ・子育て等に関する相談・援助の実施
- ・地域の子育て関連情報の提供
- ・子育て及び子育て支援に関する講習会等の実施

開設日：月～金（9:00～17:00）土（9:00～12:00）
専任職員：臨時職員7名（常時）
【なるとう3名・しらはた2名・おおひら2名】
パート3名（行事時）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
集いの広場開設日数	日	281	291	290
講習会開設日数	日	21	16	16
成果状況				
子育て支援センター利用者数	人	11,524	11,600	11,600
子育て相談延べ件数	件	173	249	200

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	11,310	1,764				9,546	
25年度 実績	18,564	0	9,278	0	0	9,286	
26年度 当初	20,490	0	12,330	0	0	8,160	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

年々子育て支援センターの利用者は増加し、活動状況は順調です。チラシ、支援センターだより、パンフレットを作成し、周知を図ってきました。また、子育て保護者の交流の場として定着してきています。今後も活発に周知するとともに質の高いセンター活動に努めます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
配偶者・その他の親族以外で子育てを相談できる相手がいる保護者の割合	%	98.2	98	97
子育て相談（場所など）の周知度	%	46.4	37.4	50
各種子育て相談延べ件数	件	629	714	780

事務事業名 母子家庭自立支援給付金事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	03	基本事業名	子育て家庭への援助
計画年度	平成 20 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 338

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

母子家庭の母

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

母子家庭の母に対し自立を促し、安心して子育てできる環境を整える

事務事業の内容、やり方、手順

母子家庭の母の就労をより効果的に促進するため、自主的に職業能力の開発を行う母子家庭の母に対し給付金を支給しました。
 【自立支援教育訓練給付金事業】支給実績 0名 0円
 資格取得の教育訓練講座を受講した母子家庭の母に受講料の一部支給
 対象講座 雇用保険制度の教育訓練給付の指定教育訓練講座
 就業に結びつく可能性が高い講座として国が定めるもの
 【高等技能訓練促進費事業】支給実績 7名 7,388,000円
 看護師や介護福祉士等の経済的自立に効果的な資格取得のために2年以上修学する場合に支給

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
相談員による相談回数（随時）	回	7	8	10
成果状況				
教育訓練講座・高等技能訓練を受講した母子家庭の母と父子家庭の父の人数	人	5	7	8

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	4,177	3,131				1,046	
25年度 実績	7,388	6,066	0	0	0	1,322	
26年度 当初	8,763	6,572	0	0	0	2,191	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

就業に有利な資格を取得することにより、経済的自立及び家庭生活の安定につなげるため、7名に支給しました。内1名は資格を取得しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
子育ての経済的負担軽減に関するのべ受給者数	人	54,667	52,086	54,500
ひとり親家庭の自立率	%	4	3.1	6

事務事業名 家庭児童相談事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	04	施策名	子育ての支援
基本事業番号	04	基本事業名	こどもの人権の尊重
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 342

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

子育て中の保護者および地域住民（DV、児童虐待等の問題を相談したい方）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

子育ての不安を軽減することにより、適切な子育てができます。

事務事業の内容、やり方、手順

・児童虐待の防止や、早期発見のため地域関係機関と連携し、子育てを支援しました。
 ・生活困窮者家庭の妊婦への助産支援をしました。
 ・配偶者・恋人等からの暴力事例解決のため、被害者の相談を受け、生活の再建に向け支援しました。

・家庭児童相談室に婦人相談員兼母子自立支援員（1名）・家庭相談員（3名）の非常勤職員で対応しています。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
設置相談員数	人	2	4	4
山武市要保護児童対策支援会議開催回数	回	21	47	40
成果状況				
相談・訪問件数	人	1,353	1,155	1,200
相談や訪問により市として虐待の早期発見や未然防止として対応しているケース件数	人	89	98	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	12,184	3,264	1,632			7,288	
25年度 実績	10,343	1,964	982	0	0	7,397	
26年度 当初	10,901	2,277	1,138	0	0	7,486	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

児童虐待やDVに関する相談や通告件数は、高い数値で推移しています。関係機関との情報共有や連携に必要な会議の回数は増加しています。対応するケースも長期化、複雑化傾向にあり、増加しています。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
児童虐待通告件数	件	48	53	-
児童に関する措置件数	件	2	1	1

事務事業名 学童保育運営事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	04	施策名	子育ての支援	
基本事業番号	05	基本事業名	学童保育の充実	
計画年度	年度 ~ 年度			事務事業整理番号 344

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

保護者が就労等により昼間家庭にいない市内小学校低学年の児童

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

児童の安全確保及び健全育成を図り、子育てを支援することで、保護者が安心して就労できる環境を整えます。

事務事業の内容、やり方、手順

利用希望者の申請に基づき、審査し利用の可否を決定をしました。利用決定者については、市内13箇所の学童クラブで放課後や長期休業等の際に家庭の代わりに保育を行いました。利用料1ヵ月7,000円（8月のみ8,000円）。非課税世帯及び第2子以降については、利用料を減免し保護者の負担を軽減しました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
学童クラブ利用決定児童数	人	351	386	412
利用申込書受付数	件	354	389	414
成果状況				
待機児童数	人	3	3	2

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	60,245		23,332		26,358	10,555	
25年度 実績	62,290	0	24,783	0	25,186	12,321	
26年度 当初	63,955	0	24,898	0	26,606	12,451	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

市内13学童クラブ全体の利用決定児童の総数は増加しました。小学校の規模により利用申込数が違うので定員に達している学童クラブ（大平、松尾）では、待機児童が発生してしまいました。平成25年度から指定管理者による委託運営を成東学童クラブで行っています。委託料は4,387千円です。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
学童クラブの定員充足率	%	74.7	73	75

事務事業名 地域福祉活動推進助成事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	05	施策名	地域福祉の充実
基本事業番号	01	基本事業名	地域福祉の担い手育成
計画年度	平成 22 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1156

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民（市民活動を実施する団体）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

地域で相互扶助できていると思う市民を増やし、住んでいる地域それぞれの地域課題を市民自らの手で解決できるようになります。

事務事業の内容、やり方、手順

（内容）
市民活動を行う団体が実施する地域福祉事業に要する経費の一部を助成する。小地域福祉圏の形成及び発展のモデル事業とするため、小学校区13区域を対象とします。
（やり方）
予算の範囲内において助成対象事業に要する経費の10分の10以内とし、1団体につき150千円を上限とします。
（手順）
事業の決定にあたっては、申請団体からの交付申請書の受理及び山武市地域福祉計画推進委員会へのプレゼンテーション等を経て、同委員会によって決定されます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
地域福祉活動推進助成金の申請受付件数（件）	件	11	9	13
成果状況				
地域福祉活動推進助成金を活用した実施事業数（件）	件	11	9	13

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	1,560				1,560		
25年度 実績	1,251	0	0	0	1,251	0	
26年度 当初	1,950	0	0	0	1,950	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

実施件数が昨年・一昨年と比べ2件減少しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
地域福祉サービスや福祉のボランティアをしたことがある市民の割合	%	10.7	13.4	20
福祉活動の市民活動団体の加入者数	人	1,361	1,433	1,500

事務事業名 社会福祉協議会補助事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	05	施策名	地域福祉の充実
基本事業番号	02	基本事業名	社会福祉機関・団体の充実
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 298

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

社会福祉法人 山武市社会福祉協議会

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市内における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の向上を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

山武市社会福祉協議会に運営費補助として補助金を交付します。
 。
 社協職員人件費
 地区社協事業
 ホランティア活動促進事業
 法人運営事業
 心配ごと相談事業
 社会福祉大会
 ふれあいいきいきサロン
 配食サービス事業
 住民参加型在宅福祉サービス事業
 後年人支援センター事業

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
社会福祉協議会で実施する事業の事業数	事業	35	35	35
成果状況				
各種事業の参加人数	人	30,554	31,618	33,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	86,549					86,549	
25年度 実績	87,320	0	0	0	0	87,320	
26年度 当初	95,354	0	0	0	0	95,354	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

地区社会福祉推進委員事業参加者数の増加が主な要因となります。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
社会福祉協議会で実施した事業への参加者数	人	30,554	31,618	33,000
民生委員児童委員の1人当たりの年間活動日数	日	87	84	95

事務事業名 市営桔梗台住宅ガス給湯器改修事業（元氣臨時交付金）

都市建設部 都市整備課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり		
施策番号	05	施策名	地域福祉の充実		
基本事業番号	03	基本事業名	公営住宅の維持管理		
計画年度	平成 25 年度 ~ 平成 25 年度			事務事業整理番号	1678

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市営桔梗台住宅

事務事業の内容、やり方、手順

平成13年度改修工事から11年が経過し、ガス給湯設備の老朽化から故障が発生し単発の修繕が続いているので未改修部分を一斉に改修します。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

老朽化した設備の適切な修繕を行うことで、安全な住環境がつけられます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
未改修戸数	戸		0	0
改修済戸数	戸		26	26
成果状況				
未改修戸数に対する改修実施率	%		100	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績							
25年度 実績	4,095	2,870	0	0	0	1,225	
26年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

市営桔梗台住宅において、すべての住宅で給湯器の改修が終了しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
公営住宅入居率	%	98.7	99.35	100

事務事業名 生活保護者扶助事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり		
施策番号	05	施策名	地域福祉の充実		
基本事業番号	04	基本事業名	生活保護制度の適正な実施		
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	302	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

生活保護受給者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

生活保護法に基づいた最低限度の生活を送ることができる。
自立した生活を送ることができる。

事務事業の内容、やり方、手順

生活保護法に基づき、被保護者に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに自立を助長する。

<保護の種類>

生活扶助、住宅扶助、教育扶助、介護扶助、医療扶助、生業扶助、葬祭扶助、出産扶助、保護施設事務費及び委託事務費

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
生活保護申請件数	件	74	64	56
生活保護開始件数	件	67	53	51
成果状況				
年度末日現在の生活保護受給世帯の実数	世帯	231	232	242
当該年度中の生活保護廃止世帯のうち、廃止原因が自立によるものの世帯数		10	10	5

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	464,000	369,336			8,042	86,622	
25年度 実績	479,752	389,420	0	0	14,145	76,187	
26年度 当初	585,819	438,795	0	0	758	146,266	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

生活困窮者との相談において必要と思われる支援を的確に捉え、他方他施策活用を助言するなどきめ細やかな相談を実施するとともに、生活保護適用後においては個別の状況に応じた支援を的確に行い、自立助長に努めるなど、適正な生活保護業務が実施されています。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
生活保護受給世帯数	世帯	231	232	272

事務事業名 教職員等対象研修事業

教育部 学校教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	01	基本事業名	教職員の研修の充実
計画年度	平成 20 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 927

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学校教職員、心の教室相談員、支援員、スクールカウンセラー

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

適切な校内及び校外での研修を実施することで、多くの職員が研修に参加し、教職員の研修のニーズが満たされ、教職員が研修に意欲的に取り組みます。

事務事業の内容、やり方、手順

・校内研修及び校外研修を実施。
 1 校内研修の実施。
 校内研究会への指導主事等の派遣。
 2 市主催の研修事業の実施。
 教頭研修：年 5 回実施。内容 > 学校運営上の課題に関する講話や情報交換等。
 教務主任研修：年 5 回実施。内容 > 教育課程編成上の課題に関する講話や情報交換等。
 教育相談関係者の研修：年 3 回実施。内容 > 不登校や学校不適応に関する講話や情報交換等。
 特別支援教育の研修：年 3 回、内容 > 特別に支援を必要とする子どもに関する講話や情報交換等。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
研修開催延べ回数	回	17	17	17
成果状況				
校内の研修内容について「役に立った」と思う教職員の割合	%	90	90	90
研修参加率	%	90	90	90

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	1,018					1,018	
25年度 実績	1,050	0	0	0	0	1,050	
26年度 当初	1,154	0	0	0	0	1,154	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

学校運営や児童生徒の指導における今日的な課題を解釈するために、専門的な講師からの研修機会を設けることにより、児童生徒、保護者、地域から信頼される学校運営や教職員としての技量、使命感や責任感の向上を図りました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
校内研修に意欲的に取り組んでいる教職員の割合	%	89.1	96.2	88

事務事業名 少人数指導授業推進事業

教育部 学校教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	02	基本事業名	「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進
計画年度	平成 20 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 928

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

児童

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

少人数指導授業など個に応じたきめ細かな指導を行うことにより、児童の学習意欲の向上を図る。

事務事業の内容、やり方、手順

市内小学校の児童の学習意欲・学力向上を図るため、個に応じた授業（少人数指導授業）をより多く受けられるよう、市独自に非常勤職員を講師として採用、学校に配置する。講師が教員の補助をすることにより、1学級2人の教師で児童生徒によりきめ細かな指導・支援が行えるようにする。

【手順】

平成23年度 3名の講師を3校に配置。
 平成24年度 4名の講師を4校に配置。
 平成25年度 5名の講師を5校に配置。
 平成26年度以降 配置する講師を1名ずつ増やし、配置する学校も1校ずつ増やしていきます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
市独自採用講師による少人数指導授業の実施回数	回数	4,060	5,075	6,090
市独自採用の少人数指導講師数	人	4	5	6
成果状況				
少人数指導授業を受けた児童の学習意欲が向上した割合	%	76	76	76
少人数指導を受けた児童数	人	310	488	600

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	4,364					4,364	
25年度 実績	5,328	0	0	0	0	5,328	
26年度 当初	7,800	0	0	0	0	7,800	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

少人数指導、チーム・ティーチングを併せた指導を実践することによって、教師の支援・指導に関わる生徒一人あたりの時間数が増えました。また、より一体化した評価と指導が可能となり、きめ細かな指導を実践することができるようになったことで、つまづきが解消されるなど、基礎・基本的事項をはじめとする学習内容を正しく理解できることにつながりました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
学習意欲の向上が見られる児童(小5)・生徒(中2)の割合	%	95.4	84.5	94
授業が理解できると実感している児童の割合	%	-	88	70
授業が理解できると実感している生徒の割合	%	-	79	65

事務事業名 体力向上推進校指定事業

教育部 学校教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	01	施策名	学校教育の充実		
基本事業番号	03	基本事業名	「健やかでたくましい体」の育成		
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	760	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

児童・生徒

事務事業の内容、やり方、手順

体力向上推進校を指定し、研究実践に取り組むとともに、研究の成果を公開していただくことにより、その成果を市内各校に広める。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

研究実践や公開研究会に取り組んでもらうことにより児童・生徒の体力向上を図る

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
公開研究会に参加した市内教職員の数	人	30	94	50
成果状況				
新体力テストで県平均を上回っている種目の割合（％）	％	35.9	45.8	40

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	85					85	
25年度 実績	85	0	0	0	0	85	
26年度 当初	96	0	0	0	0	96	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

体力・運動能力調査の結果で県平均を超えている種目は、小学校55.2％、中学校27％でした。小学校においては、運動能力の向上が見られました。男女比では、中学校男子の値が低い傾向、種目では、投てき種目が低い傾向でした。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
健康診断で要指導以上と認められた児童・生徒の割合	％	4.8	4.4	4
新体力テストで県平均を上回っている種目の割合	％	35.9	45.8	78.5

事務事業名 不登校対策推進事業

教育部 学校教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	04	基本事業名	「豊かな心」を育む
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 930

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学校

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

長期欠席児童生徒やいじめ等の減少または解消を図ることができます。

事務事業の内容、やり方、手順

児童生徒が悩み等を気楽に話せ、ストレスを和らげることのできる第三者的存在として「心の教室相談員」を配置する。市内の中学校5校・小学校10校に各校1名の「心の教室相談員」を配置する。「心の教室相談員」が参加する研修会を年3回開催する。各相談員ごとに相談の内容や相談件数・相談人数等を集約する。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
「心の教室相談員」への相談件数	件	5,855	5,319	5,000
「心の教室相談員」が参加する研修会の回数	回	3	3	3
成果状況				
「心の教室相談員」の配置に満足している学校の割合（%）	%	86	94	90

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	7,403					7,403	
25年度 実績	7,798	0	0	0	0	7,798	
26年度 当初	8,736	0	0	0	0	8,736	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

「心の教室相談員」が行う児童生徒との悩み相談・話し相手等の支援活動は、子どもたちが内面に抱えるストレスや不満の解消に役立ち、不登校、暴力行為等の未然防止及び早期発見・早期対応につながりました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
不登校児童の割合	%	0.4	0.3	0.3
不登校生徒の割合	%	2.5	2.5	2.7
小学校の体験活動の実施時間数	時数	2,601	2,827	2,000
中学校の体験活動の実施時間数	時数	690	624	600

事務事業名 小学校トイレ環境整備事業

教育部 教育総務課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	01	施策名	学校教育の充実		
基本事業番号	05	基本事業名	安全な教育環境の整備		
計画年度	平成 23 年度 ~ 平成 25 年度			事務事業整理番号	1216

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

松尾小学校
蓮沼小学校

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

児童が安心して快適に学習できる環境になります。

事務事業の内容、やり方、手順

老朽化に伴い校舎トイレの全面改修工事を行いました。
蓮沼小学校
平成24年 実施設計
平成25年 契約締結
 施工

(実績)
松尾小学校
平成22年 設計
平成23年 施工

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
委託件数	件	1	1	0
工事件数	件	0	1	0
成果状況				
改修実施率	%	50	100	0
				0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	1,045			900		145	
25年度 実績							45,157
26年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

改修工事は予定どおり完了し、成果は向上しました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
体育館の非構造部材の耐震化率	%	15.8	68.4	100
学校施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0

事務事業名 小学校避難用外階段設置事業

教育部 教育総務課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	05	基本事業名	安全な教育環境の整備	
計画年度	平成 24 年度 ~ 平成 26 年度			事務事業整理番号 1679

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

緑海小学校

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

海岸から近い学校施設について、迅速に高所へ避難できる環境を整備し安全性を強化します。

事務事業の内容、やり方、手順

津波などの緊急時に迅速かつ安全に高所へ避難できるよう、避難用外部階段及び屋上フェンス等を設置しました。

H24 設計
H25 工事・監理業務委託
H26 階段設置により外灯等設計・工事追加あり

* 国より 1 / 3 補助

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
委託件数	件	1	1	1
工事件数	件	0	1	1
成果状況				
外階段が設置され高所への避難が整備された校数	校	0	1	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	998				665	333	
25年度 実績	17,329	0	0	0	11,552	5,777	
26年度 当初	5,349	0	0	0	4,278	1,071	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

外階段等の工事は予定どおり完了し、成果は向上しました。
なお、H26に階段設置に伴う外灯等の追加工事を行います。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
体育館の非構造部材の耐震化率	%	15.8	68.4	100
学校施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0

事務事業名 中学校避難用外階段設置事業

教育部 教育総務課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	01	施策名	学校教育の充実		
基本事業番号	05	基本事業名	安全な教育環境の整備		
計画年度	平成 24 年度 ~ 平成 26 年度			事務事業整理番号	1680

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

蓮沼中学校

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

海岸から近い学校施設について、迅速に高所へ避難できる環境を整備し安全性を強化する。

事務事業の内容、やり方、手順

津波などの緊急時に迅速かつ安全に高所へ避難できるよう、避難用外部階段を設置しました。

H24 設計
H25 工事・監理業務委託
H26 階段設置により外灯設計・工事追加あり

* 国より 1 / 3 補助

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
委託件数	件	1	1	2
工事件数	件	0	1	1
成果状況				
外階段が設置され高所への避難が整備された校数	件	0	1	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	997				665	332	
25年度 実績	17,484	0	0	0	11,870	5,614	
26年度 当初	3,095	0	0	0	2,473	622	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

外階段等の工事は予定どおり完了し、成果は向上しました。
なお、H26に階段設置に伴う外灯の追加工事を行います。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
体育館の非構造部材の耐震化率	%	15.8	68.4	100
学校施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0

事務事業名 小学校体育館改修事業

教育部 教育総務課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	01	施策名	学校教育の充実		
基本事業番号	05	基本事業名	安全な教育環境の整備		
計画年度	平成 25 年度 ~ 平成 27 年度			事務事業整理番号	1681

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

日向・睦岡・山武北

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

災害の際に安心して避難所として開放できるようになります。

事務事業の内容、やり方、手順

老朽化により雨漏り等が発生している日向小学校・睦岡小学校・山武北小学校の体育館について、改修工事を行い、また、平成24年度に実施した非構造部材現況調査を基に非構造部材耐震対策を併せて行い、安全・安心を確保する計画で、そのための設計を行いました。

平成25年度 設計業務
平成26年度 日向小学校改修工事
平成27年度 睦岡・山武北小学校改修工事

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
業務委託件数	件		1	1
工事数	件		0	1
成果状況				
安全が確保された体育館数	件		0	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績							
25年度 実績	2,929	0	0	0	0	2,929	
26年度 当初							(124,912)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

H25は設計業務のみの成果であり、工事はH26に日向、H27に睦岡・山武北の予定で行います。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
体育館の非構造部材の耐震化率	%	15.8	68.4	100
学校施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0

事務事業名 小学校体育施設非構造部材耐震事業（緊急経済対策）

教育部 教育総務課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人がふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	01	施策名	学校教育の充実		
基本事業番号	05	基本事業名	安全な教育環境の整備		
計画年度	平成 24 年度 ~ 平成 25 年度			事務事業整理番号	1741

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武西小学校

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

災害の際に小学校体育館が安心して避難所として開放できます。

事務事業の内容、やり方、手順

学校建物の構造体の耐震化は終了していますが、震災で大規模空間を持つ施設において天井材落下など非構造部材での被害が発生しており、市でも非構造部材の耐震化は完了していません。そのため、補強するなど非構造部材の耐震対策工事を行いました。（緊急経済対策扱い）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
業務委託件数	件	1	1	0
工事件数	件	0	1	0
成果状況				
安全が確保された小学校体育館数	校	6	1	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績							
25年度 実績							4,218
26年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

H26施工予定であったが前倒しで工事は完了し、成果は向上しました。（緊急経済対策扱い）

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
体育館の非構造部材の耐震化率	%	15.8	68.4	100
学校施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0

事務事業名 中学校体育施設非構造部材耐震事業（緊急経済対策）

教育部 教育総務課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	05	基本事業名	安全な教育環境の整備	
計画年度	平成 24 年度 ~ 平成 25 年度		事務事業整理番号	1742

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

中学校体育館及び武道場（4校）
 体育館 = 成東・成東東
 体育館・武道場 = 山武・山武南

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

災害の際に中学校の体育館が安心して避難所として開放できます。

事務事業の内容、やり方、手順

学校建物の構造体の耐震化は終了していますが、震災で大規模空間を持つ施設において天井材落下など非構造部材での被害が発生しており、市でも非構造部材の耐震化は完了していません。そのため、天井を撤去若しくは補強するなど非構造部材の耐震対策工事を行いました。（緊急経済対策扱い）

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
業務委託件数	件	1	1	0
工事件数	件	0	4	0
成果状況				
天井が撤去等改修された中学校体育館数	校	0	4	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績							
25年度 実績							174,666
26年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

H25施工予定の成東東・山武は予定どおり工事が完了しました。また、H26施工予定の成東・山武南も前倒しで工事は完了し、成果は向上しました。（緊急経済対策扱い）

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
体育館の非構造部材の耐震化率	%	15.8	68.4	100
学校施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0

事務事業名 学校のあり方検討事業

教育部 教育総務課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	01	施策名	学校教育の充実		
基本事業番号	06	基本事業名	教育施設の適正配置の推進		
計画年度	平成 24 年度 ~ 年度			事務事業整理番号	1670

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

検討委員会、小中学校

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

少子化に伴い本市における児童生徒数等の推移を踏まえ、小中学校の将来を展望した学校のあり方等を検討し、より良い教育環境を創出する。

事務事業の内容、やり方、手順

平成24年11月5日に学校のあり方検討委員会が設置され、子どもたちの教育にとってより良い教育環境を充実することを念頭に、計13回にわたり慎重に議論を重ね、教育委員会からの諮問内容に対する具体的な方策・考え方について取りまとめられ、平成26年3月19日に答申書が提出されました。今後は、答申内容を踏まえ、教育委員会で協議・検討を行い、基本方針（素案）を策定し、市民等への説明会を開催していきます。

委員会活動実績

会議：H24（4回）H25（9回）視察：H24（1回）H25（1回）
答申：H25（1回）

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
委員会の開催回数	回数	5	11	15
対象学校数	校	19	17	19
成果状況				
答申報告回数	回数	0	1	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	268					268	
25年度 実績	1,239	0	0	0	0	1,239	
26年度 当初	1,335	0	0	0	0	1,335	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

状況 児童生徒が減少し、学校の小規模化が進む中、平成24年11月5日に学校のあり方検討委員会が設置され、教育委員会からの諮問内容（将来を展望した学校のあり方）について、平成26年3月19日に教育委員会へ答申書が提出されました。

原因 月1回の会議の開催、市民等へのアンケート調査や先進地・市内小中学校を視察など、様々な見地から慎重に議論を重ねた結果、具体的方策や考え方について答申書が取りまとめられております。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
過小規模校数	校	0	0	0
給食1食当たりのコスト	円	529	542	530

事務事業名 各種講座事業

教育部 公民館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	01	基本事業名	学習ニーズに対応した学習機会の提供	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1051

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民（市内在住・在勤）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

様々な講座が開催され知識・技術を習得してもらい、受講後は地域で指導できるようになってもらう。

事務事業の内容、やり方、手順

市民自らが参加する芸術文化活動への支援、学習成果の発表の機会、出会いふれあいの場を目的に次の事業を実施します。
成人学校（8学級）6月～翌年3月迄開催
簿記・英語・謡・コカリナ・実用ペン習字・手編み・朗読・仏像彫刻
主催講座 4月～翌年3月
生け花教室、七宝焼き教室、太極拳教室、赤十字救急法短期講習会、成東・東金食虫植物群落基礎講座、ふれあい遊び教室、布ぞうり講座、クラフトバンド講座、スタンドグラス講座、おくすり講座、園芸教室、世界遺産講座、つるしびな教室、陶芸教室、そば打ち教室、タイルアート教室、子育て講座、小学生クラフトバンド教室、太巻きずし講座

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
講座実施回数（延べ）	講座	22	30	19
	回数	190	229	200
成果状況				
企画講座の成立割合	%	95.45	100	90
講座参加者数（総数）	人	309	446	300

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	1,252					1,252	
25年度 実績	1,663	0	0	0	0	1,663	
26年度 当初	1,719	0	0	0	0	1,719	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

各主催講座で検定試験合格者を輩出し、市民生活・市民活動の向上に貢献しました。
平成25年度簿記学級 日商簿記3級合格者1名を輩出しました。（再就職などの就労支援につながると考えられます。）
第14回世界遺産検定 世界遺産検定3級合格者6名を輩出しました。（受検者全員合格。学習の定着度を客観的に把握できたとともに、受検者が講座終了後、クラブを主宰し、市民活動として継続活動しています。また、取り組みが評価され、取材を受ける等学習の成果としての価値は大きかったと思われます。）

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
生涯学習の機会が充実していると思う市民の割合	%	62.8	64.3	65
ニーズに合致する生涯学習メニューが充足していると思う市民の割合	%	40.1	37.9	44

事務事業名 成東文化会館改修事業

教育部 文化会館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の充実
計画年度	平成 24 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1549

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成東文化会館のぎくプラザ利用者（成東図書館利用者を含みます）
山武市殿台290-1 成東文化会館のぎくプラザ

事務事業の内容、やり方、手順

成東文化会館のぎくプラザを適切に維持するため、対応年数の切れた設備や経年劣化による大規模な改修工事について優先順位を決め、計画的に実施します。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

成東文化会館のぎくプラザのホールが、常時正常に稼働し貸館できる状態を維持する。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
修繕箇所数	件	2	11	0
成果状況				
施設設備苦情件数	件	0	1	0
計画進捗率	%	100	100	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	4,963					4,963	
25年度 実績	8,952	0	0	0	0	8,952	
26年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

当初予定していた、外壁等補修工事・緞帳インバーター交換工事、自動ドア装置交換工事は完了しました。来館者より、成東文化会館前広場の看板の字が消えていて読めないと指摘をいただき、修理しました。その他、ブラインド修理・湧水槽ポンプ交換・空調修理・非常灯修理・図書館屋根修理・舗装修理・2階身障者トイレ自動扉修理工事を実施しました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人	326,166	336,984	346,000

事務事業名 伊藤左千夫記念事業

教育部 生涯学習課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	03	基本事業名	文化財の保護・活用	
計画年度	平成 25 年度 ~ 平成 26 年度			事務事業整理番号 1541

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
記念事業参加者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

左千夫顕彰地としての周知・自覚
短歌人口の拡充

事務事業の内容、やり方、手順

左千夫没100年忌 平成25年度
・企画展示講演会3回実施します。
石原純について 7月6日（土）参加者 32名
藤真一郎について10月12日（土）参加者 35名
長塚節二について 3月22日（土）参加者 37名

・伊藤左千夫の資料購入を行います。
左千夫直筆書簡 5通
左千夫直筆葉書 14枚
ホトトギス9巻（12冊）

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
記念事業数	件	0	3	8
チラシ配布数	枚	0	120	240
成果状況				
記念事業参加者数	人	0	104	10,000
		0		

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績							
25年度 実績	2,525	0	0	0	2,525	0	
26年度 当初	943	0	0	0	943	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

伊藤左千夫顕彰事業の周知（チラシ・ポスター、広報紙、防災無線等）により講演会参加者が当初予定人数より増加しています。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
文化財を活用した事業への参加者数	人	491	1,024	1,000
歴史民俗資料館入館者数	人	9,056	9,145	9,500

事務事業名 成東文化会館自主事業

教育部 文化会館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進
基本事業番号	04	基本事業名	芸術文化活動の充実
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 956

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

自主事業に対する満足度が上昇し、来場者も増加する。

事務事業の内容、やり方、手順

【内容】
 ・鑑賞型事業
 より多くのジャンルから22本の事業を開催。
 ・参加型事業
 芸術活動の発表の場を参加者自ら企画し参加型事業を8本開催
 ・ワークショップ型事業
 舞台芸術を支える知識に関するワークショップを1本開催。
 【やり方・手順】
 ・子どもと育つ、アーティストと育つ、人材が育つ、参加者と育つという目標を達成するための、31事業を実施。
 ・市民と協働しイベントの企画、周知を実施。
 ・アンケート、協力者の声などからフィードバックを得る。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
PR件数	件	187	187	188
自主事業開催本数	本	29	31	38
成果状況				
入場者数	人	5,738	6,896	6,900
自主事業に対する満足度	%	90.1	89.2	90.3

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	20,650				3,458	17,192	
25年度 実績	19,684	0	0	0	3,822	15,862	
26年度 当初	21,642	0	0	0	4,428	17,214	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

事業本数は昨年度より2本増やし入場者数は、1,158名増となりました。しかしながら、座席数を超える観覧者から不満等の声があり、その結果「自主事業に対する満足度」が0.9%減となった要因と考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
芸術文化の鑑賞の機会が充足していると思う市民の割合	%	63.1	65.8	65
市主催の芸術文化事業への参加者数	人	6,825	7,955	7,000
芸術文化活動・発表等の機会が充足していると思う市民の割合	%	36.5	38.8	40

事務事業名 山武市支部（学校区）体育振興事業

教育部 スポーツ振興課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	03	施策名	スポーツの振興	
基本事業番号	01	基本事業名	スポーツ活動の充実	
計画年度	平成 19 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	987

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

体育活動団体の組織・体制が整備され、市民がスポーツにふれる機会や参加できる機会を提供できます。

事務事業の内容、やり方、手順

・山武市支部体育事業補助金交付要綱に基づき、各学校区(支部)の体育事業について補助金を交付しました。(ホッパ大会、ハレーボール、ソフトボール、グラウンドゴルフ、野球、エカール、ウォーキング等各種大会が開催されました。)
 ・体育協会総会(5月開催)時に、各学校区の支部役員に対して補助金交付要綱の説明をしました。なお、下記のとおり随時補助金交付の手続きを行いました。
 1. 交付申請書を受付 2. 交付要綱に基づき補助金額を決定(概算払請求があれば補助金を交付) 3. 実績報告書を受付
 4. 交付要綱に基づき補助金額を確定 5. 請求に基づき補助金を交付(概算払請求があった場合は清算)

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
補助金交付件数	件	13	13	13
補助金交付額	千円	1,647	1,780	2,200
成果状況				
各体育大会参加者数	人	1,547	1,570	3,000
事業実施数	回	13	13	13

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	1,647					1,647	
25年度 実績	1,490	0	0	0	0	1,490	
26年度 当初	2,200	0	0	0	0	2,200	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

支部での活動は活発になってきており、今まで事業を行わなかった支部にも動きがありました。実績回数は横ばいですが、参加人数は増えています。地区との連携がうまくいかず、行えない支部(地区)が浮き彫りになってきているので、地区との連携を深めるように協議・指導しています。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
スポーツ大会・教室へ参加した市民の割合	%	13.5	14	15
スポーツ大会・教室の機会の充足度	%	63	67.6	65

事務事業名 少年スポーツクラブ連合会補助事業

教育部 スポーツ振興課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	03	施策名	スポーツの振興		
基本事業番号	02	基本事業名	体育関係団体・指導者の育成		
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1374	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市少年スポーツクラブ連合会及び加入単位クラブ

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

スポーツ少年クラブの活動促進、連合会事業の実施、連合会と各単位クラブの意思疎通を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

山武市少年スポーツクラブ連合会へ補助を行いました。
 主な事業
 ・単位クラブ補助
 ・日本スポーツ少年団及び千葉県スポーツ少年団登録
 ・連合会事業（表彰・指導者研修会等）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
登録指導者数	人	160	171	145
登録団員数	人	608	601	534
成果状況				
登録指導者	人	160	171	145
登録団員数	人	608	601	534

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	1,832					1,832	
25年度 実績	1,832	0	0	0	0	1,832	
26年度 当初	1,833	0	0	0	0	1,833	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

状況 連合会登録団員数は600人、登録指導者数は160人前後で推移しております。

原因 少子化の進行により団員数の減少は避けられませんが、登録団体数もここ数年30団体弱の横ばいで推移しており、団員数においても極端な現象は見られません。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
スポーツ団体数（総合型地域スポーツクラブを含む）	団体	49	50	50
体育関係団体の指導者数	人	122	137	124

事務事業名 公共施設予約システム構築事業

教育部 スポーツ振興課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	03	施策名	スポーツの振興	
基本事業番号	03	基本事業名	体育施設の充実	
計画年度	平成 24 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	1338

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市教育委員会等が管理するスポーツ施設の利用者及び一部の生涯学習施設の利用者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

住民の利便性向上や公平性の確保、事務の効率化を目指します。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・平成24年度に決定した公共予約システムの導入について、公募によるプロポーザルを行い導入業者を決定しました。
- ・導入業者決定後、主管課、関係課、導入業者による公共予約システム稼働に向けた打合せを行いました。（計7回）打合せ時に以下についてすり合わせを行いました。
 - ・導入までのスケジュール調整、対象施設の選定、例規の改正、使用料の納付、システムの仕様、出力帳票の確認
- ・すり合わせ後、打合せ内容を反映させたシステムの操作研修及び検証を行い、不具合を修正した上で、平成26年度当初からの稼働に備えました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
システムにアクセスして申請する施設利用者	件数	0	0	0
成果状況				
システムにアクセスして申請する施設利用申請件数	件数	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績							
25年度 実績	14,527	0	0	0	0	14,527	
26年度 当初	4,601	0	0	0	0	4,601	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

状況	公募型プロポーザルにより導入業者決定後、業者を交えた打合せ、関係部署による打合せを経て平成26年度当初より本稼働に移行しました。
原因	各施設の運用状況、例規のすり合わせを行い、導入するシステムに合致させるべくリストを作成し、洗い出しを行い、不具合を解消しました。また、同時に紙ベースで運用している予約台帳をデータベースに移行する作業も並行して進め、当初の計画とおり平成26年度から運用を開始しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
体育施設の利用者数	人	156,575	158,606	180,000
体育施設の修繕件数	件	0	0	0

事務事業名 社会体育施設等非構造部材耐震事業

教育部 スポーツ振興課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	03	施策名	スポーツの振興		
基本事業番号	03	基本事業名	体育施設の充実		
計画年度	平成 23 年度 ~ 平成 26 年度			事務事業整理番号	1624

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・蓮沼スポーツプラザ
- ・白幡体育館
- ・さんぶの森中央体育館

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

利用者の安全性を確保すると共に、災害の際に避難所として開放できるようにします。

事務事業の内容、やり方、手順

社会体育施設非構造部材耐震現況調査を行った結果、耐震改修工事が必要のため3施設(蓮沼スポーツプラザ・白幡体育館・さんぶの森中央体育館)の耐震設計を行いました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
調査数	数	3	3	3
成果状況				
施設数	数	3	3	3

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	661					661	
25年度 実績	4,095	0	0	3,100	0	995	
26年度 当初							(398,298)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

蓮沼スポーツプラザ・白幡体育館・さんぶの森中央体育館の3施設の耐震設計が終了しました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
体育施設の利用者数	人	156,575	158,606	180,000
体育施設の修繕件数	件	0	0	0

事務事業名 体力づくり事業

教育部 スポーツ振興課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	03	施策名	スポーツの振興
基本事業番号	04	基本事業名	世代別のスポーツ実施率のばらつき解消
計画年度	平成 19 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 991

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

誰でも気軽に始められるウォーキング等を体験してもらうことにより、日常的な体力づくりへの意識の向上を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

< 歩け歩け大会 >
高尾山で実施しました。

スポーツ推進委員全体会議でコースを決定 コース下見
広報・チラシなどで市民へ周知 参加者募集 大会の実施

< らくらく運動講座 >
ヨガ教室を実施しました。

スポーツ推進委員全体会議で教室の内容を決定 講師依頼
広報・チラシなどで市民へ周知 参加者募集 教室の実施

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
役員会開催数	回	3	2	3
住民への周知回数	回	3	6	3
成果状況				
参加者数	人	103	96	85
開催回数	回	1	3	3

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	128					128	
25年度 実績	304	0	0	0	124	180	
26年度 当初	447	0	0	0	160	287	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 平成25年度は、参加者が前年度と比較して7人減となりました。

< 原因 > 歩け歩け大会を市外で実施したため、バスの乗車定員の都合上募集人数を少なくしたことが原因だと思われ
ます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
週2回以上30分以上運動している60歳～69歳の割合	%	34	33.7	33
週2回以上30分以上運動している30歳～50歳の割合	%	13.2	18.3	20

事務事業名 学校支援地域本部事業

教育部 生涯学習課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	04	施策名	学校家庭地域の連携		
基本事業番号	01	基本事業名	開かれた学校づくり		
計画年度	平成 21 年度 ~ 年度			事務事業整理番号	1142

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

学校

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、地域の教育力の活性化を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

睦岡小学校区において、地域協議会を組織し、学校と支援地域ボランティアとの調整役のコーディネーターを配置し、運営を行いました。
活動内容としては、学校行事への参加、環境美化活動、部活動支援等を行いました。

【スケジュール】

4月 学校支援地域本部事業補助金事業内容の審査

3月 実績報告

通年 学校支援地域本部事業開始のための支援

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
打合せや活動をした回数	回	12	12	12
補助金件数	件	1	1	1
成果状況				
学校支援に取り組んだ人の延べ人数	人	531	350	240

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	358		238			120	
25年度 実績	337	0	182	0	0	155	
26年度 当初	412	0	202	0	0	210	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>支援地域ボランティアの延べ人数は減少したが、防災訓練以外の事業は昨年度と同様の支援を行うことができました。
<原因>今年度は、防災訓練を実施しないため支援地域ボランティアの人数が減少しました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
学校行事に参加している市民の割合	%	32.7	32.1	40
学校ミニ集会などの学校との話し合いに参加した市民の割合	%	9.6	9.5	20
学校と地域との話し合いによる方策・改善数	件	17	17	19

事務事業名 教育情報の発信事業

教育部 教育総務課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	04	施策名	学校家庭地域の連携
基本事業番号	02	基本事業名	教育情報の発信
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 693

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内
教育系ホームページ

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市民が教育行政を理解するための教育情報を入手できるようになります。

事務事業の内容、やり方、手順

広報「懸け橋」の発行やホームページの充実を図るなど、積極的な情報提供に努め、開かれた教育行政を推進しました。

【広報「懸け橋」】

- ・発行回数：年4回（四半期ごと）
- ・発行部数：年24,000部
- ・配布方法：小中学校経由で保護者世帯へ
区及び自治会回覧
窓口（16施設）
ホームページでPDF版を掲載

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
年間発行回数	回	4	4	4
年間発行部数	部	24,000	24,000	24,000
成果状況				
「懸け橋」普及率	%	30.92	30.84	30.84
教育系ホームページアクセス数	アクセス数	105,062	108,978	100,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	368					368	
25年度 実績	344	0	0	0	0	344	
26年度 当初	409	0	0	0	0	409	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 「懸け橋」の普及率については、昨年度に比べ減少していますが、ホームページアクセス数については、昨年度に比べ増加しています。
 <原因> 発行部数、発行回数には変更ありません。世帯数は増加していますが、児童生徒数が減少していることにより、普及率は減少しています。ホームページアクセス数については、提供情報の拡充や迅速な更新をしたことにより、増加したものと考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
教育関係部局のホームページアクセス数	アクセ	105,062	108,978	110,000
学校や教育に関する情報提供の満足度	%	61.8	65.3	70

事務事業名 家庭教育事業

教育部 生涯学習課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	04	施策名	学校家庭地域の連携	
基本事業番号	03	基本事業名	家庭教育力の向上	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	973

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市立小・中学校、幼稚園、こども園に通学・通園する児童・生徒、園児の保護者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

家庭教育学級を通じて、より良い家庭教育の充実をはかることができます。

事務事業の内容、やり方、手順

家庭教育学級は、安らぎのある楽しい家庭をつくるため、夫婦がお互いを尊重し合い、子どもと前向きに向き合い子育てすることによって、家族の絆を深めようとするものです。市立小・中学校、幼稚園、こども園で事業計画を作成し、開催しました。

事務
全体として、家庭教育学級合同開級式を開催しました。（5月）
家庭教育学級年間計画書の提出（5月）
家庭教育講演会を開催（12月）
家庭教育学級実施報告書の提出（翌年3月）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
家庭教育学級開催回数	回	136	119	119
成果状況				
家庭教育学級に満足した人の割合（アンケート調査）	%	74.7	86.9	90

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	568					568	
25年度 実績	610	0	0	0	0	610	
26年度 当初	962	0	0	0	0	962	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>家庭教育学級に満足した人の割合が平成24年度の74.7%から平成25年度は86.9%と16.3%向上し、順調です。
<原因>家庭教育学級の受講者からアンケートを取り、受講対象者のニーズを分析し、それに合致した内容を提供したことが理由として考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
家庭教育学級の参加者数	人	7,912	7,677	7,000
家庭教育講座の参加者数	人	392	359	440
家庭教育力向上のために工夫をしている保護者の割合	%	52.2	48.9	56

事務事業名 放課後子ども教室開催事業

教育部 生涯学習課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	04	施策名	学校家庭地域の連携	
基本事業番号	04	基本事業名	地域教育力の向上	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	967

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の小学校、児童

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

放課後等の子どもの安全で健やかな活動場所が確保されました。

事務事業の内容、やり方、手順

放課後子ども教室を実施する団体（講師）及び登録児童に対し、報償の支払い、消耗品の購入、保険加入等の事務を行いました。
この事業を拡充するため、普及活動として、「架け橋」への記事掲載や区長回覧などをして、新規ボランティア募集や地域住民への周知活動を行いました。
緑海小学校
開催日：毎月第2土曜日の午前中
講師登録者数32名、児童登録者数約70名
日向小学校
開催日：毎月第3木曜日の放課後
講師登録者数20名、児童登録者数68名

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
打合せを実施した小学校数	校	2	3	13
成果状況				
放課後子ども教室を開催している小学校数	校	2	2	3
放課後子ども教室に参加したのべ児童数	人	1,829	1,208	1,300

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	900		361			539	
25年度 実績	951	0	360	0	0	591	
26年度 当初	1,648	0	470	0	0	1,178	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
参加したのべ児童数は減り始めていますが、講座数及び講師ボランティア数については、昨年度と同数を確保することができ順調です。
<原因>
日向小学校では登録児童を増やすために、参加条件の緩和をし、その結果参加者数が増えました。緑海小学校では、例年に比べ、参加者が少なかったため減となりました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
青少年育成事業への児童・生徒の参加者数	人	1,100	1,811	1,800
体験学習の参加者数	人	906	1,112	1,050

事務事業名 少年海外派遣支援事業

教育部 生涯学習課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	04	施策名	学校家庭地域の連携		
基本事業番号	04	基本事業名	地域教育力の向上		
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度			事務事業整理番号	976

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内在住の中学生・高校生
少年海外派遣団

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

海外で、その自然・文化及び社会情勢・学校生活等を体験することにより、広い視野と国際感覚が身につきました。

事務事業の内容、やり方、手順

事務
山武市少年海外派遣団からの補助金申請に対して、内容を審査し交付の可否を決定し補助金を交付しました。（7月）
目的 市内在住の中学生を海外へ派遣し、その自然・文化及び社会情勢・福祉活動等を見分させ、広い視野と国際感覚豊かな人材を育成しました。
内容 研修生の決定は、募集時に提出した作文及び面接により選考しました。定員は平成22年度から20名以内としました。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
打合せ日数（面接・結団式・研修会）	日	7	7	7
成果状況				
海外派遣により、国際感覚が身についたと思う参加者の割合	%	100	100	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	3,106					3,106	
25年度 実績	3,577	0	0	0	0	3,577	
26年度 当初	3,600	0	0	0	0	3,600	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

ニュージーランドの自然・文化及び社会情勢・学校生活等を体験することにより、広い視野と国際感覚が身につきました。また、ニュージーランド（パ克蘭ガ中学校）からの海外派遣受入事業の研修生との懸け橋役として活躍が期待できます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
青少年育成事業への児童・生徒の参加者数	人	1,100	1,811	1,800
体験学習の参加者数	人	906	1,112	1,050

事務事業名 子ども人権(CAP)事業

教育部 生涯学習課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人がふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	05	施策名	人権尊重のまちづくり
基本事業番号	01	基本事業名	人権教育・人権啓発の推進
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 974

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市立小学校、幼稚園、こども園の児童とその保護者等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

保護者が子どもの人権について、また、子ども同士でもお互いの人権について正しく理解をすることができます。

事務事業の内容、やり方、手順

CAP (Child Assault Prevention) とは、子どもたちがいじめ、誘拐、虐待、性暴力といった様々な暴力から自分を守るための人権講習プログラムです。
劇を通じて子どもたちの「生きる力」を引き出し、子どもの「安心・自信・自由」の権利と自らの身を守るための方法を練習しました。
子ども以外にも、教職員・保護者など大人を対象としたワークショップも併せて提供しました。

内容
人権講習プログラム（各コース）を実施
委託先（講師）：エンジョイ・キャップ

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
開催回数	回	37	35	34
成果状況				
延べ参加者数	人	629	632	530

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	1,230					1,230	
25年度 実績	1,183	0	0	0	0	1,183	
26年度 当初	1,298	0	0	0	0	1,298	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>参加者数が平成24年度の629人から平成25年度は632人へと3人の増となり成果としては横ばいです。
<原因>講座回数が頭打ちの状況であるため、講師が受け入れられるキャパシティを考慮すると最大限の参加者を迎えることができていると思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
この1年間に人権について学んだことのある市民の割合	%	21.8	22	27
この1年間に人権侵害をするような言動や行動をした市民の割合	%	12.8	11.7	9

事務事業名 人権相談事業

市民部 市民課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とのふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	05	施策名	人権尊重のまちづくり	
基本事業番号	02	基本事業名	人権相談の充実	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	207

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

人権が侵害されていると感じる人がいなくなり、互いに相手を思いやり、ともに幸せに暮らせます。

事務事業の内容、やり方、手順

人権擁護委員法に基づき法務大臣から委嘱された人権擁護委員による人権相談、啓発などの人権擁護活動を行いました。

<活動内容>

- ・相談所開設：原則毎月第1～4火曜日、市内4地区
- ・広報：相談所開設日の広報誌への掲載（毎月）
- ・啓発：人権週間中の啓発物品配布

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
相談所開設回数	回	52	50	51
啓発活動の回数	回	3	3	3
成果状況				
人権が尊重されていると思う市民の割合	%	45.8	45.8	48

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	11					11	
25年度 実績	21	0	0	0	0	21	
26年度 当初	51	0	0	0	0	51	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
ほぼ横ばいで推移しています。

<原因>
人権擁護委員による人権に対する相談や啓発活動により維持しています。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
人権相談件数	件	19	26	33

事務事業名 男女共同参画推進事業

総務部 企画政策課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	05	施策名	人権尊重のまちづくり		
基本事業番号	04	基本事業名	男女共同参画の推進		
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	123	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

事務事業の内容、やり方、手順

広報啓発活動の実施をします。
庁内会議で審議会、委員会等への女性の登用について協議します。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

男女平等意識が向上し、男女がともに暮らしやすいまちづくりが創造されます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
広報紙掲載回数	回	0	1	1
庁内会議回数	回	0	3	1
成果状況				
広報紙で呼びかけた男女共同参画の具体的なテーマ・事業数	回	0	1	1
審議会への女性登用人数	人	51	57	57

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績							
25年度 実績							
26年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

講演会実施の広報掲載を1回、また啓発用の新聞を山武・海匠地域で作成し、啓発を進めることができました。審議会の女性委員については、防災会議など女性委員がいなかった審議会でも積極的に女性を登用したこと等により、昨年より6名増えました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
審議会などに女性委員が登用されている割合	%	13.9	15.2	33.3
「男は外で働き、女は家庭を守る」という考え方ではない人の割合	%	66.1	68.3	68
男性が家事・育児に積極的に参加している割合	%	39.8	36	45

事務事業名 市民提案型交流のまちづくり推進事業

総務部 市民自治支援課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	01	施策名	協働と交流によるまちづくり
基本事業番号	01	基本事業名	市民活動の活性化
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1334

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市民の手によるまちづくり活動の促進、市民や市民活動団体のつながりができ、暮らしやすい地域をつくります。

事務事業の内容、やり方、手順

市民活動団体が、自主的、主体的に企画し、他の団体との連携を持ちながら実施する事業で、人々の交流が生まれ地域の連帯が強化される事業を提案し、審査の結果採択された事業に補助金の交付を行います。

補助率：補助対象経費の10/10（限度額：新規団体30万円、交流団体50万円）

審査委員：地域審議会委員、学識経験者、NPO団体公募委員、市職員

審査会：10月...提案団体からの提案事業審査
3月...実施団体からの成果報告会により事業評価

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
審査件数	件	21	14	9
成果状況				
事業実施件数	件	18	10	7
事業実施に伴い連携した団体数	団体	16	18	10

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	6,873				5,000	1,873	
25年度 実績	3,744	0	0	0	3,659	85	
26年度 当初	2,850	0	0	0	2,850	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

状況 事業提案数・事業実施件数は減少しましたが、事業実施に伴い連携した団体数は増加しています。
原因 減少理由として、補助金交付回数を満たした団体が出てきたこと、提案審査で不採択となった団体が再度提案を上げてこないといった状況があります。また、事業実施団体からは書類・資料等の提出が大変である、補助金の交付回数、その他制約により、思うように活動できないといった意見があるものの、その後自立して活動を行っています。今後の対策として、社会福祉協議会や他部署を通して補助事業の周知をはかり、書類の書き方等の指導を行うなど、市民活動団体（提案団体）を支援していきます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
NPO法人、市民活動・ボランティア団体数	団体	150	157	150
区会、自治会加入率	%	76	74.8	80.2

事務事業名 地域まちづくり協議会事業

総務部 市民自治支援課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	01	施策名	協働と交流によるまちづくり
基本事業番号	01	基本事業名	市民活動の活性化
計画年度	平成 23 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1337

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民(小学校区)

事務事業の内容、やり方、手順

全市的に協議会についての広報を行い、賛同地域をモデル地区に設定して試行的に事業を展開し、方向性を定めるものです。その後、市内各地域の特性を考慮して、協議会及びその計画を認証するシステムを構築し、一定の権限を有する団体を市内全域に普及することを目指します。
*「市民協働による地域まちづくり講座」（全5回）事業と連携し、小学校区単位でのまちづくり協議会の仕組み、必要性、具体的な活動内容等を行政事例や先進地事例を交えて研究し、市民と行政が一体となった地域まちづくりへの理解、認識を深め、市民主体でのまちづくり協議会設立に向けて準備を実施していきます。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

各小学校区を基準として区域内で活動する自治会、区を基盤に、地域で活動する団体・組織が、緩やかに連携・協力することで地域の特性を生かし、コミュニティ活動をさらに活発にするとともに地域の課題を地域で解決することを目指します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
協議会への理解度	%	0	0	50
成果状況				
協議会数	区	0	0	2

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	0					0	
25年度 実績							
26年度 当初	3,000	0	0	0	0	3,000	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 地域まちづくり協議会の設立までには至りませんでした。
< 原因 > 「市民協働による地域まちづくり講座」（全5回）事業と連携し、小学校区単位でのまちづくり協議会をテーマに、その仕組み、必要性、具体的な活動内容等を行政事例や先進地事例を交えて研究し、市民と行政が一体となった地域まちづくりへの理解、認識を深め、市民主体でのまちづくりの必要性や小学校区エリア内の横の連携について議論しましたが、具体的な制度設計や市の方針が明確に打ち出されていなかった事等が原因と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
NPO法人、市民活動・ボランティア団体数	団体	150	157	150
区会、自治会加入率	%	76	74.8	80.2

事務事業名 コミュニティビジネス講座事業

総務部 市民自治支援課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	01	施策名	協働と交流によるまちづくり
基本事業番号	02	基本事業名	協働意識の向上
計画年度	平成 21 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1152

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

講座を契機に実践していく起業者が創出される。
コミュニティ・ビジネスへの理解者が増える。
自らの手で地域を活性化していく手法を身につける。

事務事業の内容、やり方、手順

地域コミュニティを基点にして、住民が主体となり、顔の見える関係の中で営まれる事業である。地域コミュニティで眠っていた労働力・原材料・ノウハウ・技術などの資源を生かし、地域住民が主体となって自発的に地域の問題に取り組み、やがてビジネスとして成立させていく、コミュニティの元気づくりを目的としたコミュニティビジネスを育成するため、実践講座を開催する。
募集：市広報紙・市HP・市民交流サロンだより・チラシ
募集定員：20名
講師：有識者
内容：地域デビュー講座（全4回）
女性のための起業入門講座（全2回）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
募集定員	人	20	20	20
成果状況				
受講者数	人	20	15	20

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	1,274				24	1,250	
25年度 実績	1,288	0	0	0	40	1,248	
26年度 当初	641	0	0	0	30	611	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 受講者数の減少はあったが、新規起業者の参加があり順調に推移している。
< 原因 > 女性起業者向けの講座は、参加者10名で、地域の魅力を再発見し地域活動を楽しみながら自己実現や地域課題の解決に向けた取り組み方法を学ぶ講座でした。地域デビュー応援講座の参加者は、5人と低調でした。地域活動やコミュニティ・ビジネスの基本を学ぶ講座であった事により、地域で既に起業している参加者の受講が無かった事が考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
勉強会、講座などへの参加者数	人	923	774	700
市民との協働を理解する職員の割合	%	77.6	73	90

事務事業名 さんぶの森交流センターあららぎ館管理運営事業

総務部 市民自治支援課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	01	施策名	協働と交流によるまちづくり
基本事業番号	03	基本事業名	市民活動施設の整備と利用促進
計画年度	平成 22 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1198

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
さんぶの森交流センターあららぎ館

事務事業の内容、やり方、手順

・さんぶの森交流センターあららぎ館管理運営事業
交流センター棟、バイオマス体験棟、ジャイアントシェルター棟、広場などのあららぎ館の施設全体の管理、運営を行います。
・利用者の中心である地域住民のニーズを把握するため、市民座談会等を開催しながらより良い管理運営の方針、方法を決定する。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市民や市民活動団体の活動する場が確保され、自主的な活動が活発になる。
・H25年度利用状況：315回/年 12,474人
・民間委託方式の内部検討実施

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
交流センター利用回数	日	338	315	340
成果状況				
交流センター利用者数	人	8,443	12,474	13,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	10,474				225	10,249	
25年度 実績	10,488	0	0	0	309	10,179	
26年度 当初	12,840	0	0	0	216	12,624	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > あららぎ館の設置から3年が経過いたしました。利用回数、利用者数ともに順調に伸びて来ています。
< 原因 > 山武地域の区・自治会、学校、郵便局、NPO等の施設利用情報が浸透してきており、気軽に利用できる場の雰囲気が出来て来ています。地域振興の産業まつり、健康と福祉祭りといった大きなイベントも開催され、あららぎ館の存在がより多くの市民に周知され始めて来ています。また、森の時間やプチカフェといった市民活動団体事業も開催され始めて来ています。今後は、更なる市民の利用者視点に立った利便性の向上を図るため、民営化による検討を継続し、施設の管理運営のみならず、地域市民活動団体による地域住民対象とした自主事業の展開も併せて考えて行きます

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
市民活動支援施設の利用者数	人	11,553	13,469	12,000
市民活動や地域活動をするための活動の場（施設）の充足度	%	56.6	54.9	65

事務事業名 国際交流支援事業

総務部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	01	施策名	協働と交流によるまちづくり
基本事業番号	04	基本事業名	異文化交流の推進
計画年度	平成 19 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 126

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

国際交流団体

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

民間主体の国際交流を支援することにより、地域の国際化が推進される。

事務事業の内容、やり方、手順

国際交流団体に国際交流に係る事業費を補助金として交付する。
交付申請書の受理。
補助金交付事務（内容審査、交付決定通知送付、請求書の受理、補助金の支出）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
補助金額	千円	595	800	800
成果状況				
交流団体活動回数	回	1	1	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	595					595	
25年度 実績	800	0	0	0	0	800	
26年度 当初	800	0	0	0	0	800	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

対象となる団体が1団体であり、現状維持の状態です。
対象となる団体数を増やすこと、また、海外観光客を誘致することで成果向上の余地があります。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
交流事業参加者数	人	193	37	1,000
外国語（併記）刊行物等の種類数	件	1	2	5

事務事業名 広報さんむ作成・発行事業

総務部 市民自治支援課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	02	施策名	開かれた市政		
基本事業番号	01	基本事業名	広報の充実		
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度			事務事業整理番号	90

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内全世帯
市民

事務事業の内容、やり方、手順

広報紙を作成し、市内の世帯に新聞折込により配布しました。新聞未購読者には希望により郵送で発送しました。（毎月1回発行・A4判28ページ・23,200部・新聞折込21,140部・郵送890部）
市民編集準備委員と協働し広報紙を制作しました。（市民編集準備委員10人）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

条例・規則・視の施策・行事等に関することなど市民に周知する必要がある情報を理解してもらう。
市民目線の広報紙を制作することで、分かりやすい、魅力ある広報紙となり、幅広い年代に愛読してもらう。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
発行回数	回	12	12	12
成果状況				
印刷部数	部	278,400	278,400	278,400
広報紙を読んでいる市民の割合	%	91.7	92	94

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	14,168					14,168	
25年度 実績	13,560	0	0	0	936	12,624	
26年度 当初	16,772	0	0	0	822	15,950	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 広報紙を読んでいる市民の割合は、平成24年度より0.3%増加しており順調です。
< 原因 > 市民生活に密着した情報や特集記事の掲載により、広報紙への関心が高まったためだと考えられます。また、市民編集準備委員と協働し、企画編集等に市民の意見を取り入れた特集記事を掲載したことにより、市民目線での広報紙づくりが展開できたと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
広報紙を読んでいる市民の割合	%	91.7	92	94
広報紙が分かりやすいと思う市民の割合	%	88.8	86.9	88
市ホームページアクセス件数	アクセス	411,626	480,760	360,000
各種広報手段の平均認知率	%	35.9	30.3	40

事務事業名 市長への手紙対応事業

総務部 秘書課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	02	施策名	開かれた市政	
基本事業番号	02	基本事業名	広聴の充実	
計画年度	年度 ~ 年度			事務事業整理番号 93

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民等

事務事業の内容、やり方、手順

市民等からの意見を、本庁および各出張所に設置された投函箱やメールにより受け取り、内容精査のうえ回答します。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

開かれた行政実現のため、市民からの質問や意見などを伺い市政への理解を得る

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
受付件数	件	84	87	80
市長への手紙をもとに対応を行った件数	件	65	59	56
成果状況				
対応率	%	77	68	70
回答件数	件	48	41	38

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績							
25年度 実績							
26年度 当初	1	0	0	0	0	1	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 昨年度に比べ、対応率が11.7%減少しておりますが、活動が停滞していることも成果が低下していることもありません。
 < 原因 > 回答に関しては、回答条件を満たしたもので回答希望の手紙や、回答を希望されない場合でもお知らせした方がよい場合には、回答をしています。回答しない場合も、ご提案により事業や組織で見直しや改善などをするものもあります。今年度は同じ案件が数回届き、対応は同じということがあり、対応率が減少したと思われま

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
市民の声が市政に届いていると思う市民の割合	%	31.3	26.9	33
市民からの意見数（市長への手紙・メール）	件	84	87	90
市民参加手法の実施回数	回	223	219	240

事務事業名 情報公開・個人情報保護事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	02	施策名	開かれた市政		
基本事業番号	03	基本事業名	情報公開及び個人情報保護の推進		
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	16	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民、職員数

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市の保有する情報を市民が容易に入手できる。
市が保有する個人情報が適正に管理保護されている。

事務事業の内容、やり方、手順

情報公開・個人情報保護制度の運用に関する業務
 ・公文書開示請求、個人情報開示請求の受付（随時）
 ・個人情報登録簿の管理（変更のある毎）
 ・情報公開・個人情報保護制度に関する相談（随時）
 ・情報公開審査会、個人情報保護審査会の開催（不服申出がある毎）
 ・運用状況の公表（年1回）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
開示請求受付件数	件	10	29	29
職員に対し個人情報の取扱いに関する注意喚起を行った件数	件	4	2	2
成果状況				
情報公開開示件数	件	10	29	29
個人情報漏洩件数	件	2	2	2

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	41				3	38	
25年度 実績	81	0	0	0	4	77	
26年度 当初	162	0	0	0	2	160	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 情報公開の開示請求受付件数が、平成24年度より19件増加しており、順調です。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
情報公開制度を知っている市民の割合	%	10.4	11.7	20
個人情報の漏洩件数	件	2	2	0

事務事業名 議会だより作成事業

議会事務局 議会事務局

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	02	施策名	開かれた市政
基本事業番号	04	基本事業名	議会情報の公開の推進
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 668

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

議会の審議状況や議員活動について市民に解りやすく伝えることにより議会への関心をより高めます。

事務事業の内容、やり方、手順

・議会の活動状況を広く市民に周知するため議会だよりを定例会ごとに発行し全世帯に配付するとともに、市ホームページにも掲載しました。
 仕様：A4版16ページ、4色カラー印刷
 配付方法：新聞折込及び郵送にて配付
 編集委員会の目的
 ・内容を精査し、市議会及び議員の活動状況を市民に解りやすく伝えられるよう編集を行いました。
 ・他市の議会報を参考にして、よりよい議会だよりになるよう努めました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
議会だより配付部数(1回あたり)	部	23,000	23,000	23,000
議会だより編集委員会の開催回数(年間)	回	4	4	5
成果状況				
議会だよりを読んでいる市民の割合	%	45.7	47.4	52.5
議会だよりを読んでいる職員の割合	%	58.7	54	55

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	2,710					2,710	
25年度 実績	2,661	0	0	0	0	2,661	
26年度 当初	3,176	0	0	0	0	3,176	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 議会だよりを読んでいる市民の割合は、1.7%増加し向上傾向にあります。職員の割合については、周知不足のためか、4.7%減少という結果となりました。
 <原因> 25年度は、臨時議会もあり、議会への関心が少し増加したのではないかと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
議会だよりを読んでいる市民の割合	%	45.7	47.4	60
傍聴人数	人	117	94	130
議会インターネット中継アクセス件数	件	825	1,509	2,500

事務事業名 行政評価制度推進事業

総務部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	01	基本事業名	行政評価の推進	
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号	127

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・総合計画に定める体系（政策 - 施策 - 基本事業 - 事務事業）
- ・職員
- ・市民

事務事業の内容、やり方、手順

総合計画の施策・基本事業及び事務事業に達成度を表す成果指標と目標値を設定・評価し、その結果に基づくPlan-Do-Seeのマネジメントサイクルを回して、費用対効果の高い事業への資源配分、結果重視の行政運営を目指し事業を実施しました。
 【平成25年度】
 行政経営システムを改修し、施策・基本事業と事務事業とを連動させることなどにより評価の充実を図りました。
 4月 まちづくりアンケートの実施
 5月～6月 施策基本事業評価・事務事業評価（ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾚﾍﾞﾙ）
 6月～ 事務事業評価（サｰﾑｰ）
 9月～ 施策枠予算編成の実施、まちづくり報告書策定
 2月 実施計画書の策定

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・総合計画の進行管理が行えるようになります。
- ・行政評価制度を理解し、事務や事業の分析・改善を効果的に行う職員が増えます。
- ・事務事業評価、施策・基本事業評価の結果を活用して、適切な資源配分が行われます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
説明会・研修会の実施回数	回	2	3	3
評価・点検を実施した事務事業数	事業	216	260	300
成果状況				
施策・基本事業の成果指標設定割合	%	100	100	100
行政評価制度を理解し、事務事業を行っている職員の割合	%	40.4	39.4	55

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	6,356					6,356	
25年度 実績	9,337	0	0	0	0	9,337	
26年度 当初	6,740	0	0	0	0	6,740	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

行政評価制度は平成25年度で導入から6年目となります。定期的な職員向け説明会や行政評価推進事務局による二次評価等を実施することにより、総合計画の進行管理や全庁的に適切な資源配分を推進していますが、「行政評価制度を理解し、事務事業を行っている職員の割合」は横ばい（やや低下）となっています。これは、制度自体やシステム操作が煩雑なこと、評価表等の活用が進まず、事業のスクラップアンドビルドといった行政評価の成果が見えにくいことなどが一因と考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
成果が向上した事務事業割合	%	24.9	23.2	40
基本事業の目標達成割合	%	55.9	63.6	70

事務事業名 人事評価事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営
計画年度	平成 20 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 18

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員（一般職）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

職員自身の発揮した能力や業績に応じて、職員が納得した公正公平な評価がされます。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・人事評価の精度を向上させるため、各種研修会を実施します。
- ・評価結果を人事の参考とします。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
研修会開催回数	回	5	4	5
成果状況				
人事評価制度の仕組みや制度を理解している職員の割合	%	81	75	80
人事評価制度が適正に運用されていると思う職員の割合	%	30	35	65

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	544					544	
25年度 実績	130	0	0	0	0	130	
26年度 当初	1,117	0	0	0	0	1,117	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>人事評価制度の仕組みや制度を理解している職員の割合は、平成24年度より6ポイント低下しましたが、人事評価制度が適正に運用されていると思う職員の割合は、5ポイント向上しました。

<原因>昨年度は、新規採用職員及び評価者を対象とした研修は実施しましたが、全職員を対象とした研修を実施しなかったことも一つの要因と思われます。また、評価結果のフィードバックを義務化したことにより、適正に運用されていると思う職員の割合は、向上したと思われます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
市民1,000人当たりの職員数	人	8.39	8.33	8.13
能力が十分発揮され実績が評価されていると思う職員の割合	%	81.4	77	70
研修により資質の向上が図られていると思う職員の割合	%	83.1	83.3	90

事務事業名 定員適正化推進事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営	
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度			事務事業整理番号 1089

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

定員適正化計画に基づき定員管理の適正化が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

・総合計画を具体的に実行していくための効率的な組織運営を進めます。
 ・事務事業の委託化、指定管理者制度の導入等を推進し定員の適正化を図ります。
 ・定員適正化計画に基づき、「類似団体別職員数の状況」を活用し、計画的な職員採用や定員管理に努めます。

スケジュール
 4月 退職勧奨制度の周知
 5月 職員採用計画
 6月 地方公共団体定員管理調査
 10月・11月 人事に関する各部・各課ヒアリング
 3月 職員配置の決定

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
各部・各課ヒアリング回数	日	4	4	4
成果状況				
定員適正化計画の定員数と職員数の差	人	-4	-10	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績							
25年度 実績							
26年度 当初							

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>平成25年4月1日の職員数は、定員適正化計画と比較して10人少なく、順調です。
 <原因>勧奨退職者が予想より多かったこと、定員適正化計画に基づき採用を抑制したことにより、計画を上回ったと思われます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
市民1,000人当たりの職員数	人	8.39	8.33	8.13
能力が十分発揮され実績が評価されていると思う職員の割合	%	81.4	77	70
研修により資質の向上が図られていると思う職員の割合	%	83.1	83.3	90

事務事業名 行政改革推進事業

総務部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	03	基本事業名	健全な財政運営
計画年度	平成 22 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 129

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市の事務事業
市の職員

事務事業の内容、やり方、手順

行政改革を推進し必要な事項を調査審議するため、第三者機関である「行政改革推進委員会」を設置し、その意見等を内部組織の「行政改革推進本部」に反映させ、簡素で効率的な市政の実現を推進します。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

事務事業の効率化及び合理化が図られます。

【平成25年度実績】
・平成24年度に策定した後期行政改革行動計画（計画期間：平成25年度～平成27年度）に基づき、計画に位置付けられた取組項目の進捗管理を行いました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
行政改革推進委員会の開催回数	回	2	1	1
成果状況				
行政改革行動計画どおりに実施した取組項目の数	項目	26	23	25
行政改革行動計画どおりに実施した取組項目の割合	%	53	46.9	70

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	141					141	
25年度 実績	64	0	0	0	0	64	
26年度 当初	168	0	0	0	0	168	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

計画以下となった項目は、全49項目中9項目（18.4%）となっています。そのうち主なものとして、11指定管理者制度の導入、21人事評価制度の確立、29ファシリティマネジメントの確立が挙げられます。これらの推進にあたっては、全庁的な意見集約、制度設計や個別データの収集といった面で遅れが生じています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
経常収支比率	%	89.8	87.8	89
人件費割合	%	17.2	17.9	18.3
実質公債費比率	%	13.8	13	13

事務事業名 指定管理者指定事業

総務部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	03	基本事業名	健全な財政運営
計画年度	平成 18 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 130

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

公の施設

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

適正な審査が行われ、適正な指定管理者が選定されています。

事務事業の内容、やり方、手順

公の施設を管理する部署からの希望により、指定管理者選定委員会を開催し、選定基準により指定管理者の選定を行います。また、各施設の指定管理状況（モニタリング）を行います。
 ・現在指定管理を行っている「福祉作業所（3ヶ所）」、「成東老人福祉センター」、「山武福祉センター」、「簡易マザーズホーム」、「松尾駅前駐車場」、「ふれあいデイサービスセンター」の指定管理期間が平成26年3月31日であるため、新たに指定管理者の選定を行いました。
 ・「成東駅前駐車場」については、市道整備に伴う用途廃止予定のため、市の直営とすることとしました。
 ・社会教育施設等への指定管理者制度導入が推進されるよう、担当部署への説明を行いました（12月20日）。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
選定委員会開催数	回	3	2	4
成果状況				
指定管理者制度導入施設数	施設	20	19	19

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	75					75	
25年度 実績	48	0	0	0	0	48	
26年度 当初	122	0	0	0	0	122	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

指定管理者制度導入施設数は、市道整備に伴う用途廃止により、成東駅前駐車場を指定管理から市の直営としたため19施設となっています。その他の施設については、当初計画のとおり更新手続きを行いました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
経常収支比率	%	89.8	87.8	89
人件費割合	%	17.2	17.9	18.3
実質公債費比率	%	13.8	13	13

事務事業名 市税等徴収事務事業

市民部 収税課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	04	基本事業名	財源の確保	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	250

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市税（市県民税（普通徴収）、固定資産税、軽自動車税）の納税義務者
 収納金融機関・ゆうちょ銀行及びコンビニエンスストア

事務事業の内容、やり方、手順

・納税義務者に納付機会の拡大を推進する。（口座振替やコンビニエンスでの納付）
 ・収納管理については、現年度分で納期限経過後、未納者に督促状を発送し納付を促進する。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市税の収納を効率的かつ適正に処理をするとともに納付機会が拡大し、納税者の利便性が高まる。

当初納税通知書に口座振替利用申込書及びコンビニエンス納付のご案内を同封しお知らせする。
 広報さんむ及び市ホームページで周知する。
 納税義務者が口座振替及びコンビニ納付した場合の手数料は無料。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
督促状発送回数	回	9	9	9
口座振替、コンビニエンスストア納付手続きのお知らせ数	人	50,043	50,000	49,000
成果状況				
口座振替・コンビニエンスストア市税収納件数率	%	45.4	50	52
口座振替・コンビニエンスストア市税収納金額率	%	47.1	45.1	52

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	8,150					8,150	
25年度 実績	8,506	0	0	0	0	8,506	
26年度 当初	10,687	0	0	0	0	10,687	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 口座振替・コンビニエンスストア市税収納件数率が4.6%向上、収納金額率が2.0%低下しました。
 < 原因 > 前年度と比較すると口座振替・コンビニエンスストアでの収納件数・収納金額は増えているが、市税全体での収納金額も増えているため、収納金額率としては低下していると考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
不服申立等により課税誤りとなった件数	件	0	0	0
市税収納率	%	96.06	96.27	96.5

事務事業名 松尾地域賑わい空間創出事業

総務部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進
計画年度	平成 21 年度 ~ 平成 27 年度		事務事業整理番号 1154

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
松尾庁舎等

事務事業の内容、やり方、手順

松尾庁舎等の解体、撤去に向けた設計積算業務及び解体撤去後の跡地利用について具体的に検討するための設計業務等を実施しました。
 4月 松尾地域賑わい創出整備事業基本設計業務契約
 6月 松尾洗心館等解体設計業務委託契約
 6月 松尾地域賑わい空間創出研究会
 10月 松尾地域賑わい空間創出研究会
 10月 松尾庁舎等の解体撤去工事等に係る説明会実施
 11月 松尾地域賑わい創出整備事業実施設計業務契約
 12月 松尾庁舎等解体撤去工事契約
 2月 松尾庁舎等解体撤去工事説明会実施
 2月 松尾庁舎等解体撤去工事着手

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

松尾庁舎跡地及びその周辺が、市民ニーズを踏まえながら、松尾地域の賑わいの拠点として整備されます。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
説明会（意見交換会等を含む。）の開催回数	回	3	4	3
庁内検討会議開催数	回	3	4	4
成果状況				
庁舎改修事業の進捗率（建設事業費ベース）	%	1.7	23.4	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	3,867					3,867	
25年度 実績	70,810	0	0	44,300	26,487	23	22,890
26年度 当初	731,971	0	28,672	458,300	244,955	44	(111,297)

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

松尾庁舎等解体撤去工事については平成25年度内の工事完了を目指していましたが、工事完了時期が平成26年8月となり、当初の見込みよりも進捗について遅延がみられました。
 解体撤去工事完了の後、新たな施設の建設を進めていくこととしており、今後、事業成果の向上が期待できます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
市保有の土地活用率	%	40.1	40.6	45
市民1人当たり公共施設維持管理費	万円	20.61	24.69	19.5
公共施設の平均稼働率	%	-	-	-

事務事業名 本庁舎整備事業

総務部 財政課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進
計画年度	平成 23 年度 ~ 平成 28 年度		事務事業整理番号 1471

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

本庁舎施設、施設利用者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

本庁舎に機能が集約され、円滑かつ効率的な行政事務が行われています。

事務事業の内容、やり方、手順

平成24年度に実施する本庁舎増築工事に引き続き、既存庁舎の環境整備により省エネ化を図るとともに庁舎の長寿命化に必要な整備を行います。

平成25年度 本庁舎空調改修工事（議場等）
平成26年度 本庁舎敷地再整備計画策定業務
駐車場用地造成工事
平成27年度～ 本庁舎駐車場等整備工事等

平成25年度実績 山武市役所本館トイレ等改修工事
山武市役所議場等空調設備改修工事

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
打ち合わせ回数	回	28	20	10
成果状況				
整備した面積	m ²	1,356	917	2,350

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	58,437			54,000	4,437		476,832
25年度 実績	24,549	0	0	23,300	609	640	83,241
26年度 当初	62,719	0	0	59,500	3,219	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

成果指標について、改修工事に伴う整備面積を反映させていなかったため、実績において改修範囲を入力したことで大幅増となりました。
山武市役所本館トイレ等改修工事、山武市役所議場等空調設備改修工事を行ったことで、施設利用者の利便性が向上しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
市保有の土地利用率	%	40.1	40.6	45
市民1人当たり公共施設維持管理費	万円	20.61	24.69	19.5
公共施設の平均稼働率	%	-	-	-

事務事業名 公共施設マネジメント事業

総務部 財政課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進
計画年度	平成 24 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1731

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が保有する公共施設

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・継続的に公共施設情報が管理・更新されています。
- ・公共施設の現状や将来見込まれるコストの見通し等が把握できています。
- ・将来の需給バランスを踏まえた公共施設のあり方や方向性が検討されています。

事務事業の内容、やり方、手順

社会経済状況の変化等に対応した見直しが強求められる公共施設に対し、ファシリティマネジメントの考え方を取り入れ、総合的かつ長期的に計画、管理活動を行うことで、公共施設の「最適なストック量」と「最適な管理運営」を実現します。

【事業内容】

- ・公共施設の基本情報の整理、洗出し等(H24)
- ・継続的に施設情報を管理・更新できる仕組み（公共施設管理システム）の構築(H24)
- ・公共施設の基本情報、品質情報等の管理(H25)
- ・施設の評価・分析及び今後のあり方、方向性の検討(H25～)
- ・施設白書等による施設情報の公開(H26～)

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
システムで管理された施設数	施設	140	140	150
成果状況				
評価・分析を実施した施設数	施設	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	402					402	
25年度 実績	216	0	0	0	0	216	
26年度 当初	292	0	0	0	0	292	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

公共施設の基本情報を収集するとともに、施設の評価・分析方法を検討しています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
市保有の土地活用率	%	40.1	40.6	45
市民1人当たり公共施設維持管理費	万円	20.61	24.69	19.5
公共施設の平均稼働率	%	-	-	-

事務事業名 旧成東児童保健院解体整備事業

総務部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進	
計画年度	平成 25 年度 ~ 平成 27 年度		事務事業整理番号	1788

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

旧成東児童保健院

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

旧成東児童保健院の敷地・施設がそれぞれの用途に適した規模に整備され、効率的に活用されます。

事務事業の内容、やり方、手順

旧成東児童保健院の解体整備工事に向けた設計積算業務を実施しています。

平成25年度[実績]
2月 設計積算業務委託契約
平成26年度[計画]
11月 解体整備工事発注
12月 解体整備工事契約
1月 解体整備工事説明会実施
2月 解体整備工事着工
平成27年度[計画]
9月 解体整備工事竣工

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
整備面積			0	942.4㎡
成果状況				
解体整備事業の進捗率（建設事業費ベース）			1.1%	45.9%

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績							
25年度 実績	1,520	0	0	1,400	0	120	
26年度 当初	12,232	0	0	11,600	0	632	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

平成26年2月6日に、解体整備工事の設計積算業務に係る契約を締結しました。設計積算業務の完了は平成26年度第2四半期を予定しており、その後年度内に解体整備工事の着手を予定していることから、今後、事業成果の向上が期待できます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
市保有の土地活用率	%	40.1	40.6	45
市民1人当たり公共施設維持管理費	万円	20.61	24.69	19.5
公共施設の平均稼働率	%	-	-	-

事務事業名 戸籍事務費

市民部 市民課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営		
基本事業番号	06	基本事業名	窓口サービスの向上		
計画年度	年度 ~ 年度			事務事業整理番号	215

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

戸籍の届出者及び証明書申請者

事務事業の内容、やり方、手順

出生・死亡・婚姻・離婚等の届出書の受付、戸籍の証明書発行、犯歴・刑罰・身上照会、公職選挙法に関する事務を行います。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

お客様の真意を的確に把握し、交付証明書及び届出書の行き違いをなくします。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
それぞれの届出書件数および証明書交付件数ならびに照会件数	件	19,204	18,900	14,550
成果状況				
届出書、交付証明書の不具合件数の割合	%	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	695				695		
25年度 実績	437	0	0	0	437	0	
26年度 当初	1,768	0	0	0	1,768	0	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

届出書及び交付証明書の不具合が発生しないように努めました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
窓口サービスの満足度	%	78.6	79	85

事務事業名 証明書等コンビニ交付構築事業

総務部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営		
基本事業番号	07	基本事業名	情報化の推進		
計画年度	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度			事務事業整理番号	1556

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市民がコンビニで住民票の写しや印鑑登録証明書を取れる。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・コンビニ交付システム及びＩＣカード標準システムの安定稼働（保守委託）
- ・住基カード交付手数料の無料化：平成24年10月から平成27年3月
- ・証明書交付手数料の100円安
- ・広報活動：広報紙掲載、市イベントでのブース設置、ポスターの掲示

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
保守業者等の保守点検日数	日	20	68	12
住基カード・個人番号カード発行枚数	枚	397	936	750
成果状況				
コンビニで受け取ることができる証明書等の種類	種類	2	2	8
コンビニ交付件数	件	54	947	1,500

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	4,939				1,663	3,276	
25年度 実績	17,974	0	0	0	0	17,974	
26年度 当初	58,448	0	0	0	0	58,448	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり

事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

< 状況 > 1月あたりのコンビニ交付件数が、平成24年度より146%増加しており、順調です。

< 原因 > 平成25年3月から開始した証明書等コンビニ交付サービスですが、平成25年1月から実施している住基カード発行手数料の無料化の効果もあり、住基カード所持者が増加しています。また、新規取得者の92%がコンビニ交付の設定を行っていることから、コンビニ交付利用者が順調に増加しています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
市のITサービスを利用している市民割合	%	21.3	26.1	35
クラウドで構築したシステム数	件	3	11	11

事務事業名 復旧・復興計画推進事業

総務部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進
計画年度	平成 24 年度 ~ 年度		事務事業整理番号 1660

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・復旧復興計画に位置づけられた事務事業
- ・職員

事務事業の内容、やり方、手順

平成24年2月に策定された「山武市復旧・復興計画」に位置づけられた復旧復興事業が、迅速かつ円滑に実施されるようきめ細かな進行管理を行います。
また、毎年度、実施した事務事業の評価及び点検を行い、成果報告書として取りまとめ、市民に分かりやすいかたちで公開します。
復興まちづくりに係る大規模なインフラ整備事業については、国及び県、事業担当部局との連携を図り、国で創設された復興交付金制度の積極的な活用に向けて取り組みます。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・復旧復興計画に位置づけられた事業が着実に計画どおり行われます。
- ・復旧復興計画事業の進行管理が適正に行われ、その結果が市民に分かりやすく公開されます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
評価・点検を実施した事務事業数	事業	102	86	85
復興交付金事業計画候補とした事務事業数	事業	4	3	3
成果状況				
実施された復旧復興事務事業数	事業	102	85	85
復興交付金を活用した事務事業数	事業	3	2	3

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	19					19	
25年度 実績	37	0	0	0	0	37	
26年度 当初	58	0	0	0	0	58	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

- ・資材費の高騰や入札の不調等の影響を受け、避難用外階段設置事業及び津波避難施設整備事業において、事業の遅れがありました。
- ・避難道路整備事業については、復興庁との交渉を重ねた結果、復興交付金事業として採択されました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値

事務事業名 出納係事務費

会計課 会計課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり		
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行		
基本事業番号	01	基本事業名	適正な会計処理		
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	666	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・債権者
- ・会計業務

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

債権者に対する公金の支払いが確実に Rowe されます。

事務事業の内容、やり方、手順

出納機関が債権者に対する支出の決定をし、その支払方法が口座振替払による場合は、指定金融機関に期日を指定した口座振込依頼書等を送付し支払を依頼します。指定金融機関は、この依頼に基づいて支払の手続を行います。
【振込処理不能が発生した場合の処理】
 振込処理不能（指定金融機関） 振込不能返却報告書（出納機関） 正当債権者情報を確認（所管部門）
 同日13時までに確認できたものは、速やかに指定金融機関に対し再振込の依頼をします。
 正当債権者情報の確認を得ることができないものは、戻入の手続きを行い、翌日までに正当債権者情報を確定し指定金融機関に再振込の手続を行うものとします。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
口座振替期日における指定金融機関からの振込不能返却報告書に基づく債権者への振込不能件数	件	315	204	204
口座振込不能により資金返却された件数のうち、同日に再振込の措置を講じ、正当債権者に支払が行われた件数	件		142	142
成果状況				
口座振込支払期日における振込不能件数に対する資金返却同日に再度振込し債権者に支払うことができた件数の割合	%	132	70	70
	件			

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	2,610		296			2,314	
25年度 実績	2,734	0	77	0	0	2,657	
26年度 当初	3,497	0	2	0	0	3,495	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

担当課においては、伝票作成時の債権者情報の確認の徹底、会計課においては、本登録の推進及び支払処理時に再度口座情報の確認をすることで、振込不能件数を減少させることができました。振込不能による当日再振込については、会計課職員及び該当の担当課職員の迅速な対応により成果を上げる事ができました。振込不能となった場合、同日13時までに確認できれば再振込が可能というシステムが担当者間に浸透してきたことが成果に繋がっていると考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
口座振替支払期日における支払不能件数	件	92	62	112

事務事業名 選挙啓発推進事業

選挙管理委員会事務局 選挙管理委員会事務局

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行
基本事業番号	02	基本事業名	積極的な選挙啓発
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号 675

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の有権者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

きれいな選挙が推進され、選挙に対する関心や意識が高まります。

事務事業の内容、やり方、手順

一般及び市内各小中学校への選挙啓発ポスター・標語の募集を行い、優秀作品の表彰、展示及び参加賞、記念品の贈呈を行います。また、標語の部において県最優秀賞受賞の際は、標語入り立看板を設置します。
 県主催の明るい選挙推進協議会会長会議に出席し、市民による選挙啓発のリーダー育成を図ります。
 新成人に対し、新有権者向けパンフレット(県配布物利用)を配布します。
 市内の学校の生徒会選挙等に投票箱等(既存備品利用)を貸し出します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
啓発パンフレット配布数	枚	660	550	600
成果状況				
市内における選挙犯罪検挙数	人	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	89					89	
25年度 実績	94	0	0	0	0	94	
26年度 当初	113	0	0	0	0	113	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況 非常に順調 順調 一部遅延あり 遅延あり
 事業成果状況 向上 維持・横ばい 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>成人式において、啓発パンフレットを出席者全員へ配布し、選挙に対する知識、関心や意欲の向上を図りました。
 <原因>選挙犯罪件数は、前年度同様に0件を維持し選挙違反のないきれいな選挙を実現しています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
国政投票率（衆議院）	%	54.41		65
国政投票率（参議院）	%		46.67	55
県政投票率（知事）	%	36.06		50
県政投票率（県議）	%			45.5

事務事業名 監査委員活動費

監査委員事務局 監査委員事務局

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	03	基本事業名	監査の充実	
計画年度	年度 ~ 年度		事務事業整理番号	684

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

一般会計 特別会計 企業会計 市役所全部署

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

監査業務が適正かつ計画的に行われます。

事務事業の内容、やり方、手順

平成25年度山武市監査計画に基づき、各監査等を実施する。 1 例月現金出納検査...現金の残高や出納事務が適正に行われているかを主眼として実施（毎月25日） 2 決算審査、基金運用状況審査...決算の計数の正確性や事業の経営が適正かを検証（企業会計6月中旬、一般会計及び特別会計 7月中旬） 3 財政健全化審査及び公営企業経営健全化審査...健全化判断比率が適正かを主眼に実施（8月中旬） 4 定期監査...財務の執行や事業の管理が適正かを主眼として実施（11月中旬） 5 工事監査...技術面の調査を技術士に委託して実施（適宜）
--

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	24年度	25年度	26年度
監査等を実施した件数	件	4	4	5
成果状況				
指摘事項の件数	件	38	53	80
計画に対する監査実施率	%	80	80	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
24年度 実績	1,092					1,092	
25年度 実績	1,092	0	0	0	0	1,092	
26年度 当初	1,096	0	0	0	0	1,096	

繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

25年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

活動進捗状況	非常に順調	順調	一部遅延あり	遅延あり
事業成果状況	向上	維持・横ばい	低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

平成25年度監査計画に基づき、工事監査以外は計画通りに実施しました。予算の執行または各事業が関係法令に準拠し適正かつ効率的に行われるか等、各監査の目的に応じ、事務処理の確認的的確な指摘をすることにより、その後の事業や事務処理が適正に行われるようになります。
--

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	24年度	25年度	めざそう値
監査による指摘事項などの措置率	%	100	100	100
監査結果及び措置結果の市ホームページ公開件数	件	5	5	6